



八戸工業大学要覧

平成29年度

大 学 要 覧

平成29年5月1日現在

八 戸 工 業 大 学

八戸工業大学大学院

学校法人八戸工業大学 建学の精神

本法人は、その経営指針と基本的な教育方針として、人格、徳性の涵養並びに知性の練磨を象徴的に表す『正己以格物』(己を正し以て物に格る)を不易の綱領と定め、建学の精神としています。

この言葉は、儒教の根本精神を表した四書五経の一つ「大学」に拠るもので、物の道理をよく見極め、広く知識を求め、社会における自己の役割が如何なるものかを、深く認識し、高い倫理性をもって行動することの重要性を説いているものです。

本法人は、この建学の精神に基づき、社会の負託と時代の要請に応えることを要諦とし、創造的、個性的な自己思考能力を有する有為の人材を養成しています。

□教育理念

「良き技術は、良き人格から生まれる」

本学は、「良き技術は、良き人格から生まれる」という教育理念をもっています。この理念は、「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ」ことが必要であることを意味しています。

□使命・目的

学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めると共に、学術研究を通して深い教養と豊かな人間性を涵養し、広く文化の進展と社会の発展に寄与する。

□人材育成目標

(a)専門基礎力の充実した人材の育成

エンジニアリング・サイエンスに準拠したカリキュラムの構成、すなわちエネルギー、新素材、半導体、生物化学材料、建設材料などの基礎物性に関する教育、数学的解析能力、数値シミュレーション、数値・画像情報解析に関する開発能力の養成、および外国文献の読解力と表現力の養成により専門基礎力の充実した人材を育成する。

(b)先端技術分野への応用展開能力を持つ人材の育成

先端技術に関する科目および先端的な研究テーマを設けると共に、応用数学、応用物理、ならびに応用化学の工業基礎に関する専門基盤科目を設けるなどのカリキュラムの

編成により、自然科学に関する深い理解力を養成し、工学基礎力を基盤とする工業技術さらには先端技術への応用展開能力を持つ人材の育成を図る。

(c)総合的な視野を持つ人材の育成

今後の高度技術者は特定技術分野にのみ限定された視点だけではなく、人間を中心に捉えた総合的な視野を持つ必要がある。すなわち、従来の要素技術や解析指向から総合化ならびにシステム重視への転換である。このため、各専門分野における教育は無論のこと、これまで異質と見られていた異分野間の幅広い協力と新しい発想に基づく複数あるいは境界領域を総合するシステム思考を可能とするカリキュラム編成により、総合的な視野を持つ人材の育成を図る。

□アドミッション・ポリシー

本学の教育理念「良き技術は、良き人格から生まれる」を理解し、博士前期課程にあっては「研究能力又は高度の専門性を有する職業等に必要な能力及びその基礎となる学識を養う」、博士後期課程にあっては「研究者として自立して研究活動を行い又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う」という教育研究上の目的に強い関心を払い、本大学院において自らを向上させようとする意欲あふれる学生の入学を歓迎します。

□カリキュラム・ポリシー

本大学院の使命・目的、研究科および各専攻の教育研究上の目的を達成するよう、人材育成目標を定めています。すなわち、専門基礎力の充実した人材、先端技術分野への応用展開能力を持つ人材および総合的な視野を持つ人材の育成です。これに基づいて、各専攻の教育研究の目的、人材養成の目的、部門構成、研究テーマおよび教育課程表を定め、カリキュラムを実施しています。

□ディプロマ・ポリシー

本大学院の修了要件（八戸工業大学大学院学則第32条または第33条）を満たし、かつカリキュラム・ポリシーに掲げたように、各専攻の教育研究の目的および人材育成の目的（学生要覧等で明示・公表）を達成し、ひいては本大学院の使命・目的（教育研究上の目的）に掲げる人材育成の目標に到達したと判定された者に、修士（工学）または博士（工学）の学位を授与します。

八戸工業大学

学校法人八戸工業大学 建学の精神

本法人は、その経営指針と基本的な教育方針として、人格、徳性の涵養並びに知性の練磨を象徴的に表す『正己以格物』(己を正し以て物に格る)を不易の綱領と定め、建学の精神としています。

この言葉は、儒教の根本精神を表した四書五経の一つ「大学」に拠るもので、物の道理をよく見極め、広く知識を求め、社会における自己の役割が如何なるものかを、深く認識し、高い倫理性をもって行動することの重要性を説いているものです。

本法人は、この建学の精神に基づき、社会の負託と時代の要請に応えることを要諦とし、創造的、個性的な自己思考能力を有する有為の人材を養成しています。

□教育理念

「良き技術は、良き人格から生まれる」

本学は、「良き技術は、良き人格から生まれる」という教育理念をもっています。この理念は、「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ」ことが必要であることを意味しています。

□使命・目的

学術の拠点として、広く知識を授けると共に、深く専門の技術を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開させ、あわせて人類の幸福を希求する科学技術の振興と文化の創造ならびに地域社会の発展に寄与する。

□大学のディプロマ・ポリシー

八戸工業大学は、「良き技術は、良き人格から生まれる」という教育理念を掲げています。これは、「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ」ことが必要であることを意味しています。本学は、この理念を踏まえた教育目標に基づく所定の教育過程を修め、以下の資質・能力が身についた学生に学士の学位を授与します。

- 1) 豊かな人間性と総合的な判断力
- 2) 社会の変化に対応できる柔軟な思考力
- 3) 専門分野の基礎原理の理解と高度応用展開力

4) 地域社会への関心をもちグローバルな視野で物事を考える姿勢

□大学のカリキュラム・ポリシー

本学では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備えた人材を育成するために、次のような教育課程編成・実施の方針を定めています。

1) 教育課程の骨格

カリキュラムを、高校教育から大学教育に円滑に移行させ、専門への関心を誘導するための「導入転換科目」、人間環境や社会に対して多面的な視野から物事を捉え、総合的な判断ができる力を養う「総合教養科目」、大学教育に必要な知識・学力を修得する「リメディアル科目」、工学の学問に必要な自然科学分野の基礎を幅広く養う「工学基礎科目」（工学部のみ）、各分野における基礎原理、実践的な应用能力を養う「専門科目」で編成します。

2) 総合的な人間力を養成する教育の実施

総合教養科目においては、その分野を人間科学分野、国際コミュニケーション分野、体育科学分野、および総合学際分野で構成し、学部・学科を問わないリベラルアーツを展開します。また導入転換科目においては、キャリアデザイン科目を配置し、社会と接点のある教育を実施します。これにより、豊かな人間性を涵養し、柔軟な思考力や幅広い視野に立った理解力を養成します。専門科目においても、課題解決型学習（PBL）、アクティブ・ラーニングなどの授業を展開し、豊かな人間性と総合的な判断力、並びに社会の変化に対応できる柔軟な思考力を養成します。

3) 専門分野の基礎原理を理解・修得するための教育の実施

各学部、各学科の専門基礎原理を学ぶ科目を学期ごとに体系的に学べるように編成します。専門基礎と演習を組み合わせた授業、専門基礎原理の繰り返し学習を取り入れた授業などを展開し、これにより、専門分野の基礎原理を理解・修得させる教育を実施します。

4) 専門分野の基礎原理を実践的に応用展開できる力を育成する教育の実施

実践的な力を養うために、少人数ゼミナール、実験・演習・実習科目を重点的に配置します。自ら考えて纏めたことを発表、表現する授業や、体験・気づき・省察サイクルを取り入れた授業を展開します。また身につけた専門知識やスキルを統合し、問題の解決と新たな価値の創造に繋げていく能力や姿勢を育成するために、「卒業研究」、または「卒業制作・論文」を全学必修とします。

5) 地域社会との繋がりを重視した教育の実施

地域社会が抱える課題の解決のために、地域と連携したPBLやアクティブ・ラーニ

ング教育を展開します。これにより、地域社会への関心をもって物事を考えることができる能力を養成します。

6) グローバルな視野で物事を考えることができる力を養成する教育の実施

学部・学科を問わない総合教養科目を中心に、専門科目においてもそれぞれの分野においてグローバルな視点での授業を展開します。これにより、グローバルな視野で物事を考えることができる力を養成します。

学修成果の達成度は、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力に基づいて明確化した複数の修得因子によって評価し、学生が自ら確認できるよう配慮しています。

□大学のアドミッション・ポリシー

八戸工業大学は、建学の精神である「正己以格物」（己を正して以て物に格る）に基づいた自己思考能力を育むカリキュラムにより、基礎知識や専門知識だけにとどまらず、将来的に地域を牽引していくことができる総合力を備えた次世代のリーダーにふさわしい人材を養成しています。また、「良き技術は、良き人格から生まれる」という教育理念を掲げており、高度な専門知識を備え高度な応用展開力をもつとともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ技術者の養成を目指しています。

これらを実現するため、高等学校で履修する教科・科目について基礎的な知識・技術を有しており、本学が進める教育研究活動に強い関心があり、さらに自らを向上させようとする意欲を持つ志願者を、多様な選抜制度により受け入れます。

本学の入学者選抜では、志願者の学力の三要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」）を把握し、各学科の教育・人材育成の目的にかなう能力・資質・意欲・適性等を判断するため、試験種別ごとに個別学力検査、大学入試センター試験、調査書、小論文、面接などを組み合わせて志願者の能力や資質を多面的・総合的に評価します。



八戸工業大学校歌

作詩 佐藤 信三
藤 謹一
米 桜夫
下斗米 濱
法師 渡
作曲 渡 辺

Allegro risoluto alla marcia (♩ = 120)

1. そう
きゅうのひかり さんさんとみち
のくこにかがやけり
わこうわれら きぼうにつどい くおんのちせい みがきゆくあ
あ はちこう だい みらいをひらく
1.2
3.

- 一、蒼穹の光りさんさんと
みちのくここに輝やけり
若人われら希望に集い
久遠の知性みがきゆく
ああ八工大 未来を拓く
- 二、白聖の塔はそびえたち
遠く潮はとどろけり
若人われら希望に集い
久遠の理想かざしゆく
ああ八工大 未来を創る
- 三、青雲はるかにいだきつつ
いのち豊けく秀でたり
若人われら希望に集い
久遠の真理きわめゆく
ああ八工大 未来を築く

八戸工業大学要覽

目 次

第1 学 年 曆	1
第2 位 置	2
第3 設 置 者	2
第4 沿 革	3
第5 学 則	
1 大学院学則	16
2 大学学則	34
第6 組 織	
1 法人組織図	85
2 大学組織図	86
第7 名誉学長・名誉教授	87
第8 役 職 員	90
第9 教 職 員	
1 教 職 員	91
2 教 職 員 数	112
第10 学 生	
1 在籍学生数	113
2 出身都道府県別学生数	114
3 学位授与者数	115
4 卒 業 者 数	116
5 平成28年度 就職状況	117
6 平成28年度 奨学生数	119
第11 学位授与	120

第12 委員会委員等一覽	
1 学内委員会	125
2 担 任	125
3 学友会担当	125
4 学外委員会等	127
第13 研究業績	
1 科学研究費交付一覽	135
2 文部科学省大学改革推進等補助金	137
3 文部科学省私立大学研究装置・研究設備等整備費補助金交付一覽	138
4 文部科学省私立大学等教育・学習方法高度情報化推進事業交付一覽	140
5 文部科学省私立大学等防災機能等強化緊急特別推進事業交付一覽	140
6 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業(ハイテク・リサーチ・センター整備事業)	140
7 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	140
8 文部科学省エコキャンパス推進事業	141
9 文部科学省私立大学教育研究活性化設備整備事業	141
10 外部資金	142
11 学内助成	151
12 海外出張・海外研修	153
13 学会・研究会・集会	155
14 公開講座	159
第14 研究刊行物	160
第15 図書館	161
第16 旧職員	
1 歴代役付職員	162
2 退任・転任教員	177
第17 校地・校舎	
1 校地・校舎面積	186
2 研究室・講義室等配置	187
3 校地・校舎配置図	203

第1 学 年 暦 (平成29年度)

平成29年

4月1日(土) 学年開始 前期開始

4月4日(火) 入 学 式

8月5日(土) }
9月15日(金) } 夏 季 休 業

9月15日(金) 前 期 終 了

9月16日(土) 後 期 開 始

12月23日(土) }
平成30年 1月8日(月) } 冬 季 休 業

1月29日(月) 開 学 記 念 日

3月20日(火) 学 位 記 授 与 式

3月31日(土) 後 期 終 了 学 年 終 了

第2 位 置

青森県八戸市大字妙字大開88番地1号

北緯40度28分36秒 東経141度34分00秒

第3 設 置 者

設 置 者 名 学校法人 八戸工業大学

法人設立年月日 昭和31年8月2日

法 人 所 在 地 青森県八戸市大字妙字大開88番地1号

電 話 (0178) 25-3111 (代)

役 員 名	理 事 長	柳 谷 利 通
	副 理 事 長	橋 本 精 二
	理 事	長 谷 川 明
	理 事	田 名 部 俊 成
	理 事	赤 坂 寿
	理 事	木 村 喜 久 子
	理 事	橋 本 都
	理 事	福 士 憲 一
	理 事	田 畑 俊 助
	理 事	岡 沼 明 見
	理 事	古 舘 剛 浩
	理 事	大 庭 文 武
	理 事	柳 谷 俊 一
	監 事	田 島 幹 二
	監 事	武 輪 俊 彦

第4 沿革

昭和31年（1956年）

- 2月28日 八戸市大字白銀町字右岩淵通7番地10号に八戸高等電波学校の設置を申請する。代表 瀧澤三郎
- 4月10日 八戸高等電波学校を開校する。
- 4月27日 八戸市大字白銀町字右岩淵通7番地10号に八戸高等電波学校の設置を認可される。代表 瀧澤三郎
- 7月27日 学校法人八戸高等電波学校の寄附行為が認可される。
理事長 瀧澤三郎 就任する。
- 8月2日 法務局への登記により、学校法人八戸高等電波学校が成立する。

昭和34年（1959年）

- 2月12日 学校設置者名を学校法人八戸電波高等学校に改称する。

昭和35年（1960年）

- 4月5日 任期満了による理事・監事の改選を行い、理事長 柳谷第吉 就任する。
- 5月31日 理事長 柳谷第吉 退任（死亡）する。
- 7月22日 理事長 柳谷第吉（柳谷利一が襲名）就任する。

昭和36年（1961年）

- 11月1日 学校設置者名を学校法人八戸電波工業高等学校に改称する。

昭和44年（1969年）

- 12月10日 八戸市大字妙字大開に学校用地として11万平方メートルの敷地を買収する。

昭和45年（1970年）

- 10月20日 八戸工業大学設立準備委員会が発足し、学校法人八戸電波工業高等学校内に事務局を置く。

昭和46年（1971年）

- 1月20日 八戸工業大学設立期成会（会長 熊谷義雄）を結成する。

昭和47年（1972年）

- 1月29日 学校設置者名を学校法人八戸工業大学に改称する。
八戸工業大学の設置を認可される。
- 2月9日 寄附行為の変更による役員の一部変更を行い、理事長 熊谷義雄 就任する。
- 2月28日 八戸市大字妙字大開88番地1号に校舎第一期工事「本館」が完成する。
- 4月1日 八戸工業大学（工学部 機械工学科・産業機械工学科・電気工学科）を開学する。

第4 沿革

学長 小和田 武 紀 就任する。

6月23日 開学式を挙げる。

昭和48年（1973年）

5月31日 校舎第二期工事「機械工学専門棟・電気工学専門棟・工作工場」が完成する。

昭和49年（1974年）

1月21日 工学部機械工学科・産業機械工学科・電気工学科正規課程に教員免許状授与資格課程を認定される。

2月23日 学長 小和田 武 紀 退任（死亡）する。

2月24日 学長事務取扱 門 脇 又 男 就任する。

2月28日 校舎第三期工事「体育館」が完成する。

3月27日 工学部機械工学科・産業機械工学科・電気工学科聴講生課程に教員免許状授与資格課程を認定される。

4月12日 八戸工業大学父兄後援会が発足する。

6月1日 学長 斎 藤 恒 三 就任する。

10月19日 校舎落成式を挙げる。

昭和50年（1975年）

4月1日 学校法人八戸工業大学事務局の機構を改め、大学事務部を分離し設置する。

12月10日 工学部の土木工学科・建築工学科増設届出書を受理される。

昭和51年（1976年）

3月15日 第一回卒業証書授与式及び校歌、校章、校旗の制定樹立式を挙げる。

4月1日 工学部に土木工学科及び建築工学科を設置する。

4月15日 第一種、第二種及び第三種電気主任技術者認定校となる。

4月30日 学長 斎 藤 恒 三 退任する。

5月1日 学長事務取扱 門 脇 又 男 就任する。

8月30日 校舎第四期工事「教養棟（旧館）・土木工学専門棟・建築工学専門棟」に着工する。

12月11日 学長 門 脇 又 男 就任する。

昭和52年（1977年）

8月10日 校舎第四期工事「教養棟（旧館）・土木工学専門棟・建築工学専門棟」が完成する。

11月3日 学長 門 脇 又 男 が勲三等旭日中綬章を受章する。

昭和53年（1978年）

- 1月5日 工学部土木工学科・建築工学科正規課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 3月6日 工学部土木工学科・建築工学科聴講生課程に教員免許状授与資格課程を認定される。

昭和55年（1980年）

- 4月29日 理事長 熊 谷 義 雄 が勲二等瑞宝章を受章する。
- 7月6日 学校法人八戸工業大学「運動公園」を開園する。

昭和56年（1981年）

- 3月31日 学長 門 脇 又 男 退任する。
- 4月1日 学長 淵 澤 定 敏 就任する。

昭和57年（1982年）

- 1月16日 工学部にエネルギー工学科を設置する寄附行為の変更を認可される。
工学部にエネルギー工学科の設置を認可される。
- 4月1日 工学部にエネルギー工学科を設置する。
工学部産業機械工学科の学生募集を停止する。
- 10月2日 創立10周年記念式典を挙げる。

昭和58年（1983年）

- 5月31日 学友会部室が完成する。
- 8月20日 校舎第五期工事「電気工学専門棟増築・エネルギー工学専門棟」に着工する。

昭和59年（1984年）

- 2月8日 工学部エネルギー工学科正規課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 4月5日 工学部エネルギー工学科聴講生課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 5月2日 校舎第五期工事「電気工学専門棟増築」が完成する。
- 6月6日 校舎第五期工事「エネルギー工学専門棟」が完成する。
- 9月1日 任期満了による理事・監事の改選を行い、理事長 柳 谷 弟 吉 就任する。
- 11月3日 学長 淵 澤 定 敏 が勲二等瑞宝章を受章する。

昭和60年（1985年）

- 3月31日 学長 淵 澤 定 敏 退任する。
- 4月1日 学長 河 上 房 義 就任する。

第4 沿革

昭和61年（1986年）

- 3月17日 工学部産業機械工学科を廃止する寄附行為の変更を認可される。
- 3月18日 工学部産業機械工学科の廃止が認可され、同日同学科を廃止する。
- 4月1日 事務組織を変更し、学務部を教務部及び学生部に改める。
- 6月18日 構内に「合宿所」二棟が完成する。
- 10月8日 学校法人八戸工業大学創立30周年記念式典を挙げる。

昭和62年（1987年）

- 2月28日 「工作工場」増築工事が完成する。

昭和63年（1988年）

- 4月1日 工学部に食品工学研究所及び情報システム工学研究所を設置する。
- 6月25日 校舎第六期工事「機械工学専門棟増築・情報システム工学研究所棟・教養棟・食品工学研究所棟」に着工する。
- 7月18日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定を締結する。
- 11月3日 理事長 柳谷 弟吉 が藍綬褒章を受章する。

平成元年（1989年）

- 1月20日 校舎第六期工事「機械工学専門棟増築」が完成する。
- 3月31日 校舎第六期工事「情報システム工学研究所棟」が完成する。
- 9月9日 校舎第六期工事「教養棟」が完成する。

平成2年（1990年）

- 3月15日 電気通信主任技術者試験の一部を免除する学校（電気工学科）として認定される。
- 3月26日 教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の再課程（正規の課程及び聴講生の課程）を認定される。
- 7月19日 校舎第六期工事「食品工学研究所棟」が完成する。
- 11月2日 理事長 柳谷 弟吉 が八戸市功労者を受賞する。

平成3年（1991年）

- 4月25日 「土木工学専門棟増築・建築工学専門棟増築・エネルギー工学専門棟増築・食品工学研究所棟渡り廊下」に着工する。
- 10月21日 「ボイラー取替工事」が完成する。
- 11月20日 「土木工学専門棟増築・建築工学専門棟増築・エネルギー工学専門棟増築・食品工学研究所棟渡り廊下」が完成する。
- 12月20日 工学部機械工学科・電気工学科・土木工学科・建築工学科・エネルギー

工学科の期間(平成4年度から平成11年度)を付した入学定員の増加(各学科入学定員80名を120名に)に係る学則の変更を認可される。

平成4年(1992年)

- 5月21日 ロシア連邦共和国ハバロフスク州立工科大学と学術交流に関する議定書を交換する。
- 5月25日 「構造工学研究所棟」に着工する。
- 10月16日 創立20周年記念式典を挙げる。
- 10月20日 専務理事 東 明 が八戸市功労者を受賞する。
- 10月30日 「構造工学研究所棟」が完成する。

平成5年(1993年)

- 1月16日 八戸工業大学を大学入試センター試験の試験場とし、併せて入学試験の一部に大学入試センター試験を採用する。
- 3月31日 学長 河上 房 義 退任する。
- 4月1日 学長 村上 孝 一 就任する。
前学長 河上 房 義 に名誉学長の称号を贈る。
工学部に構造工学研究所を設置する。
- 8月31日 「測量実習地(軽井沢地区)」が完成する。

平成6年(1994年)

- 3月31日 「一般教育部」を廃止する。
- 4月1日 「総合教育センター」を設置する。
「工作工場」を「工作技術センター」に改称する。
- 7月27日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定を延長する。
- 10月15日 「図書館増床工事」が完成する。
- 12月28日 三陸はるか沖地震(余震 平成7年1月7日)により校舎等が多大な被害を受ける。

平成7年(1995年)

- 3月16日 大学院を設置する寄附行為の変更を認可される。
大学院工学研究科修士課程の設置を認可される。
- 4月1日 大学院工学研究科修士課程を設置する。(機械システム工学専攻, 電気電子工学専攻, 土木工学専攻(入学定員各5名, 収容定員各10名))

平成8年(1996年)

- 4月8日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流の実施に関する協議書

第4 沿革

を交換する。

- 9月12日 学校法人八戸工業大学創立40周年記念式典を挙げる。
- 9月30日 校内LAN（キャンパス情報ネットワーク装置）を導入する。
- 12月19日 大学院工学研究科博士後期課程の設置を承認される。

平成9年（1997年）

- 2月26日 大学院工学研究科修士課程機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、土木工学専攻に「教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学院の課程」を認定される。
- 4月1日 大学院工学研究科博士後期課程を設置する。（機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、土木工学専攻（入学定員各2名、収容定員各6名））
- 9月5日 「尚志館（武道館）」に着工する。

平成10年（1998年）

- 1月31日 「尚志館（武道館）」が完成する。
- 12月22日 大学院工学研究科に修士課程建築工学専攻の設置が承認される。工学部にシステム情報工学科を設置する寄附行為の変更を認可される。工学部にシステム情報工学科の設置を認可される。工学部電気工学科及びエネルギー工学科の収容定員の減少に係る学則の変更を認可される。

電気工学科	入学定員80名を40名、収容定員320名を160名
エネルギー工学科	入学定員80名を60名、収容定員320名を240名

平成11年（1999年）

- 1月18日 理事長 柳谷 弟吉 退任する。
- 1月19日 理事長 柳谷 透 就任する。
- 3月19日 大学院工学研究科修士課程建築工学専攻に「教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学院の課程」を認定される。工学部システム情報工学科に「教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の課程」を認定される。
- 3月23日 工学部電気工学科を電気電子工学科へ名称変更する寄附行為の変更を認可される。
- 4月1日 大学院工学研究科修士課程建築工学専攻を設置する。（入学定員5名、収容定員10名）
工学部システム情報工学科を設置する。

(入学定員60名, 収容定員240名)

工学部電気工学科を電気電子工学科へ名称変更する。

8月12日 「学友会館1号館, 同2号館」に着工する。

10月22日 工学部の期間を付した入学定員の廃止に伴う収容定員の増加に係る学則の変更を認可される。

機械工学科	入学定員80名を90名, 収容定員320名を360名
電気電子工学科	入学定員40名を80名, 収容定員160名を320名
土木工学科	入学定員80名を95名, 収容定員320名を380名
建築工学科	入学定員80名を95名, 収容定員320名を380名
システム情報工学科	入学定員60名を80名, 収容定員240名を320名

10月27日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を延長する。

11月30日 「学友会館1号館, 同2号館」が完成する。

平成12年(2000年)

3月31日 学長村上孝一退任する。

4月1日 学長高橋燦吉就任する。

前学長村上孝一に名誉学長の称号を贈る。

12月21日 大学院工学研究科建築工学専攻に博士後期課程の設置が承認される。
工学部機械工学科を機械情報技術学科、土木工学科を環境建設工学科へ名称変更する寄附行為の変更を認可される。

工学部システム情報工学科に教員免許状授与資格課程(情報)を認定される。

平成13年(2001年)

4月1日 大学院工学研究科博士後期課程建築工学専攻を設置する。

(入学定員1名, 収容定員3名)

工学部機械工学科を機械情報技術学科、土木工学科を環境建設工学科へ名称変更する。

8月1日 工学部に生物環境化学工学科を設置する寄附行為の変更を認可される。

工学部に生物環境化学工学科の設置を認可される。

10月19日 八戸大学との単位互換に関する協定を締結する。

平成14年(2002年)

3月11日 工学部生物環境化学工学科に教員免許状授与資格課程を認定される。

第4 沿革

- 3月25日 アメリカ合衆国ウェスレー大学と学術交流に関する協定を締結する。
- 3月31日 工学部食品工学研究所、情報システム工学研究所、構造工学研究所を廃止する。
- 4月1日 学校週5日制を導入する。
工学部に生物環境化学工学科を設置する。
(入学定員60名、収容定員240名)
工学部に異分野融合科学研究所を設置する。
工学部エネルギー工学科の学生募集を停止する。
- 5月18日 第1回「工大グループフェア2002」を実施する。(～19日)
- 7月5日 創立30周年記念式典を挙げる。
中華人民共和国瀋陽工業大学 王 爾智 前学長、王 成 元学長に名誉博士の称号を贈る。
- 10月3日 八戸工業大学工学部電気電子工学科を電子知能システム学科へ名称変更する寄附行為の変更を認可される。
- 10月9日 「八戸工業大学教育研究後援会」を設立する。
- 10月25日 排水設備改良工事に着手する。

平成15年(2003年)

- 4月1日 工学部電気電子工学科を電子知能システム学科へ名称変更する。
- 4月15日 工学部環境建設工学科(土木および土木関連分野)の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構よりJ A B E E認定基準に適合していることを認定される。(認定開始年度:2002年度)
- 9月22日 排水設備改良工事が完成する。
- 10月22日 「ビールの試験製造免許」が交付される。
- 12月10日 中華人民共和国新疆大学と学術交流協議書を交換する。

平成16年(2004年)

- 5月10日 工学部機械情報技術学科創生工学コース(機械および機械関連分野)の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構よりJ A B E E認定基準に適合していることを認定される。(認定開始年度:2003年度)
工学部電子知能システム学科(電気・電子・情報通信およびその関連分野)の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構よりJ A B E E認定基準に適合していることを認定される。(認定開始年度:2003年度)
- 6月21日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実

施に関する協議書を延長する。

9月11日 中華人民共和国新疆大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を締結する。

10月5日 工学部各学科の定員を振り替え、感性デザイン学部感性デザイン学科を設置する届出書が受理される。

学部	学 科	入学定員	収容定員		学部	学 科	入学定員	収容定員
工学部	機械情報技術学科	90	360	⇒	工学部	機械情報技術学科	75	300
	電子知能システム学科	80	320			電子知能システム学科	75	300
	環境建設工学科	95	380			環境建設工学科	70	280
	建築工学科	95	380			建築工学科	70	280
	システム情報工学科	80	320			システム情報工学科	80	320
	生物環境化学工学科	60	240			生物環境化学工学科	60	240
計		500	2,000		感性デザイン学部	感性デザイン学科	70	280
					計		500	2,000

10月23日 第2回「工大グループフェア2004」を実施する。(～24日)

平成17年(2005年)

3月31日 工学部エネルギー工学科を廃止する。

「総合教育センター」を廃止する。

4月1日 感性デザイン学部感性デザイン学科(入学定員70名, 収容定員280名)を設置する。

「教育研究戦略室」を設置する。

4月8日 中華人民共和国瀋陽工業大学へ学部学生の留学に関する協議書を締結する。

平成18年(2006年)

3月24日 ボイラー棟天井改修工事が完成する。

3月31日 学長 高橋 燦 吉 退任する。

4月1日 学長 庄谷 征美 就任する。

事務組織を変更し、教務部及び学生部を学務部及び入試部に改める。

5月1日 学校法人八戸工業大学創立50周年記念「追悼会」並びに「記念の会」を挙げる。

10月31日 「日本高等教育評価機構」による「機関別認証評価」に係る実地調査を受審する。(～11月2日, 平成19年3月29日認定)

11月28日 商工組合中央金庫八戸支店と産学連携の協力推進に係る協定を締結する。

第4 沿革

平成19年（2007年）

- 4月1日 大学院工学研究科機械システム工学専攻を機械・生物化学工学専攻に同
電気電子工学専攻を電子電気・情報工学専攻へ名称変更する。
- 4月30日 「大学改革室」「教育研究戦略室」を廃止する。
- 5月1日 「社会連携学術推進室」「基礎教育研究センター」を設置する。
- 5月7日 株式会社みちのく銀行と産学連携協力協定を締結する。
- 5月14日 工学部システム情報工学科システム情報コース（情報および情報関連分
野）の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構よりJ A B E E
認定基準に適合していることを認定される。（認定開始年度：2006年度）
- 6月22日 アメリカ合衆国ウェスレー大学と学術交流に関する協定を延長する。
- 7月7日 第3回「工大グループフェア2007」を実施する。（～8日）
- 9月3日 本館、教養棟旧館、体育館天井改修工事が完成する。
- 9月12日 感性デザイン専門棟3階多目的ホールKDプラザが完成する。
- 10月26日 八戸大学、八戸工業高等専門学校と学術交流の協定を締結する。
- 10月29日 体育館外壁改修工事が完成する。
- 12月6日 株式会社青森銀行と産学連携協力協定を締結する。

平成20年（2008年）

- 3月27日 機械情報技術学科自動車工学コース実習棟が完成する。
- 6月25日 工学部機械情報技術学科自動車工学センターが自動車分解整備事業を認
証される。
- 6月27日 工学部並びに感性デザイン学部各学科の収容定員変更および工学部土木
建築工学科を設置する届出書を提出する。

学部	学 科	入学 定員	収容 定員
工学部	機械情報技術学科	75	300
	電子知能システム学科	75	300
	環境建設工学科	70	280
	建築工学科	70	280
	システム情報工学科	80	320
	生物環境化学工学科	60	240
感性デザ イン学部	感性デザイン学科	70	280
計		500	2,000

⇒

学部	学 科	入学 定員	収容 定員
工学部	機械情報技術学科	80	320
	電子知能システム学科	60	240
	システム情報工学科	70	280
	バイオ環境工学科	60	240
	土木建築工学科	70	280
	感性デザ イン学部	感性デザイン学科	60
計		400	1,600

- 7月24日 午前零時26分頃発生 of 岩手県沿岸北部を震源とする地震（八戸の震度6
弱）により、校舎に壁面亀裂、天井の一部落下や水道管の漏水などの被

害。

- 8月8日 国民生活金融公庫青森支店・八戸支店・弘前支店、農林漁業金融公庫青森支店、中小企業金融公庫青森支店と産学連携協力協定を締結する。
- 9月30日 工学部機械情報技術学科自動車工学コースが自動車に関する学科を有する大学として認定される。
- 10月1日 工学部に土木建築工学科の設置並びに工学部生物環境化学工学科をバイオ環境工学科へ名称変更する寄附行為の変更届を提出する。
- 12月24日 工学部バイオ環境工学科に教員免許状授与資格課程（理科）、土木建築工学科に同（工業・技術）、感性デザイン学部感性デザイン学科に同（美術・工芸）を認定される。

平成21年（2009年）

- 2月17日 工学部バイオ環境工学科に食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成施設の登録が認可される。
- 3月31日 入試部アドミッションズ・オフィスを廃止する。
- 4月1日 事務組織を変更し、大学事務部会計課を法人事務局財務課に統合し、事務部庶務課を学事課に改める。
工学部土木建築工学科を設置する。
（入学定員70名，収容定員280名）
工学部生物環境化学工学科をバイオ環境工学科へ名称変更する。
工学部環境建設工学科および建築工学科の学生募集を停止する。
- 4月6日 「八戸工業大学メディアセンター」建設に着工する。
工学部電子知能システム学科を電気電子システム学科へ名称変更する寄附行為・学則変更届を提出する。
- 9月30日 「八戸工業大学メディアセンター」が完成する。
- 10月9日 「八戸工業大学メディアセンター」竣工式典を挙げる。

平成22年（2010年）

- 3月31日 学長 庄谷 征美 退任する。
- 4月1日 学長 藤田 成隆 就任する。
工学部電子知能システム学科を電気電子システム学科へ名称変更する。
- 4月22日 異分野融合科学研究所をエネルギー環境システム研究所へ名称変更する。
- 4月29日 会長 柳谷 弟吉 が旭日中綬章を受章する。
- 5月21日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実

第4 沿革

施に関する協議書を延長する。

5月25日 七戸町と連携に関する協定を締結する。

9月2日 理事長 柳 谷 透 退任する。

9月3日 理事長 柳 谷 利 通 就任する。

9月21日 中華人民共和国新疆大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を延長する。

11月4日 青森県と連携に関する協定を締結する。

12月13日 青森県産業技術センターと連携に関する協定を締結する。

平成23年（2011年）

1月5日 青森県立図書館と連携・協力に関する協定を締結する。

6月10日 青森県教育委員会と連携に関する協定を締結する。

平成24年（2012年）

2月13日 名誉会長 柳 谷 弟 吉 退任（死亡）する。

10月17日 一般社団法人青森県情報サービス産業協会と連携に関する協定を締結する。

平成25年（2013年）

3月31日 工学部環境建設工学科を廃止する。

4月24日 特定非営利活動法人テイクオフみさわと連携に関する協定を締結する。

4月26日 工学部バイオ環境工学科、バイオ環境工学コース、工学（融合複合・新領域）関連分野の学士課程プログラムが、日本技術者教育認定機構より J A B E E 認定基準に適合していることを認定される。（認定開始年度：2012年度）

10月30日 平成25年度私立学校施設整備費補助金（防災機能等強化緊急特別推進事業（学校施設耐震改修事業））による八戸工業大学機械情報技術専門棟（渡廊下付）の耐震補強工事が完了する。

平成26年（2014年）

3月11日 八戸工業大学が、公益財団法人日本高等教育評価機構（JIHEE）から同機構が定める大学評価基準に適合していると認定される。（10月2日～10月4日（JIHEE）の現地調査）

6月23日 太平洋国立大学（ロシア）と八戸工業大学の教育、学術交流に関する協力合意書を締結する。

8月27日 八戸市と連携に関する協定を締結する。

平成27年（2015年）

- 1月7日 八戸工業大学工学部建築工学科を廃止する。
- 4月1日 八戸工業大学大学院工学研究科土木工学専攻を八戸工業大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻へ名称変更する。
- 4月28日 八戸工業大学エネルギー環境システム研究所を八戸工業大学地域産業総合研究所へ名称変更する。
- 8月10日 八戸工業大学入試部にアドミッション・オフィスを設置する。
- 9月24日 八戸工業大学と国立研究開発法人海洋研究開発機構との連携・協力に関する協定を締結する。
- 11月26日 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）に係る連携・協力に関する協定を締結する。
- 11月30日 平成26年度私立大学施設整備費補助金（防災機能等強化緊急特別推進事業（学校施設耐震改修事業））による八戸工業大学電気電子システム専門棟（渡廊下付）の耐震補強工事が完了する。

平成28年（2016年）

- 2月2日 国立大学法人室蘭工業大学環境・エネルギーシステム材料研究機構と八戸工業大学地域産業総合研究所との学術・研究交流協定を締結する。
- 3月17日 岩手県立種市高等学校と海洋に関する連携協定を締結する。
- 3月31日 八戸工業大学学長 藤田 成隆 任期満了により退任する。
- 3月31日 八戸工業大学大学院工学研究科建築工学専攻を廃止する。
- 4月1日 八戸工業大学学長 長谷川 明 就任する。
- 4月28日 櫛引八幡宮と事業推進・課題解決についての覚書を取り交わす。
- 9月21日 八戸工業大学と中華人民共和国瀋陽工業大学間の友好的な学術交流に関する協定ならびに実施に関する協議書を延長する。
- 9月26日 公益社団法人日本技術士会東北本部青森県支部と連携・協力に関する協定を締結する。
- 10月21日 株式会社まちづくり八戸と八戸市中心市街地のまちづくりに関する覚書を取り交わす。
- 11月28日 八戸工業大学と青森県立八戸工業高等学校との教育および研究に関する連携協定を締結する。

平成29年（2017年）

- 4月1日 八戸工業大学学務部に学生支援センターを設置する。
- 4月1日 八戸工業大学社会連携学術推進室にIR分室を設置する。

第5 学 則

1 大 学 院 学 則

八戸工業大学大学院学則（抄）

制 定 平成7年4月1日

改 正 平成28年4月1日

目 次

第1章	総 則
第2章	研究科および課程
第3章	開学記念日、学年、学期および休業日
第4章	教育課程および履修方法
第5章	教育職員免許状
第6章	教 職 員 組 織
第7章	運 営 組 織
第8章	課程の修了要件および学位の授与
第9章	入学、再入学、転入学および保証人
第10章	退学、転学、休学、復学および除籍
第11章	学費および入学検定料
第12章	賞 罰
第13章	科目等履修生、研究生および研究員
第14章	研究指導施設等
第15章	学 則 の 準 用
第16章	学 則 の 改 廃
附 則	
別 表	

第1章 総 則

第1条 八戸工業大学大学院（以下「本大学院」という。）は、本学の教育理念「良き技術は、良き人格から生まれる」に則り、学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めるとともに、学術研究を通して深い教養と豊かな人間性を涵養し、広く文化の進展と社会の発展に寄与することを目的とする。

第2条 本大学院は、その研究水準の向上を図り、前条の目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行い公表する。

- 2 本大学院は、教育研究の内容等の改善を図るため、組織的な研修および研究を実施する。
- 3 前二項の点検および評価等についての必要な事項は、八戸工業大学自己点検・評価取扱要綱を準用する。

第2章 研究科および課程

第3条 本大学院に工学研究科（以下「研究科」という。）を置く。

第4条 研究科に博士課程を置く。

- 2 博士課程を前期2年の課程（以下「博士前期課程」という。）および後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分する。
- 3 前項の博士前期課程は、これを修士課程として取り扱う。

第5条 研究科に次の専攻を置く。

博士課程

機械・生物化学工学専攻

電子電気・情報工学専攻

社会基盤工学専攻

- 2 研究科の収容定員は、次の通りとする。

専 攻	博 士 前 期 課 程		博 士 後 期 課 程	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
機械・生物化学工学専攻	5人	10人	2人	6人
電子電気・情報工学専攻	5人	10人	2人	6人
社会基盤工学専攻	5人	10人	2人	6人
計	15人	30人	6人	18人

第5 学 則

第6条 研究科における教育研究上の目的は、次の通りとする。

一 博士前期課程

広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の能力およびその基礎となる学識を養うこと

二 博士後期課程

専攻分野について研究者として自立して研究活動を行いまたはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うこと

2 各専攻における教育研究上の目的は、次の通りとする。

一 機械・生物化学工学専攻

機械システムや生物化学工学に関する専門的な知識と、複合化した利用技術への応用展開に対応できる広い視野をもった創造性豊かで問題解決能力に優れた高度な技術者または研究者を養成するとともに、移動現象、計測システム、材料加工学および物質変換工学に関する高度な研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

二 電子電気・情報工学専攻

電子電気・情報技術に関する高度な専門知識を修得し、将来の進展が予測される産業の高度化・システム化に対応できる統合化能力をもつ技術者ならびに地域産業の高度化と発展に資する人材を養成するとともに、電子電気・情報工学および知能工学・宇宙学も含む学際的な分野の課題の解決に関する教育研究を通して、社会に貢献すること

三 社会基盤工学専攻

社会の高度化に対応した高度な専門技術および情報化社会に対応した土木技術を持つ技術者・研究者ならびに環境問題や各種災害等の問題を解決するための基礎力と高度な専門的な知識とその応用展開能力をもつ技術者・研究者を養成するとともに、人間生活向上に不可欠な社会的基盤施設の建設整備、災害予測・復旧および環境保全に関する教育研究を通じて、社会に貢献すること

第7条 博士前期課程の標準修業年限は、2年とし、博士後期課程の標準修業年限は、3年とする。

2 博士前期課程には4年を超え、博士後期課程には6年を超えて在学することができない。

第3章 開学記念日、学年、学期および休業日

第8条 開学記念日は、1月29日とする。

2 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第9条 学年は、次の2期に分ける。

前期 4月1日から9月15日まで

後期 9月16日から翌年3月31日まで

第10条 休業日は、次の通りとする。

一 土曜日および日曜日

二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

三 春季休業

四 夏季休業

五 冬季休業

2 前項の第3号から第5号の休業日については、毎年度定める。

3 必要がある場合、第1項の休業日を臨時に変更し、または臨時に休業日を定めることができる。

4 必要がある場合、第1項の休業日に授業等を行うことがある。

第4章 教育課程および履修方法

第11条 本大学院の教育は、授業科目の授業および研究指導によって行う。

第12条 博士前期課程の各専攻の授業科目および単位数ならびに博士後期課程の各専攻の研究部門および研究分野は、別表第1の通りとする。

第13条 博士前期課程における各授業科目に対する単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

一 講義および演習については、毎週1時間15週または毎週2時間15週の授業をもって1単位とする

二 実験、実習および実技については、実験室または実習場等で行われるものであることを考慮し、毎週2時間15週または毎週3時間15週の実験、実習または実技をもって1単位とする

2 一つの授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、

第5 学 則

前項各号に規定する基準をもって1単位とする。

第14条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第15条 学生は、学年または学期の初めに、履修しようとする授業科目を所定の手続きにより届け出なければならない。

2 各授業科目の履修方法ならびに研究指導の内容等に関する事項は、本大学院が別に定める。

第16条 授業科目の単位修得の認定は、試験による。ただし、平常の成績を加味することがある。

2 実験、実習、演習および実技は、平常の成績をもって試験に代えることがある。

第17条 試験は原則として、学期末に行う。

2 各授業科目の成績評価は、S、A、B、CおよびDによるものとし、S、A、B、Cは合格、Dは不合格とする。

3 病気その他やむを得ない事故で定期の試験に欠席した者に対しては、追試験を行うことがある。

4 その他試験の施行に関しては、別に定める。

第18条 本大学院が教育上有益と認めるときは、本大学院が定めるところにより他の専攻の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により他の専攻において修得した単位については、8単位を超えない範囲で所属する専攻における授業科目の履修により修得したものとみなす。

第19条 本大学院が他の大学院とあらかじめ協議のうえ教育上有益と認めるときは、本大学院が定めるところによりその大学院の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により修得した単位については、10単位を超えない範囲で本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす。

第20条 本大学院が教育上有益と認めるときは、学生が、本大学院に入学する前に大学院において履修し修得した単位（大学院科目等履修生として修得した単位を含む。）は、本大学院において修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなすことのできる単位数は、第43条に規定する場合を除き10単位を超えないものとする。

第21条 本大学院が他の大学院または研究所等とあらかじめ協議のうえ教育上有益と認めるときは、本大学院が定めるところによりその大学院または研究所等において必要な研究指導を受けることができる。この場合において、博士前期課程の学生が当該研

究指導を受ける期間は、1年を超えることができない。

第22条 第19条各項および第21条の規定は、外国の大学院または研究所等に留学する場合に準用する。

第5章 教育職員免許状

第23条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法および同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 前項の所要条件を満たした者に対しては、次に掲げる教育職員免許状取得の資格を与える。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科の種類
工学研究科	機械・生物化学工学専攻 電子電気・情報工学専攻	中学校教諭専修免許状	技 術
	社会基盤工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工 業

第6章 教職員組織

第24条 本大学院に、教育研究上必要な教員を置く。

- 2 本大学院における授業は、資格を有する本大学の教授、准教授および専任講師が担当する。ただし、特別の事情があるときは、兼任講師に担当させることができる。
- 3 本大学院における研究指導は、資格を有する本大学の教授が担当する。ただし、資格を有する准教授が担当することがある。

第25条 本大学院に、大学院の事務を処理するため事務職員を置く。

- 2 事務職員の組織および事務分掌等についての必要な事項は、学校法人八戸工業大学事務組織規程ならびに学校法人八戸工業大学管理運営規程に定める。

第7章 運営組織

第26条 本大学院工学研究科に研究科委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会の構成および運営に関する事項は、別に定める。

第27条 委員会は、学長および研究指導を担当する教授、准教授をもって組織する。

第28条 委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- 一 学生の入学、修了
- 二 学位の授与

第5 学 則

三 前二号に掲げるもののほか、教育課程の編成等教育研究に関する重要な事項で、委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 委員会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、および学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

第29条 学長は、委員会を招集し、議長となる。

2 学長に事故あるときは、または学長が欠けたときは、学長があらかじめ指名した者が、その職務を代理し、またはその職務を行う。

第30条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

2 在内外研究員、休職者および1カ月以上の長期欠勤者は定足数から除く。

3 委員会の議事録は、議長がこれを管理する。

第31条 議長は、必要に応じて構成員以外の者に出席を求め、報告または意見を求めることができる。

第8章 課程の修了要件および学位の授与

第32条 博士前期課程の修了要件は、本大学院研究科の博士前期課程に2年以上在学し、専攻科目について主要科目（特別演習および特別研究）14単位を含み30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、課程の目的に応じ、学位論文または特定の課題についての研究成果を提出して、その審査および最終試験に合格したことをもって課程を修了したものとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績をあげた者と認めるときは、本大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の場合において、委員会が課程の目的に応じ適当と認めるときは、次の二つの事項からなる「博士論文研究基礎力審査」をもって、学位論文または特定の課題についての研究成果の審査および最終試験に代えることができる。

一 専攻分野に関する高度の専門的知識および能力ならびに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養についての試験

二 博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力についての審査

第33条 博士後期課程の修了要件は、本大学院研究科の博士後期課程に3年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査および最終試験に合格したことをもって課程を修了したものとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績をあげた者と認めるときは、1年（2年未満の在学期間をもって修士課程または博士前期課程を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて3年）以上在学すれば足りるものとする。

- 第34条 博士前期課程を修了した者には、修士（工学）ならびに博士後期課程を修了した者には、博士（工学）の学位を授与する。
- 2 博士の学位は、前項に定めるもののほか、本大学院の行う博士論文の審査に合格し、かつ、博士後期課程の修了者と同等以上の学力を有すると認められた者に授与することができる。
 - 3 学位の授与についての必要な事項は、八戸工業大学学位規程に定める。

第9章 入学、再入学、転入学および保証人

第35条 入学および転入学の時期は、学年の初めから30日以内とする。

- 2 再入学の時期は、学期の初めとする。

第36条 博士前期課程に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
 - 二 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - 三 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - 四 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - 五 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - 六 文部科学大臣の指定した者
 - 七 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めた者
 - 八 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 - 九 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
 - 十 その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- 2 博士後期課程に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。
 - 一 修士の学位を有する者
 - 二 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
 - 三 文部科学大臣の指定した者
 - 四 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

第5 学 則

五 その他本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

第37条 本大学院に入学を志願する者は、所定の書類に入学検定料を添えて、これを定められた期日までに提出しなければならない。

第38条 本大学院に入学を志願する者に対しては、所定の選考を行い、これに合格した者に入学を許可する。

第39条 本大学院に入学を志願する社会人および外国人に対しては、第38条の規定によらず、特別に選抜することがある。

2 社会人および外国人の入学者特別選抜についての必要な事項は、八戸工業大学大学院特別選抜規程に定める。

第40条 正当な理由で本大学院を退学した者が再入学を志願するときは、所定の選考の上、入学を許可することがある。

第41条 他の大学院の学生が、その課程の中途において本大学院に転入学を志願するときは、所定の選考の上、入学を許可することがある。

第42条 入学、再入学または転入学を許可された者は、指定の期日までに、入学金、授業料等を添えて所定の手続きを完了しなければならない。

2 前項の手続きを行わないときは、入学、再入学または転入学の許可はその効力を失う。

第43条 再入学または転入学を許可された者の本大学院および他の大学院において既に修得した授業科目と単位数および修業年数は、審査の上、その一部または全部を認めることがある。

第44条 入学者は、入学手続きに際し、その保証人を定めなければならない。

2 保証人は、父母または独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責務を果たしうる者でなければならない。

3 保証人は、保証する学生の在学中に係る一切の事項について連帯の責任を負わなければならない。

4 本大学院が保証人として不適当と認めるときは、その変更を求めることができる。

5 保証人の変更、転居、改印、改氏名等は、そのつど届け出なければならない。

第10章 退学、転学、休学、復学および除籍

第45条 退学または他の大学院に転学を希望する者は、その事由を付して保証人連署の上、学長に願い出て、その許可を得なければならない。

第46条 病気その他の事由により、引き続き3月以上修学することができない場合は、その事由を証明する書類を添えて保証人連署の上、学長に願い出て、その許可を得て休学することができる。

- 2 休学の期間は、1年以内とする。ただし、特別の事情のある場合は、願い出により期間の延長を許可することがある。
- 3 休学の期間は、通算して2年を超えることはできない。
- 4 休学の期間は、修業期間に算入しない。

第47条 休学の期間が満了する以前にその事由が止み復学しようとする場合は、保証人連署の上、学長に願い出て、その許可を得て復学することができる。

- 2 休学の期間が満了したときは、学長に復学を届け出て復学することができる。
- 3 復学の時期は、原則として学期の初めとする。

第48条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

- 一 死亡の届け出のあった者
- 二 病気その他やむを得ない事情により修学の見込みのない者
- 三 第7条第2項に規定する在学期間を超える者
- 四 第46条第3項に規定する休学期間に達しても修学できない者
- 五 授業料の滞納期間が2月を超える者

第11章 学費および入学検定料

第49条 本大学院に納付すべき学費および入学検定料は、別表第2の通りとする。

- 2 休学期間中の授業料は、原則としてこれを免除する。
- 3 納入方法その他の取扱については、八戸工業大学学費納入規程を準用する。

第12章 賞 罰

第50条 学生にあって、顕著な善行のあった者は、表彰することがある。

- 2 修了に際して、人物、学業ともに優秀で他の学生の模範となるに足る学生は、表彰することがある。

第51条 本大学院の規および命令に違反し、または学生の本分に反する行為のあった者は、懲戒する。

- 2 懲戒の種類は、訓告、停学および退学とする。
- 3 懲戒処分基準およびその手続きについては、別に定める。

第5 学 則

第13章 科目等履修生、研究生および研究員

第52条 本大学院の授業科目のうち1科目または数科目を選んで履修を志願する者があるときは、学生の履修に支障のない限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生についての必要な事項は、八戸工業大学大学院科目等履修生規程に定める。

第53条 本大学院において特殊事項について研究を行うことを希望する者があるときは、学生の指導および研究に支障のない限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生についての必要な事項は、八戸工業大学大学院研究生規程に定める。

第54条 他の大学院または機関等から本大学院での研究活動の願い出があったときは、あらかじめ当該大学院または機関等と協議の上、研究員として受入れを許可することがある。

2 研究員についての必要な事項は、八戸工業大学受託研究員規程ならびに八戸工業大学客員研究員規程を準用する。

第14章 研究指導施設等

第55条 本大学院に、学生研究室を設ける。

第56条 大学院学生の附属施設および厚生施設の利用については、別に定めるところによる。

第15章 学 則 の 準 用

第57条 この学則において特に定めのない事項については、八戸工業大学学則を準用する。

第16章 学 則 の 改 廃

第58条 この学則の改廃は、委員会の議を経て、理事会が行う。

附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年2月27日 八戸工大総第72号）

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年3月24日 八戸工大総第80号）

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 平成8年度以前に本大学院修士課程に入学した学生で、この学則の施行時に在籍する者は、本大学院博士前期課程に在籍するものとして取扱う。

附 則（平成10年3月2日 八戸工大総第68号）

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成11年3月20日 八戸工大総第88号）

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成12年3月8日 八戸工大総第92号）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成12年6月30日 八戸工大総第35号）

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 平成12年度以前に本大学院修士課程に入学した学生で、この学則の施行時に在籍する者は、本大学院博士前期課程に在籍するものとして取扱う。

附 則（平成14年3月20日 八戸工大総第82号）

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年3月7日 八戸工大総第80号）

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月3日 八戸工大総第71号）

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年8月30日 八戸工大総第40号）

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

第5 学 則

2 機械システム工学専攻および電気電子工学専攻は、第6条の規程にかかわらず、平成19年3月31日に当該専攻に在籍する者が、当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成18年11月7日 八戸工大総第52号）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年2月20日 八戸工大総第71号）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年2月22日 八戸工大総第73号）

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年10月30日 八戸工大総第58号）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成21年2月26日 八戸工大総第91号）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成23年2月23日 八戸工大総第76号）

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第17条第2項については、平成22年度以前に入学した学生は従前の規定を適用する。

附 則（平成25年2月22日 八戸工大総第82号）

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成26年2月27日 八戸工大総第75号）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年12月18日 八戸工大総第56号）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 土木工学専攻は、平成27年3月31日に当該専攻に在籍する全学年を対象として、名称変更する。

附 則（平成27年3月31日 八戸工大総第87号）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日 八戸工大総第81号）

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

第5 学 則

別表第1（その1）

機械・生物化学工学専攻 博士前期課程 教育課程表

部門	授 業 科 目	単位数	摘 要
移動現象工学	移動現象工学特論	2	専攻する部門の特別演習、特別研究の14単位を含む30単位以上修得する。
	熱工学特論	2	
	流体工学特論	2	
	流体システム工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
計測システム工学	計測自動制御工学特論	2	
	メカノプティクス特論	2	
	システム計測工学特論	2	
	数値情報工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
材料加工学	材料力学特論	2	
	新素材工学特論	2	
	材料プロセス工学特論	2	
	精密加工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
物質変換工学	物質変換工学特論	2	
	変換プロセス工学特論	2	
	機能性物質工学特論	2	
	表面物性制御工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
基盤科目	応用数学特論(A)	2	
	応用物理学特論(A)	2	
	応用化学特論(A)	2	

機械・生物化学工学専攻 博士後期課程 研究部門及び研究分野

研 究 部 門	研 究 分 野
移動現象工学	移動現象工学特別研究
計測システム工学	計測システム工学特別研究
材料加工学	材料加工学特別研究
物質変換工学	物質変換工学特別研究

別表第1 (その2)

電子電気・情報工学専攻 博士前期課程 教育課程表

部門	授 業 科 目	単位数	摘 要
電子デバイス工学	半 導 体 工 学 特 論	2	専攻する部門の特別演習、特別研究の14単位を含む30単位以上修得する。
	磁 性 体 工 学 特 論	2	
	誘 電 体 工 学 特 論	2	
	光エレクトロニクス工学特論	2	
	特 別 演 習	6	
	特 別 研 究	8	
通信メデア工学	量子エレクトロニクス特論	2	
	マイクロ波工学特論	2	
	計測システム工学特論	2	
	ネットワーク工学特論	2	
	特 別 演 習	6	
	特 別 研 究	8	
エネルギーシステム工学	気 体 電 子 工 学 特 論	2	
	プ ラ ズ マ 工 学 特 論	2	
	エ ネ ル ギ ー 変 換 工 学 特 論	2	
	エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 工 学 特 論	2	
	特 別 演 習	6	
	特 別 研 究	8	
情報システム工学	マルチメディア工学特論	2	
	知 能 情 報 学 特 論	2	
	制 御 シ ス テ ム 工 学 特 論	2	
	情 報 シ ス テ ム 工 学 特 論	2	
	特 別 演 習	6	
	特 別 研 究	8	
基盤科目	応 用 数 学 特 論 (B)	2	
	応 用 物 理 学 特 論 (B)	2	
	応 用 化 学 特 論 (B)	2	

電子電気・情報工学専攻 博士後期課程 研究部門及び研究分野

研 究 部 門	研 究 分 野
電 子 デ バ イ ス 工 学	電 子 デ バ イ ス 工 学 特 別 研 究
通 信 メ デ ィ ア 工 学	通 信 メ デ ィ ア 工 学 特 別 研 究
エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 工 学	エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 工 学 特 別 研 究
情 報 シ ス テ ム 工 学	情 報 シ ス テ ム 工 学 特 別 研 究

第5 学 則

別表第1（その3）

社会基盤工学専攻 博士前期課程 教育課程表

部門	授 業 科 目	単位数	摘 要
構造材料工学	建設材料学特論	2	専攻する部門の特別演習、特別研究の14単位を含む30単位以上修得する。
	維持管理工学特論	2	
	コンクリート構造工学特論	2	
	鋼構造工学特論	2	
	特別演習	6	
特別研究	8		
地盤防災工学	土質力学特論	2	
	土構造工学特論	2	
	地盤防災工学特論	2	
	地震耐震工学特論	2	
	特別演習	6	
特別研究	8		
水工・寒地工学	水工学特論Ⅰ	2	
	水工学特論Ⅱ	2	
	寒地工学特論	2	
	特別演習	6	
特別研究	8		
環境工学	都市・地域計画特論	2	
	環境工学特論Ⅰ	2	
	環境工学特論Ⅱ	2	
	環境衛生工学特論	2	
	特別演習	6	
特別研究	8		
基盤科目	応用数学特論(C)	2	
	応用物理学特論(C)	2	
	応用化学特論(C)	2	

社会基盤工学専攻 博士後期課程 研究部門及び研究分野

研 究 部 門	研 究 分 野
構造材料工学	構造材料工学特別研究
地盤防災工学	地盤防災工学特別研究
水工・寒地工学	水工・寒地工学特別研究
環境工学	環境工学特別研究

別表第2

学 費 及 び 入 学 検 定 料

学費種類	学 生	科目等履修生	研 究 生						
入 学 金 (入学時)	250,000 円	25,000 円	66,000 円						
授 業 料	992,000 円 (年額)	22,000 円 (1 単位につき)	288,000 円 (年額)						
<p>1. 入学検定料は、次の通りとする。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>学 生</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>科目等履修生</td> <td>20,000 円</td> </tr> <tr> <td>研究生</td> <td>20,000 円</td> </tr> </table> <p>2. 八戸工業大学を卒業した者が入学する場合は、学生入学金を免除する。</p>				学 生	30,000 円	科目等履修生	20,000 円	研究生	20,000 円
学 生	30,000 円								
科目等履修生	20,000 円								
研究生	20,000 円								

第5 学 則

2 大 学 学 則

八戸工業大学学則（抄）

制 定 昭和47年4月1日

改 正 平成27年4月1日

目 次

- 第1章 目的および自己点検・評価
- 第2章 学部構成および教育研究上の目的
- 第3章 修業年限および収容定員
- 第4章 開学記念日、学年、学期および休業日
- 第5章 入学、再入学、転入学、編入学、復籍、転学部、転学科および保証人
- 第6章 休学、転学、退学および除籍
- 第7章 教育課程および履修の方法
- 第8章 卒業および学位授与
- 第9章 教育職員免許状
- 第10章 学費および入学検定料
- 第11章 科目等履修生
- 第12章 特別聴講学生
- 第13章 研 究 生
- 第14章 外国人特別留学生
- 第15章 賞 罰
- 第16章 職員組織および教授会
- 第17章 基礎教育研究センター、図書館、工作技術センターおよび研究所
- 第18章 大 学 院
- 第19章 公 開 講 座
- 第20章 学 則 の 改 廃
- 附 則
- 別 表

第1章 目的および自己点検・評価

第1条 本学は、「良き技術は、良き人格から生まれる」を教育理念とし、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開させ、あわせて人類の幸福を希求する科学技術の振興と文化の創造ならびに地域社会の発展に寄与することを目的とする。

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行い、その結果を公表するとともに、公的機関による認証評価を受けるものとする。

- 2 本学は、教育研究の内容等の改善を図るための組織的な研修および研究を実施する。
- 3 前二項の点検および評価等についての必要な事項は、八戸工業大学自己点検・評価取扱要綱を準用する。

第2章 学部構成および教育研究上の目的

第3条 本学に、次の学部および学科を置く。

工学部

- 機械情報技術学科
- 電気電子システム学科
- システム情報工学科
- バイオ環境工学科
- 土木建築工学科

感性デザイン学部

- 感性デザイン学科

2 工学部および感性デザイン学部の教育研究上の目的は、次の通りとする。

一 工学部

豊かな人間性と総合的な判断力をもった技術者、工学の基礎原理を踏まえ高度な応用展開能力をもった技術者および地域社会への関心とともに国際的な視野をもった技術者を育成するとともに、機械、電子・電気、土木・建築、情報およびバイオ・環境などの工学に関する教育研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

二 感性デザイン学部

現代社会が抱える問題を発見、理解できる能力、並びにその問題の解決ができるデザイン能力を有し、豊かな生活と幸福な社会づくりに貢献できる人材を育成する

第5 学 則

とともに、人々の生活の視点に立った感性デザインを探究し、これらの成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

3 各学科における教育研究上の目的は、次の通りとする。

一 機械情報技術学科

多様化した社会ニーズに応えるため、必要な科学と機械ならびに情報技術の知識、幅広い教養と倫理観および問題解決・応用展開能力をもった機械技術者を養成するとともに、材料および設計・製造加工学、エネルギーおよび熱・流体工学、情報および制御工学、自動車工学、ロボット工学などに関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

二 電気電子システム学科

科学技術の高度化、知能化およびシステム化の進展とエネルギー環境問題の解決ならびに地域のニーズに応えるため、幅広い教養と技術者としての倫理観をもち、電気電子技術に関する知識の応用力と構想力を備えた技術者を育成する。また、電子デバイス、情報・通信・メディア、エネルギーシステム制御に関する研究の実施と成果の還元を通じて社会の発展に貢献すること

三 システム情報工学科

情報通信技術の分野で地域産業の活性化と発展をはかるため、科学技術の基礎知識、情報工学の専門知識ならびに国際的視野に立った幅広い教養と倫理観を備え、時代の変化に対応できる能力をもった技術者を養成するとともに、情報工学、システム工学、マルチメディア工学および情報関連分野に関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

四 バイオ環境工学科

バイオ基礎として生物がもつ特異な機能を種々のシステムに有効活用できるバイオテクノロジーに関する専門知識と食品衛生管理技術を身につけたバイオ技術者および環境に負荷を与えない環境調和・環境修復に関する知識と実務能力をもつ環境調和技術者を育成するとともに、生物、環境科学に関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

五 土木建築工学科

社会基盤と居住空間の整備、自然環境と調和した地域社会の発展、地域・文化・時代により変化する建設分野への要請および諸課題へ対応するため、必要な科学と土木・建築工学技術の知識、幅広い教養と倫理観、コミュニケーション能力、生涯自己学習能力および問題解決・応用展開能力をもった技術者を養成するとともに、

土木工学および建築工学に関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

六 感性デザイン学科

現代社会の構造変化、価値観の多様化などの社会的背景を理解し、多角的な視点でモノを表現するデザイン力、並びに豊かな住環境を提供するデザイン力をもって、幸福で美しい社会づくりに積極的に携わることができる人材を養成するとともに、人々の生活の視点に立った感性デザインを探究し、これらの成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

第3章 修業年限および収容定員

第4条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、在学年数は8年を超えることができない。

第5条 本学の入学定員および収容定員は、次の通りとする。

	入学定員	収容定員
一 工学部 機械情報技術学科	80名	320名
二 工学部 電気電子システム学科	60名	240名
三 工学部 システム情報工学科	70名	280名
四 工学部 バイオ環境工学科	60名	240名
五 工学部 土木建築工学科	70名	280名
六 感性デザイン学部 感性デザイン学科	60名	240名

第4章 開学記念日、学年、学期および休業日

第6条 開学記念日は、1月29日とする。

2 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7条 学年を分けて、次の2学期とする。

- 一 前期（4月1日より 9月15日まで）
- 二 後期（9月16日より 翌年 3月31日まで）

第8条 学年中の休業日は、次の通りとする。

- 一 土曜日および日曜日
- 二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- 三 春季休業
- 四 夏季休業

第5 学 則

五 冬季休業

- 2 前項の第3号から第5号の休業日については、毎年度定める。
- 3 必要がある場合、第1項の休業日を臨時に変更し、または臨時に休業日を定めることができる。
- 4 必要がある場合、第1項の休業日に授業等を行うことがある。

第5章 入学、再入学、転入学、編入学、復籍、転学部、転学科および保証人

第9条 入学、転入学および編入学の時期は、学年の初めから30日以内とする。

- 2 再入学の時期は、学期の初めとする。

第10条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- 三 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 五 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 六 文部科学大臣の指定した者
- 七 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 八 相当の年令に達し、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第11条 入学を志願する者に対しては、入学試験の上、入学を許可する。

第12条 本学を退学した者または第22条第五号の規定により除籍となった者が、再入学を志願するときは、選考の上、許可することがある。

- 2 第22条第二号、第三号及び第四号の規定により除籍された者の復籍については、認めない。
- 3 第22条第五号の規定により除籍された者の復籍については、別に定める。

第13条 次の各号の一に該当する者は、人員に余裕のある場合に限り、選考の上、転入学または編入学を許可することがある。

- 一 他の大学に在学する者で、その学長または学部長の許可を得て転入学を志願する者
- 二 大学、短期大学、高等専門学校を卒業した者ならびに文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校の専門課程を修了した者（学校教育法第90条に規定する者に限る。）で、本学に編入学を志願する者

第14条 転学部あるいは転学科を志願する者があるときは、選考の上、許可することがある。

第15条 再入学、転入学、編入学、転学部または転学科を許可された者の、すでに修得した授業科目とその単位数および修業年数は、審査の上、その一部または全部を認めることがある。

第16条 学生が本学に入学する前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）について、教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。ただし、この認定に関連して修業年限の短縮は行わない。

2 前項による単位の認定は、合計30単位を超えない範囲で行うものとする。

第17条 入学、再入学、転入学または編入学を許可された者は、保証人連署の誓約書を指定期日までに提出し、その他本学所定の入学手続きを完了しなければならない。

2 正当の理由なく前項の手続きをしないときは、入学、再入学、転入学または編入学の許可はその効力を失う。

第18条 保証人は父母または独立生計を営む成年の者とする。

2 保証人は、入学、再入学、転入学または編入学を許可された者の誓約に関し、連帯責任を負うものとする。

3 保証人の変更、転居、改印、改氏名等は、そのつど届け出なければならない。

第6章 休学、転学、退学および除籍

第19条 病気その他の事由により、引続き3月以上修学することができない場合は、願い出て許可を受けて休学することができる。

2 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の事情がある場合は、願い出により期間の延長を許可することがある。

3 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間中に事由がなくなったときは、許可を受けて復学することができる。

5 休学期間は、修業期間に算入しない。

第20条 他の大学に転学を志願する者は、事由を具して、その許可を願い出なければならない

第5 学 則

らない。

第21条 退学しようとする者は、事由を具して、その許可を願い出なければならない。

第22条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

- 一 死亡の届け出のあった者
- 二 病気その他やむを得ない事情により修学の見込みのない者
- 三 第4条の在学年数を経て、なお所定の課程を修了できない者
- 四 第19条第3項の休学期間に達しても、なお修学できない者
- 五 授業料等の滞納期間が2月を超える者

第7章 教育課程および履修の方法

第23条 本学の開設する授業科目、単位数、授業時間数およびその配置等は、別表第1による。

2 学生が所属する学部学科以外の学科の講義科目を履修することを認めることがある。

3 学部または学科に、必要に応じて履修上のコースを設けることができる。

第24条 各授業科目に対する単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- 一 講義および演習については、毎週1時間15週または毎週2時間15週の授業をもって1単位とする
- 二 実験、実習および実技については、実験室または実習場等で行われるものであることを考慮し、毎週2時間15週または毎週3時間15週の実験、実習または実技をもって1単位とする

2 一つの授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前項各号に規定する基準をもって1単位とする。

第25条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第26条 学生は、毎学期の初めに、履修しようとする授業科目を、所定の手続きにより届け出なければならない。

2 学生は、届け出た科目に限り、単位修得の認定を受けることができる。

第27条 授業科目の単位修得の認定は、試験による。ただし、平常の成績を加味するこ

とがある。

2 実験、実習、演習および実技は、平常の成績をもって試験にかえることがある。

第28条 試験は原則として、学期末に行う。

2 各授業科目の成績評価は、S、A、B、CおよびDによるものとし、S、A、B、Cは合格、Dは不合格とする。

3 病気その他やむを得ない事故で定期的試験に欠席した者に対しては、追試験を行うことがある。

4 その他試験の施行に関しては、別に定める。

第29条 各学年において、修得単位数が、別に定める基準に満たない場合には、その学年に留年とする。

第30条 卒業に必要な修得単位数は、別表第1に定める単位を含め、124単位以上とする。

第31条 卒業研究あるいは卒業制作・論文の題目および研究計画は、卒業しようとする年度の初めに、所定の手続きにより、届け出なければならない。

第32条 学長は、学生が他の大学の授業科目を履修することまたは、これに相当する教育機関等において修学することが教育上有益であると認めるときは、教授会の議を経て当該大学等と協議のうえ、履修することまたは修学することを認めることができる。

2 学長は、学生が外国の大学またはこれに相当する教育機関等において修学することが教育上有益であると認めるときは、教授会の議を経て当該大学等と協議のうえ、留学することを認めることができる。

3 留学の期間は、修業期間に算入する。

4 学長は、第1項の規定により修得した成果および、第2項の規定により留学して得た修学の成果について、教授会の議を経て本学において修得したものとして認定するものとする。

5 前項の規定により修得したものとみなす単位数は、第16条の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第8章 卒業および学位授与

第33条 本学において4年以上修業し、所定の授業科目を履修し所定の単位を修得した者は卒業とし、工学部にあつては学士（工学）、感性デザイン学部にあつては学士（感性デザイン）の学位を授与する。

2 前項の規定にかかわらず文部科学大臣の定めるところにより、本学に3年以上在学

第5 学 則

した者で、卒業の要件として本学が定める単位を優秀な成績で修得したと認める場合は、卒業を認めるものとする。

3 学位の授与についての必要な事項は、八戸工業大学学位規程に定める。

第9章 教育職員免許状

第34条 教育職員免許状を取得しようとする者は、卒業に必要な単位を修得するほか、教育職員免許法および同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。この修得すべき授業科目ならびに単位数は別表第1に掲げる。

2 前項の所要条件を満たした者に対しては、次に掲げる教育職員免許状取得の資格を与える。

免許状の種類	免許教科の種類	学 科
中学校教諭 一種免許状	技 術	工 学 部 機 械 情 報 技 術 学 科 電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科 シ ス テ ム 情 報 工 学 科 バ イ オ 環 境 工 学 科 土 木 建 築 工 学 科
	美 術	感性デザイン学部 感 性 デ ザ イ ン 学 科
高等学校教諭 一種免許状	工 業	工 学 部 機 械 情 報 技 術 学 科 電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科 シ ス テ ム 情 報 工 学 科 バ イ オ 環 境 工 学 科 土 木 建 築 工 学 科
	情 報	工 学 部 シ ス テ ム 情 報 工 学 科
	理 科	工 学 部 バ イ オ 環 境 工 学 科
	美 術	感性デザイン学部
	工 芸	感 性 デ ザ イ ン 学 科

第10章 学費および入学検定料

第35条 本学に納付すべき学費および入学検定料は、別表第2の通りとする。

第36条 納入方法その他の取扱いについては、別に定める。ただし、休学期間中の授業料は、原則としてこれを免除する。

第11章 科目等履修生

第37条 本学の授業科目のうち、1科目または数科目を選んで履修を志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

第38条 科目等履修生の入学の時期は、学年または学期の初めとする。

第39条 科目等履修生はその履修科目を学修するのに十分な学力がなければならない。

第40条 科目等履修生の在学期間は1年以内とする。ただし、願い出によって期間を延長することがある。

第41条 科目等履修生は、その履修科目の試験を受けることができる。

2 試験に合格した者には、大学の定めるところにより、単位修得の認定をする。

第42条 科目等履修生の学費および入学検定料は、別表第2の通りとする。

第43条 科目等履修生には、本章の規定のほか、第4章（学年、学期および休業日）、第17条（入学手続）、第18条（保証人）、第6章（休学、転学、退学および除籍）、第7章（教育課程および履修の方法）、第9章（教育職員免許状）および第15章（賞罰）の規定を準用する。

第12章 特別聴講学生

第44条 本学と他の大学または、これに相当する教育機関等との協議に基づき、本学の学生が当該他大学等で開設する授業科目の履修および単位の修得を希望するとき、若しくは当該他大学等の学生が本学で開設する授業科目の履修および単位の修得を希望するときは、特別聴講学生として扱い、その履修および単位の修得を認めることができる。

2 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

第45条 受入れ特別聴講学生には、本章の規定のほか、第4章（学年、学期および休業日）、第7章（教育課程および履修の方法）および第15章（賞罰）の規定を準用する。

第13章 研 究 生

第46条 本学において特定の事項について研究することを願い出た者があるときは、選

第5 学 則

考の上、研究生として入学を許可することがある。

第47条 研究生の入学の時期は、学年または学期の初めとする。ただし、特別の事情がある場合はこの限りではない。

第48条 研究生を志願できるものは、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 大学を卒業した者
- 二 短期大学、高等専門学校またはこれと同等以上の学校を卒業した者で、関係学科を履修した者
- 三 本学において前二号と同等以上の学力があると認めたる者

第49条 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし引き続き在学を願い出たときは、在学期間の延長を許可することがある。

第50条 研究生が研究事項について証明を願い出たときは、研究証明書を交付することがある。

第51条 研究生がその研究に関係のある授業科目の履修を願い出たときは、許可することがある。

第52条 研究生の学費および入学検定料は、別表第2の通りとする。

第53条 研究生には、本章の規定のほか、第4章（学年、学期および休業日）、第17条（入学手続）、第18条（保証人）、第6章（休学、転学、退学および除籍）、第7章（教育課程および履修の方法）および第15章（賞罰）の規定を準用する。

2 研究生が授業科目を履修する場合は、その履修科目について、第11章（科目等履修生）の規定を準用する。

第14章 外国人特別留学生

第54条 外国人で特別留学生として入学を希望する者があるときは、第10条の規定によらず、特別に選抜の上入学を許可することがある。

第55条 外国人特別留学生の取り扱いについては、別に定める規定による外はすべて本学学生に関する規定を準用する。

第15章 賞 罰

第56条 顕著な善行があった者は表彰することがある。

2 卒業に際して、人物、学業ともに優秀で他の学生の模範とするに足る者は表彰することがある。

第57条 本学の規則、命令に違反し、または学生の本分に反する行為のあった者は、懲

戒する。

- 2 懲戒の種類は、訓告、停学および退学とする。
- 3 停学3月以上にわたるときは、その期間は修業期間に算入しない。
- 4 懲戒処分の基準およびその手続きについては、別に定める。

第58条 前条の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- 一 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
- 二 学力劣等で成業の見込みがないと認められた者
- 三 正当の理由がなく出席常でない者
- 四 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

第16章 職員組織および教授会

第59条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員および技術職員を置く。

- 2 本学に前項のほか、副学長その他必要な職員を置くことができる。

第60条 職員の職務は、次の通りとする。

- 一 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統轄する
- 二 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる
- 三 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する
- 四 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する
- 五 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する
- 六 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する
- 七 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する
- 八 事務職員は、事務に従事する
- 九 技術職員は、技術に関する職務に従事する

第61条 本学に、教授会を置く。

- 2 教授会は、学長、副学長、教授、准教授、講師および助教をもって組織する。

第5 学 則

3 教授会の構成および運営に関する事項は、別に定める。

第62条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一 学生の入学、卒業

二 学位の授与

三 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、および学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

第17章 基礎教育研究センター、図書館、工作技術センターおよび研究所

第63条 本学に基礎教育研究センター、図書館、工作技術センターおよび研究所を置く。

2 基礎教育研究センター、図書館、工作技術センターおよび研究所の運営等に関する事項は、別に定める。

第18章 大 学 院

第64条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する事項は、別に定める。

第19章 公 開 講 座

第65条 本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座の運営等に関する事項は、別に定める。

第20章 学 則 の 改 廃

第66条 この学則の改廃は、教授会の議を経て、理事会が行う。

附 則（昭和46年9月28日 八戸工業大学設置認可申請書）

この学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則（昭和50年3月25日 八工大総第251号）

この学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則（昭和51年3月25日 八工大総第64号）

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和53年3月25日 八工大総第51号）

- 1 この学則は、昭和53年4月1日から施行する。
- 2 昭和52年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和54年2月28日 八工大総第38号）

- 1 この学則は、昭和54年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和55年3月25日 八工大総第38号）

- 1 この学則は、昭和55年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和56年1月30日 八工大総第36号）

- 1 この学則は、昭和56年4月1日から施行する。
- 2 昭和55年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和57年3月11日 八工大総第64号）

- 1 この学則は、昭和57年4月1日から施行する。
- 2 第2条および第4条の産業機械工学科は昭和57年度より学生募集を停止する。
- 3 昭和56年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和57年12月20日 八工大総第57号）

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

第5 学 則

附 則（昭和59年3月22日 八工大総第54号）

- 1 この学則は、昭和59年4月1日から施行する。
- 2 昭和58年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和60年3月8日 八工大総第62号）

- 1 この学則は、昭和60年4月1日から施行する。
- 2 昭和59年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和61年3月7日 八工大総第60号）

- 1 この学則は、昭和61年4月1日から施行する。
- 2 昭和60年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和62年2月13日 八工大総第40号）

- 1 この学則は、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 昭和61年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和63年3月1日 八工大総第63号）

- 1 この学則は、昭和63年4月1日から施行する。
- 2 昭和62年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（平成元年3月22日 八工大総第79号）

- 1 この学則は、平成元年4月1日から施行する。
- 2 昭和63年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。
- 3 昭和63年度以前に入学した学部学生の授業料は、当該入学年度の授業料に1万円を加算した金額とする。

附 則（平成2年2月7日 八工大総第60号）

- 1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 平成元年度以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（平成3年2月27日 八工大総第65号）

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 平成2年度以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。
- 3 平成2年度以前に入学した学生の授業料は、当該入学年度の授業料に当該入学年度の施設設備費、実験実習費並びに維持費を加算した金額とする。当該入学年度の施設設備費、実験実習費並びに維持費は廃止する。

附 則（平成3年10月3日 八工大総第37号）

この学則は、平成3年9月1日から施行する。

附 則（平成4年3月4日 八工大総第60号）

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 平成3年度以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。
- 3 第4条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの入学定員は、次の通りとする。

一	工学部	機械工学科	120名
二	工学部	電気工学科	120名
三	工学部	土木工学科	120名
四	工学部	建築工学科	120名
五	工学部	エネルギー工学科	120名

附 則（平成5年2月9日 八工大総第54号）

この学則は、平成5年4月1日から施行する。

第5 学 則

附 則（平成6年2月7日 八工大総第69号）

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則（平成7年3月17日 八工大総第67号）

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年2月27日 八工大総第72号）

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年3月24日 八工大総第80号）

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成10年3月2日 八工大総第68号）

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成11年1月6日 八工大総第72号）

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 電気工学科は、第2条の規定にかかわらず、平成11年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成11年3月20日 八工大総第88号）

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成11年7月29日 八工大総第40号）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成11年7月30日 八工大総第41号）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成12年3月8日 八工大総第92号）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成12年11月6日 八工大総第72号）

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 機械工学科および土木工学科は、第2条の規定にかかわらず、平成13年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成13年3月8日 八工大総第93号）

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成13年5月31日 八工大総第17号）

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 第2条および第4条のエネルギー工学科は、平成14年度より学生募集を停止する。

附 則（平成14年3月20日 八工大総第82号）

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成14年7月30日 八工大総第45号）

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 電気電子工学科は、第2条の規定にかかわらず、平成15年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成15年3月7日 八工大総第80号）

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月5日 八工大総第88号）

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成16年6月18日 八工大総第30号）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月30日 八工大総第94号）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

第5 学 則

附 則（平成17年3月30日 八工大総第95号）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月3日 八工大総第72号）

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年11月7日 八工大総第53号）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年2月22日 八工大総第74号）

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年6月27日 八工大総第27号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 第3条および第5条の環境建設工学科および建築工学科は、平成21年度から学生募集を停止する。

附 則（平成20年9月24日 八工大総第46号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 工学部生物環境化学工学科は、第3条の規定にかかわらず、平成21年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成20年10月30日 八工大総第57号）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成21年2月26日 八工大総第92号）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成21年4月7日 八工大総第2号）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 工学部電子知能システム学科は、第3条の規定にかかわらず、平成22年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成22年3月2日 八工大総第73号）

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年2月23日 八工大総第75号）

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第28条第2項については、平成22年度以前に入学した学生は従前の規定を適用する。

附 則（平成25年3月29日 八工大総第94号）

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成26年2月27日 八工大総第76号）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年12月25日 八工大総第57号）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

但し、建築工学科廃止日は、理事会承認の日（平成26年12月19日）とする。

附 則（平成27年3月31日 八工大総第86号）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

第5 学 則

機 械 情 報 技 術 学 科 課 程 表

別表第1

平成21年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
導入転換 科 目	キ ャ リ ア デ ザ イン	キャリアデザインⅠ	1	1	1										
		キャリアデザインⅡ	1			1	1								
		キャリアデザインⅢ	2					2	2						
		キャリアデザインⅣ	1	2											
	工学への関心	機械情報ゼミナールⅠ	1	2											
		機械情報技術概論	2		2										
エンジン解剖実習		1	3												
総合教養 科 目	人 間 科 学	哲 学	2				2							左記の科 目から必 修を含み 8単位以 上修得す ること	分野を問 わず必修 を含み24 単位以上 修得す ること
		文 学	2			2									
		心 理 学	2			2									
		職 業 倫 理	2					2							
		歴 史	2	2											
		経 済 学	2		2										
	日 本 国 憲 法	2						2							
	国際コミュニ ケー シ ョ ン	日 本 語 表 現 法	2		2									左記の科 目から必 修を含み 8単位以 上修得す ること	
		実 践 日 本 語 表 現	2				2								
		現 代 英 語 Ⅰ	1		2										
		現 代 英 語 Ⅱ	1		2										
		英 語 コミュニケーションⅠ	1			2									
		英 語 コミュニケーションⅡ	1				2								
		英 語 特 別 演 習	1					2							
		ド イ ツ 語 基 礎 Ⅰ	1	2											
		ド イ ツ 語 基 礎 Ⅱ	1		2										
		ド イ ツ 語 コミュニケーションⅠ	1			2									
		ド イ ツ 語 コミュニケーションⅡ	1				2								
		ド イ ツ 語 特 別 演 習	1					2							
		中 国 語 基 礎 Ⅰ	1	2											
中 国 語 基 礎 Ⅱ		1		2											
中 国 語 コミュニケーションⅠ	1			2											
中 国 語 コミュニケーションⅡ	1				2										
中 国 語 特 別 演 習	1					2									

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期			
総合教養 科 目	体育科学	体 育 学		1	2										
		スポーツ健康学		1			2								
		スポーツ特別演習		1		2									
	総合学際	主題別ゼミナールⅠ		2		2									
		主題別ゼミナールⅡ		2			2								
		主題別ゼミナールⅢ		2				2							
		主 題 別 講 義		2						2					
	海 外 研 修		1	2											
工学基礎 科 目	工学基礎	機 械 基 礎 数 学	2		2										
		線 形 代 数	2			2									
		微 分	2		2										
		積 分	2			2									
		確 率 ・ 統 計	2				2								
		応 用 数 学	2						2						
		基 礎 物 理 学 Ⅰ	2			2									
		基 礎 物 理 学 Ⅱ	2				2								
		基 礎 物 理 学 Ⅲ	2						2						
		基 礎 化 学 Ⅰ	2	2											
		基 礎 化 学 Ⅱ	2			2									
		物 理 学 実 験	2	4											
		化 学 実 験	2			4									
		物 理 科 学	2	2											
		環境とエネルギー	2				2								
生 命 科 学	2						2								
基 礎 情 報 科 学	2	2													
リメディ アル科目	リメディアル	数 学 基 礎 Ⅰ		1	2										
		数 学 基 礎 Ⅱ		1	2										
		物 理 基 礎		2	2										
		英 語 基 礎 Ⅰ		1	2										
		英 語 基 礎 Ⅱ		1		2									

左記の科目から必修を含み14単位以上修得すること

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専門科目	材力・機力	材力・機力学基礎	2	2	2									専門科目から 必修を含み70 単位以上を修 得すること
		材 料 力 学	2			2								
		C A E 材 料 力 学	2				2							
		機 械 力 学	2					2						
		C A E 機 械 力 学	2						2					
	熱・流体	熱・流体学基礎	2	2	2									
		熱 力 学	2			2								
		熱 工 学	2				2							
		伝 熱 工 学	2					2						
		C A E 伝 熱 工 学	2						2					
		冷 凍 空 調 工 学	2							2				
		流 れ 学	2			2								
		C A E 流 れ 学	2				2							
	流体機械システム工学	2						2						
	情報・制御	パソコン工作学	2	2	2									
		基礎機械情報工学	2		2									
		応用機械情報工学	2			2								
		計 測 工 学	2				2							
		メカトロニクス基礎	2					2						
		ロ ボ ッ ト 工 学	2							2				
電気電子工学概論		2				2								
電 子 回 路 工 学		2					2							
制 御 工 学		2						2						
C A E 制 御 工 学		2							2					
材料・設計・ 加工	機 械 材 料 工 学	2	2	2										
	先 進 材 料 工 学	2		2										
	基 礎 設 計 工 学	2			2									
	応 用 設 計 工 学	2				2								
	工 作 学	2		2										
	機 械 加 工 学	2					2							
	成 形 加 工 学	2						2						
	マイクロマシンシステム	2								2				
	基 礎 設 計 製 図	2				6								
	C A D 設 計 製 図	2					6							
機 械 設 計 技 法	2								6					

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必修	選択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期		
専門科目	材料・設計・ 加工	機 械 工 作 実 習	1						3					
		ロ ボ ッ ト 創 作	1							3				
品 質 管 理		2						2						
	自動車工学	潤 滑 工 学	2						2					
		自 動 車 エ ン ジ ン	2						2					
		自 動 車 測 定 検 査 概 論	2							2				
		自 動 車 構 造 I	2								2			
		自 動 車 構 造 II	2									2		
		自 動 車 法 規	2										2	
		自 動 車 工 学	2									2		
		カ ー エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス	2									2		
		自 動 車 検 査	2									2		
		自 動 車 整 備 実 習	6									9	9	
	統 合 工 学	機 械 工 学 実 験 I	1						3					
		機 械 工 学 実 験 II	1							3				
		機 械 工 学 演 習 I	2			2								
		機 械 工 学 演 習 II	2				2							
		機 械 工 学 演 習 III	2					2						
		機 械 工 学 演 習 IV	2							2				
		機 械 情 報 ゼ ミ ナ ー ル II	1						2					
		機 械 情 報 ゼ ミ ナ ー ル III	1								2			
		機 械 創 造 学 外 研 修 卒 業 研 究	2 1 6			2				1			9	9
	原子力工学	原 子 力 エ ネ ル ギ ー	2		2									
		放 射 線 の 利 用	2			2								
		原 子 力 体 感 研 修	2							2				
		原 子 燃 料 サ イ ク ル ・ 安 全 工 学	2								2			
機 械 情 報 技 術 学 科 総 計			70	151	46	43	45	35	41	28	42	22		

第5 学 則

電気電子システム学科課程表

別表第1

平成22年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要				
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年						
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期					
導入転換 科 目	キ ャ リ ア デ ザ イン	キャリアデザインⅠ		1	1	1											
		キャリアデザインⅡ		1		1	1										
		キャリアデザインⅢ		2				2	2								
		キャリアデザインⅣ		1	2												
	工学への関心	電気電子システム入門	2		2												
		電気電子システム概論	2			2											
総合教養 科 目	人 間 科 学	歴 史		2	2												左記の科 目から必 修を含み 8単位以 上を修得 すること
		経 済 学		2		2											
		文 学		2			2										
		心 理 学		2			2										
		哲 学		2				2									
		職 業 倫 理	2					2									
		日 本 国 憲 法		2					2								
		環 境 と エ ネ ル ギ ー		2				2									
	生 命 科 学		2				2										
	国際コミュニ ケーション	日本語表現法		2		2											左記の科 目から必 修を含み 8単位以 上を修得 すること
		実践日本語表現		2				2									
		現代英語Ⅰ	1		2												
		現代英語Ⅱ	1			2											
		英語コミュニケーションⅠ	1				2										
		英語コミュニケーションⅡ	1					2									
英語特別演習		1						2									
ドイツ語基礎Ⅰ		1	2														
ドイツ語基礎Ⅱ		1		2													
ドイツ語コミュニケーションⅠ		1				2											
ドイツ語コミュニケーションⅡ		1					2										
ドイツ語特別演習		1						2									
中国語基礎Ⅰ	1	2															
中国語基礎Ⅱ	1		2														
中国語コミュニケーションⅠ	1				2												
中国語コミュニケーションⅡ	1					2											
中国語特別演習	1						2										

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
総合教養 科 目	体 育 科 学	体 育 学	1	2												
		ス ポ ー ツ 健 康 学	1			2										
		ス ポ ー ツ 特 別 演 習	1		2											
	総 合 学 際	主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル I	2		2											
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル II	2			2										
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル III	2				2									
		主 題 別 講 義 海 外 研 修	2 1	2						2						
工学基礎 科 目	数 学	微 分	2	2											左記の科目から 必修を含み 8単位以上を 修得すること	
		積 分	2		2											
		線 形 代 数	2		2											
		確 率 ・ 統 計 学	2			2										
		応 用 数 学	2				2									
	物 理 学 ・ 化 学	物 理 科 学	2	2												
		基 礎 物 理 学 I	2		2											
		基 礎 物 理 学 II	2			2										
		基 礎 物 理 学 III	2				2									
		基 礎 化 学 I	2	2												
情 報	基 礎 情 報 科 学	2	2													
	実 験	物 理 学 実 験	2	4											左記の科目から 2単位以上を修 得すること	
化 学 実 験		2		4												
リメディア ル科目	リメディア ル科目	数 学 基 礎 I	1	2												
		数 学 基 礎 II	1	2												
		物 理 基 礎	2	2												
		英 語 基 礎 I	1	2												
		英 語 基 礎 II	1		2											

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専門科目	専 門 基 礎	電 気 回 路 入 門	2		2										左記の科目から必修を含み70単位以上を修得すること
		電 気 電 子 数 学	2			2									
		電 磁 気 学 I	2			2									
		電 磁 気 学 II	2				2								
		電 磁 気 学 演 習 I	2				2								
		電 磁 気 学 演 習 II	2					2							
		電 気 回 路 I	2				2								
		電 気 回 路 II	2					2							
		電 気 回 路 演 習 I	2				2								
		電 気 回 路 演 習 II	2					2							
技 術 英 語	2							2							
電子デバイス・システム制御系	電 気 電 子 計 測 セ ン サ ー 応 用 工 学	電 気 電 子 計 測	2			2									
		セ ン サ ー 応 用 工 学		2			2								
		電 子 回 路 I	2					2							
		電 子 回 路 II		2					2						
		知 能 集 積 回 路		2						2					
		電 子 物 性 工 学	2				2								
		電 気 電 子 材 料 工 学	2					2							
		半 導 体 工 学	2						2						
		制 御 工 学 I	2					2							
制 御 工 学 II	2						2								
知 能 ロ ボ ッ ト 工 学	2							2							
情報・通信・メディア系	ネ ッ ト ワ ー ク 基 礎 情 報 メ デ ィ ア 工 学	ネ ッ ト ワ ー ク 基 礎	2		2										
		情 報 メ デ ィ ア 工 学	2			2									
		コ ン ピ ュ ー タ プ ロ グ ラ ム ィ ン グ I	2				2								
		コ ン ピ ュ ー タ プ ロ グ ラ ム ィ ン グ II	2					2							
		デ ィ ジ タ ル 回 路	2				2								
		電 磁 波 工 学	2					2							
		情 報 通 信 工 学 I	2					2							
		情 報 通 信 工 学 II	2						2						
		通 信 ネ ッ ト ワ ー ク 工 学	2							2					
		情 報 通 信 法 規	2								2				
電気エネルギーシステム系	電 力 発 生 工 学 電 力 輸 送 工 学 電 気 機 器 工 学	電 力 発 生 工 学	2			2									
		電 力 輸 送 工 学	2					2							
		電 気 機 器 工 学	2					2							

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期		
専門科目	電気エネルギー システム系	電力システム工学		2							2			電子情報シス テム実験、電 気エネルギー システム実験 のいずれかを 修得すること
		電気利用工学		2						2				
		高電界工学		2						2				
		パワーエレクトロニクス		2							2			
		プラズマ工学		2							2			
		機械工学概論		2							2			
		電気法規と電気施設管理		2							2			
	実験・製図・ 研修・研究	創造工学実験	2			6								
		電気電子基礎実験	2				6							
		電子情報システム実験	2					6						
		電気エネルギーシステム実験	2						6					
		電気電子設計製図	2								4			
		学 外 研 修	1							2				
		先 端 技 術 工 学	1							1				
	原子力工学	卒業 研 究	6								9	9		
		原子力エネルギー		2		2								
		放射線の利用		2			2							
		原子力体感研修		2						2				
		原子燃料サイクル・安全工学		2							2			
	電気電子システム学科総計			62	140	37	37	43	43	34	35	23	13	

第5 学 則

システム情報工学科課程表

別表第1

平成21年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
導入転換 科 目	キ ャ リ ア デ ザ イン	キャリアデザインⅠ		1	1	1									
		キャリアデザインⅡ		1		1	1								
		キャリアデザインⅢ		2				2	2						
		キャリアデザインⅣ		1	2										
	工学への関心	情報基礎ゼミナール	2		2										
		情報科学アラカルト	2		2										
情報工学概論		2			2										
総合教養 科 目	人 間 科 学	哲 学	2				2							左記の科 目から8 単位以上 を修得す ること	
		文 学	2			2									
		心 理 学	2			2									
		職 業 倫 理	2					2							
		歴 史	2	2											
		経 済 学	2		2										
	国際コミュニ ケーション	日 本 語 表 現 法	2		2									左記の科 目から必 修を含み 8単位以 上を修得 すること	
		実 践 日 本 語 表 現	2					2							
		現 代 英 語 Ⅰ	1		2										
		現 代 英 語 Ⅱ	1		2										
		英 語 コミュニケーションⅠ	1			2									
		英 語 コミュニケーションⅡ	1				2								
		英 語 特 別 演 習	1					2							
		ド イ ツ 語 基 礎 Ⅰ	1	2											
		ド イ ツ 語 基 礎 Ⅱ	1		2										
		ド イ ツ 語 コミュニケーションⅠ	1			2									
		ド イ ツ 語 コミュニケーションⅡ	1				2								
		ド イ ツ 語 特 別 演 習	1					2							
		中 国 語 基 礎 Ⅰ	1	2											
		中 国 語 基 礎 Ⅱ	1		2										
中 国 語 コミュニケーションⅠ	1			2											
中 国 語 コミュニケーションⅡ	1				2										
中 国 語 特 別 演 習	1					2									

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
総合教養 科 目	体 育 科 学	体 育 学		1	2											
		ス ポ ー ツ 健 康 学		1			2									
		ス ポ ー ツ 特 別 演 習		1		2										
	総 合 学 際	主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル Ⅰ		2		2										
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル Ⅱ		2			2									
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル Ⅲ		2				2								
		主 題 別 講 義 海 外 研 修		2 1							2					
工学基礎 科 目	工 学 基 礎	微 分	2		2											
		積 分	2			2										
		線 形 代 数	2			2										
		基 礎 物 理 学 Ⅰ		2		2										
		基 礎 物 理 学 Ⅱ		2			2									
		基 礎 物 理 学 Ⅲ		2				2								
		基 礎 化 学 Ⅰ		2	2											
		基 礎 化 学 Ⅱ		2		2										
		基 礎 情 報 科 学	2		2											
		確 率 ・ 統 計		2			2									
		物 理 科 学		2	2											
		環 境 と エ ネ ル ギ ー		2			2									
		生 命 科 学		2				2								
		物 理 学 実 験		2	4										左記の科目から 2単位以上を修 得すること	
		化 学 実 験		2		4										
リメディ アル科目	リメディアル	数 学 基 礎 Ⅰ		1	2											
		数 学 基 礎 Ⅱ		1	2											
		物 理 基 礎		2	2											
		英 語 基 礎 Ⅰ		1	2											
		英 語 基 礎 Ⅱ		1		2										

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要					
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年							
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期						
専門科目	シ ス テ ム	システム数理	2				2											
		情報通信工学	2				2											
		制御工学		2						2								
		計測情報工学		2					2									
		情報ネットワーク入門		2					2									
		ロボット工学		2								2						
		情報ネットワーク設計		2						2								
		シミュレーション工学		2								2						
		情報ネットワーク構築		2								2						
		情報システム論		2							2							
		情報セキュリティ		2						2								
情 報	ブ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	離散数学	2		2													
		グラフ理論入門		2														
		プログラミング言語		2														
		情報数理		2				2										
		プログラム設計		2					2									
		オペレーティングシステム		2					2									
		コンピュータシステム		2					2									
		デジタル信号処理		2							2							
		アルゴリズム		2					2									
		言語とコンパイラ		2							2							
		論理回路		2							2							
		数値解析		2								2						
		データベース		2							2							
		知識工学		2								2						
集積回路		2									2							
パターン情報処理		2									2							
人間・社会	ウ ェ ブ デ ザ イ ン	デジタル映像表現	2		2													
		コンピュータグラフィックス		2				2										
		バーチャルリアリティ		2					2									
		人間情報科学		2							2							
		産業情報論		2						2								
		マルチメディア工学		2							2							

左記の科目から必修を含み70単位以上を修得すること

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期			
専門科目	人間・社会	経 営 情 報 論		2					2						
		情 報 文 化 論		2							2				
	関 連	電 子 工 学		2						2					
		電 気 工 学		2				2							
		機 械 工 学 概 論		2						2					
	実験・研修・ その他	情報工学基礎実験Ⅰ	1				4								
		情報工学基礎実験Ⅱ	1					4							
		情報工学応用実験Ⅰ	1						4						
		情報工学応用実験Ⅱ	1							4					
		設 計 ・ 製 図		2						4					
		情報工学特別講義		2						2					
		学 外 研 修		1						2					
		情報専門ゼミナール		2							2				
	卒 業 研 究	6									9	9			
	原子力工学	原子力エネルギー		2		2									
		放 射 線 の 利 用		2			2								
		原子力体感研修		2							2				
		原子燃料サイクル・安全工学		2								2			
	システム情報工学科総計			46	151	43	41	43	35	42	32	11	9		

第5 学 則

バ イ オ 環 境 工 学 科 課 程 表

別表第1

平成21年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
導入転換 科 目	キ ャ リ ア デ ザ イン	キ ャ リ ア デ ザ イン I		1	1	1									
		キ ャ リ ア デ ザ イン II		1			1	1							
		キ ャ リ ア デ ザ イン III		2					2	2					
		キ ャ リ ア デ ザ イン IV		1	2										
	工学への関心	バ イ オ 環 境 工 学 概 論	2		2										
		バ イ オ 環 境 工 学 導 入 デ ザ イン I	2		2										
バ イ オ 環 境 工 学 導 入 デ ザ イン II		2				2									
総合教養 科 目	人 間 科 学	哲 学	2					2						左記の科目から必修を含み8単位以上修得すること	
		文 学	2				2								
		心 理 学	2				2								
		職 業 倫 理 学	2						2						
		歴 史 学	2	2											
		経 済 学	2		2						2				
	国際コミュニ ケーション	日 本 語 表 現 法	2		2									左記の科目から必修を含み8単位以上修得すること	
		実 践 日 本 語 表 現	2						2						
		現 代 英 語 I	1		2										
		現 代 英 語 II	1			2									
		英 語 コミュニケーションI	1				2								
		英 語 コミュニケーションII	1					2							
		英 語 特 別 演 習	1						2						
		ド イ ツ 語 基 礎 I	1	2											
		ド イ ツ 語 基 礎 II	1		2										
		ド イ ツ 語 コミュニケーションI	1			2									
		ド イ ツ 語 コミュニケーションII	1				2								
		ド イ ツ 語 特 別 演 習	1						2						
		中 国 語 基 礎 I	1	2											
		中 国 語 基 礎 II	1		2										
中 国 語 コミュニケーションI	1			2											
中 国 語 コミュニケーションII	1				2										
中 国 語 特 別 演 習	1						2								

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
総合教養 科 目	体 育 科 学	体 育 学		1	2											
		ス ポ ー ツ 健 康 学		1			2									
		ス ポ ー ツ 特 別 演 習		1		2										
	総 合 学 際	主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル I		2		2										
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル II		2			2									
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル III		2				2								
		主 題 別 講 義		2						2						
	海 外 研 修		1	2												
工学基礎 科 目	工 学 基 礎	線 形 代 数		2		2										
		微 分		2		2										
		積 分		2			2									
		確 率 ・ 統 計		2			2									
		工 業 数 学		2				2								
		基 礎 物 理 学 I		2		2										
		基 礎 物 理 学 II		2			2									
		基 礎 物 理 学 III		2				2								
		基 礎 化 学 I	2		2											
		基 礎 化 学 II		2		2										
		物 理 学 実 験		2			4									
		化 学 実 験	2		4											
		物 理 科 学		2	2											
		環 境 と エ ネ ル ギ ー		2			2									
生 命 科 学		2		2												
基 礎 情 報 科 学	2		2													
リメデイ アル科目	リメデイアル	数 学 基 礎 I		1	2											
		数 学 基 礎 II		1	2											
		物 理 基 礎		2	2											
		英 語 基 礎 I		1	2											
		英 語 基 礎 II		1		2										

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専門科目	専 門 基 礎	バイオテクノロジー	2		2									
		無機化学	2		2									
		生化学	2				2							
		物理化学	2				2							
		分析化学	2				2							
		有機化学	2				2							
		環境材料学	2				2							
		環境化学量論	2				2							
		伝熱工学	2						2					
		エネルギーと物質の循環	2						2					
		計測工学	2					2						
バイオサイエンス	バ イ オサイエンス	微生物学	2			2							専門科目から必修を含み70単位以上を修得すること	
		微生物工学	2				2							
		分子遺伝学	2				2							
		遺伝子工学	2					2						
		環境生物学	2		2									
		酵素工学	2						2					
		生物有機化学	2						2					
		食品分析学	2						2					
		食品製造学	2						2					
		食品工学	2						2					
		食品化学	2						2					
		食品衛生学	2							2				
		公衆衛生学	2								2			
		生 理 学	2							2				
環境工学	環 境 工 学	環境熱力学	2			2								
		環境応答学	2					2						
		リサイクル工学	2					2						
		エコインダストリー	2						2					
		グリーンケミストリー	2		2									
		環境影響評価論	2						2					
		機器分析	2						2					
		環境汚染物質分析学	2							2				
		地球環境システム科学	2			2								

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
専門科目	総 合	品 質 管 理		2						2						
		電 気 電 子 工 学 概 論		2								2				
		機 械 工 学 概 論		2								2				
		技 術 マ ネ ジ メ ン ト		2							2					
	実 験 ・ 実 習 ・ 演 習	バ イ オ 環 境 工 学 基 礎 演 習 I	2				2									
		バ イ オ 環 境 工 学 基 礎 演 習 II	2					2								
		バ イ オ 環 境 工 学 演 習 I	2							2						
		バ イ オ 環 境 工 学 演 習 II	2								2					
		バ イ オ 環 境 工 学 基 礎 実 験	1					3								
		バ イ オ 環 境 工 学 実 験 I	1								3					
		バ イ オ 環 境 工 学 実 験 II	1									3				
		プ ロ グ ラ ミ ン グ 実 習		1		2										
		バ イ オ 環 境 プ ロ セ ス 実 習 I	1				2									
		バ イ オ 環 境 プ ロ セ ス 実 習 II	1									2				
	研 修	バ イ オ 環 境 工 学 セ ミ ナ ー	1										2			
		卒 業 研 究	6										9	9		
	原 子 力 工 学	原 子 力 エ ネ ル ギ ー		2		2										
		放 射 線 の 利 用		2			2									
		原 子 力 体 感 研 修		2							2					
		原 子 燃 料 サ イ ク ル ・ 安 全 工 学		2								2				
バ イ オ 環 境 工 学 科 総 計			62	137	41	43	41	36	33	31	19	9				

第5 学 則

土 木 建 築 工 学 科 課 程 表

別表第1

平成21年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年					
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
導入転換 科 目	キ ャ リ ア デ ザ イ ン	キ ャ リ ア デ ザ イ ン I		1	1	1										
		キ ャ リ ア デ ザ イ ン II		1		1	1									
		キ ャ リ ア デ ザ イ ン III		2				2	2							
		キ ャ リ ア デ ザ イ ン IV		1	2											
	工学への関心	建 築 概 論	2		2											
		土 木 工 学 概 論	2			2										
総合教養 科 目	人 間 科 学	哲 学	2				2									
		文 学	2			2										
		心 理 学	2			2										
		職 業 倫 理	2					2								
		歴 史	2	2												
		経 済 学	2		2											
			日 本 国 憲 法	2						2						
	国際コミュニ ケーション	日 本 語 表 現 法	日 本 語 表 現 法	2		2										
			実 践 日 本 語 表 現	2				2								
		現 代 英 語 I	現 代 英 語 I	1		2										
			現 代 英 語 II	1		2										
		英 語 コミュニケーション I	英 語 コミュニケーション I	1			2									
			英 語 コミュニケーション II	1				2								
		英 語 特 別 演 習	英 語 特 別 演 習	1					2							
			ド イ ツ 語 基 礎 I	1	2											
		ド イ ツ 語 基 礎 II	ド イ ツ 語 基 礎 II	1		2										
			ド イ ツ 語 コミュニケーション I	1			2									
		ド イ ツ 語 コミュニケーション II	ド イ ツ 語 コミュニケーション II	1				2								
			ド イ ツ 語 特 別 演 習	1					2							
		中 国 語 基 礎 I	中 国 語 基 礎 I	1	2											
			中 国 語 基 礎 II	1		2										
	中 国 語 コミュニケーション I	中 国 語 コミュニケーション I	1			2										
		中 国 語 コミュニケーション II	1				2									
	中 国 語 特 別 演 習	中 国 語 特 別 演 習	1					2								

左記の科目から必修を含み26単位以上を修得すること

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
総合教養 科 目	体 育 学 科	体 育 学		1	2											
		ス ポ ー ツ 健 康 学		1			2									
		ス ポ ー ツ 特 別 演 習		1		2										
	総 合 学 際	主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル I		2		2										
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル II		2			2									
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル III		2				2								
		主 題 別 講 義		2						2						
	海 外 研 修		1	2												
工学基礎 科 目	数 学	線 形 代 数	2			2										
		微 分	2		2											
		積 分	2			2										
		確 率 ・ 統 計	2				2									
		応 用 数 学	2						2							
	物 理 学 ・ 化 学	基 礎 物 理 学 I		2		2										
		基 礎 物 理 学 II		2			2									
		基 礎 物 理 学 III		2				2								
		基 礎 化 学 I	2	2												
		基 礎 化 学 II	2		2											
	そ の 他 の 自 然 科 学	物 理 科 学		2	2											
		環 境 と エ ネ ル ギ ー		2			2									
		生 命 科 学		2				2								
	情 報	基 礎 情 報 科 学	2		2											
実 験	物 理 学 実 験		2	4												
	化 学 実 験		2		4											
リメデイ アル科目	リメデイアル	数 学 基 礎 I		1	2											
		数 学 基 礎 II		1	2											
		物 理 基 礎		2	2											
		英 語 基 礎 I		1	2											
		英 語 基 礎 II		1		2										

左記の科目から必修を含み22単位以上を修得すること

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専門科目	専門基礎	基礎製図	2		4										左記の科目から必修を含み72単位以上をと修得すること
		CAD基礎演習	2			4									
		地球環境論	2			2									
		デザイン	2	4											
		測量学	2			2									
		測量実習	1			3									
		都市計画	2						2						
		構造力学Ⅰ	2				2								
		構造力学Ⅱ	2					2							
建設材料学	2				2										
土木専門科目	土木基礎	材料の力学	2			2									
		情報処理	2			2									
		情報処理応用	2				2								
		応用測量学及び実習	2							3					
	環境保全	廃棄物と工事排水 上下水道工学 水処理工学 基礎水理学 流れの力学 河川の科学 海岸・港湾工学 計画数理 道路・交通工学		2				2							
				2					2						
				2						2					
				2				2							
				2					2						
				2						2					
				2							2				
				2								2			
				2									2		
	防災建設	応用構造力学 地盤の科学 地盤の力学 地盤構造工学 コンクリートの材料科学 コンクリート構造学 構造物のメンテナンス 施工技術		2				2			2				
				2				2							
			2					2							
			2						2						
			2							2					
			2								2				
			2									2			
			2										2		
土木応用	土木工学実験Ⅰ 土木工学実験Ⅱ 水工学設計・演習		2					6							
			1							3					
			2								4				

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年	2年	3年	4年							
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専門科目	土 木 応 用	橋工学設計・演習		2							4				
		地盤工学設計・演習		2								4			
		コンクリート工学設計・演習		2								4			
		キャリアプランニングI		2						2					
		キャリアプランニングII		2							2				
		土木総合デザインI		2						2					
		土木総合デザインII		2								2			
		技術英文読解		2								2			
		地球温暖化と防災		2								2			
		火 薬 学		2								2			
建築専門 科 目	建 築 基 礎	建 築 設 計 I		3			6								
		建 築 設 計 II		3				6							
		住 居 計 画		2			2								
		建 築 計 画		2				2							
		熱・空気環境		2				2							
		建 築 構 造		2			2								
		建 築 施 工		2				2							
		建 築 法 規		2							2				
	建 築 材 料 実 験		2							4					
	アーキテクト	建 築 設 計 III		3					6						
		建 築 史		2			2								
		熱・空気環境演習		1				2							
		音・光環境		2					2						
		音・光環境演習		1					2						
		建 築 設 備		2							2				
		構造力学演習I		1			2								
		構造力学演習II		1				2							
		鉄筋コンクリート構造		2						2					
		鋼 構 造		2						2					
		構 造 設 計		2							2				
建 築 生 産			2							2					
す ま い デ ザ イ ナ ー	す ま い 設 計		3							6					
	CAD・CG演習I		2							4					
	CAD・CG演習II		2							4					

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
建築専門 科 目	す ま い デザイナー	インテリアデザイン	2			2								
		住 生 活 学	2				2							
		木 構 造	2					2						
		色 彩 学	2				2							
	建 築 応 用	建築プレゼンテーション	2								4			
		応用電子計算機	2			2								
		雪 国 建 築	2						2					
		建 築 セ ミ ナ ー	2						2					
		卒業研究プレセミナー	2							2				
専門応用 科 目	専 門 応 用	インターンシップ	1					2						
		学 外 研 修 I	1				2							
		学 外 研 修 II	1						2					
		機 械 工 学 概 論	2							2				
		電 気 電 子 工 学 概 論	2								2			
		卒 業 研 究	6								9	9		
	原 子 力 工 学	原子力エネルギー	2		2									
		放 射 線 の 利 用	2			2								
		原 子 力 体 感 研 修	2						2					
		原 子 燃 料 サ イ ク ル 安 全 工 学	2							2				
土 木 建 築 工 学 科 総 計			32	233	45	39	58	57	67	65	19	9		

感性デザイン学科課程表

別表第1

平成21年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数	年次および週時間数								摘 要			
				必 修	選 択	1年		2年		3年			4年		
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	
導入転換 科 目	感性デザイン 入門・キャリア デザイン	オープニングセミナー	2	2											
		キャリアデザインⅠ	1	1	1										
		キャリアデザインⅡ	1			1	1								
		キャリアデザインⅢ	2					2	2						
総合教養 科 目	人 間 科 学	哲 学	2				2								
		文 学	2			2									
		心 理 学	2			2									
		職 業 倫 理	2								2				
		歴 史	2	2											
		経 済 学	2		2										
		知 的 財 産 論	2									2			
		日 本 国 憲 法	2								2				
	自 然 科 学 概 論	2	2												
	数 学	2	2												
	国際コミュ ニケーション	日 本 語 表 現 法	2	2	2										左記の科目から必修を含み30単位以上を修得すること
		実 践 日 本 語 表 現	2						2						
		現 代 英 語 Ⅰ	1	2											
		現 代 英 語 Ⅱ	1		2										
		英 語 コミュニケーションⅠ	1			2									
		英 語 コミュニケーションⅡ	1				2								
		英 語 特 別 演 習	1					2							
ド イ ツ 語 基 礎 Ⅰ		1	2												
ド イ ツ 語 基 礎 Ⅱ		1		2											
ド イ ツ 語 コミュニケーションⅠ	1			2											
ド イ ツ 語 コミュニケーションⅡ	1				2										
ド イ ツ 語 特 別 演 習	1					2									
中 国 語 基 礎 Ⅰ	1	2													
中 国 語 基 礎 Ⅱ	1		2												
中 国 語 コミュニケーションⅠ	1			2											
中 国 語 コミュニケーションⅡ	1				2										
中 国 語 特 別 演 習	1						2								

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
総合教養 科 目	体 育 科 学	体 育 学	1	2										
		ス ポ ー ツ 健 康 学	1			2								
	総 合 学 際	主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル I		2	2									
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル II		2		2								
		主 題 別 講 義 海 外 研 修		2	2									
リメデイ アル科目	リメディアル	英 語 基 礎 I	1	2										
		英 語 基 礎 II	1		2									

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年	2年	3年	4年							
					前期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門科目	感性デザイン 基 礎	感性デザイン総論	2	2											左記の科目から必修を含み28単位以上を修得すること
		コンピュータ基礎演習	2	2											
		プレゼンテーション	2		2										
		デ ッ サ ン	2	4											
		色 彩 学	2		2										
		デ ザ イ ン 史		2	2										
		ユニバーサルデザイン論	2			2									
		デザインマーケティング論	2						2						
		社 会 福 祉 論	2	2	2										
		ボランテニア論	2	2	2										
		生涯スポーツ演習	2				2								
		感性行動科学	2				2								
		感性心理学	2						2						
		日本の文化	2				2								
		地域文化論	2						2						
	比較文化論	2							2						
	情報メディア論	2							2						
	感性CAD&CG演習I	2				4									
	感性CAD&CG演習II	2					4								
	ビジュアル デザイン	絵 画 I	2	4	4										
絵 画 II		2		4											
表 現 技 法		2	2	2											
図 学		2		2											
タイポグラフィ論		2	2	2											
ビジュアルデザイン論		2		2											
Webデザイン		2				4									
広 告 論		2						2							
映像メディア論		2						2							
イラストレーションI		2						4							
イラストレーションII		2							4						
工 芸 学		2	2	2											
工 芸 実 習		2		4											
彫 刻		2			4										
美 術 史		2							2						

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専門科目	ビジュアル デザイン	芸 術 批 評	2							2				
		ビジュアルデザイン演習I	2			4								
		ビジュアルデザイン演習II	2				4							
		ビジュアルデザイン演習III	2					4						
		ビジュアルデザイン演習IV	2							4				
住 環 境 デザイン	老 人 福 祉 論 介 護 論 地 域 福 祉 論 ボランティア実習 福祉人間工学 福祉機器デザイン ワークデザイン スポーツ健康論 レクリエーション余暇論 福祉心理学 リハビリテーション論 住まいのデザイン 福祉住環境デザイン インテリアデザイン エクステリアデザイン 音と光デザイン 景観デザイン 住環境デザイン演習I 住環境デザイン演習II 住環境デザイン演習III	2		2										
		2			2									
		2				2								
		2				2	2							
		2				2								
		2					2							
		2						2						
		2							2					
		2								2				
		2									2			
		2										2		
		2	2											
		2		2										
		2			2									
		2				2								
		感性デザイン 応 用	学 外 研 修 インターンシップ 感性デザイン特別講義 感性デザイン応用演習 卒業制作・論文	1						2				
2									2					
1										1				
2										2				
6											9	9		
感性デザイン学科総計			28	158	43	41	39	37	40	37	13	9		

教 職 課 程 表

別表第1

平成22年度入学生より適用

免許状の 種 類 別	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
		必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
中1種技術 中1種美術 高1種工業 高1種情報 高1種理科 高1種美術 高1種工芸	教 職 総 論	2		2										各学科について、中1種技術、中1種美術、高1種工業、高1種情報、高1種理科、高1種美術および高1種工芸とも共通に必修
	教 育 基 礎 論	2		2										
	認 知 と 人 格 の 発 達	2			2						2			
	教 育 の 制 度	2								2				
	教 育 課 程 論	2				2								
	特 別 活 動	2		2										
	教 育 工 学	2								2				
	生 徒 指 導 ・ 進 路 指 導	2						2						
	教 育 相 談	2				2								
	教 職 実 践 演 習 (中・高)	2										2		
	事 前 ・ 事 後 指 導	1									2			
	教 育 実 習 I	2									4			
日 本 国 憲 法	2								2					
体 育 学	1		2											
ス ポ ー ツ 健 康 学	1			2										
中1種技術 中1種美術	道 徳 教 育	2		2									各学科共通に必修	
	教 育 実 践 論	2						2						
	教 育 実 習 II	2								4				
中1種技術	技 術 科 指 導 法 I	4						2	2				機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修	
	技 術 科 指 導 法 II		2							2			機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に選択	
	技 術 科 指 導 法 III		2								2		機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に選択	
	木 材 加 工 裁 培	2							2				機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修	
	基 礎 情 報 科 学	2		2									機械情報技術学科に必修	
	電 気 電 子 工 学 概 論	2			2									
	工 作 学	2			2									
	機 械 工 作 実 習	1							3					電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修
	デ ィ ジ タ ル 回 路	2					2							電気電子システム学科に必修
	電 気 機 器 工 学	2						2						
機 械 工 学 概 論	2								2					
電 気 電 子 設 計 製 図	2									4				
コ ン プ ュ ー タ プ ロ グ ラ ミ ン グ I	2						2							

第5 学 則

免許状の 種 類 別	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
		必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
中1種技術	機 械 工 学 概 論	2						2					システム情報工学科に 必修
	ロ ボ ッ ト 工 学	2							2				
	電 子 工 学	2						2					
	電 気 工 学	2				2							
	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	2						2					
	設 計 ・ 製 図	2							4				
	制 御 工 学	2							2				
	グ ラ フ 理 論 入 門	2		2									
	機 械 加 工 学	2						2					バイオ環境工学科に 必修
	電 気 電 子 工 学 概 論	2								2			
	機 械 工 学 概 論	2								2			
	伝 熱 工 学	2								2			
	計 測 工 学	2								2			
	リ サ イ ク ル 工 学	2					2						
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 実 習	1		2									
	機 械 加 工 学	2						2					土木建築工学科に必修 } 土木建築工学科い ずれか1科目選択必修
	構 造 力 学 Ⅱ	2				2							
	材 料 の 力 学	2				2							
	鋼 構 造	2						2					
	機 械 工 学 概 論	2								2			
	原 子 力 エ ネ ル ギ ー	2			2								
原 子 燃 料 サ イ ク ル ・ 安 全 工 学	2								2				
電 気 電 子 工 学 概 論	2								2				
情 報 処 理 応 用	2	2				2							
応 用 電 子 計 算 機	2	2			2								
中1種美術	美 術 科 指 導 法 Ⅰ	4						2	2				感性デザイン学科に必修
	美 術 科 指 導 法 Ⅱ	2								2			感性デザイン学科に 選択
	美 術 科 指 導 法 Ⅲ	2									2		
	コ ン プ ュ ー タ 基 礎 演 習	2		2									感性デザイン学科に 必修 } ビジュアルデザイン演習 Ⅱ、ビジュアルデザイン 演習Ⅲ、ビジュアルデ ザイン演習Ⅳのい ずれか1科目選択必修
	絵 画 Ⅰ	2	4										
	絵 画 Ⅱ	2		4									
	彫 刻	2			4								
	ビジュアルデザイン演習Ⅰ	2			4								
	ビジュアルデザイン演習Ⅱ	2				4							
	ビジュアルデザイン演習Ⅲ	2					4						
	ビジュアルデザイン演習Ⅳ	2						4					
イラストレーションⅠ	2						4						

免許状の 種 類 別	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
		必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
中1種美術	W e b デ ザ イ ン	2				4								
	工 芸 実 習	2			4									
	美 術 史	2						2						
	デ ザ イ ン 史	2			2									
	芸 術 批 評	2							2					
	表 現 技 法	2		2										
	ビジュアルデザイン論	2			2									
高1種工業	工 業 科 指 導 法	4								2	2	機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修		
	職 業 指 導	4								2	2			
	電 気 電 子 工 学 概 論	2				2						機械情報技術学科に必修		
	機 械 工 学 概 論	2								2		電気電子システム学科に必修		
	電 気 電 子 工 学 概 論	2								2		バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修		
	機 械 工 学 概 論	2								2				
	ロ ボ ッ ト 工 学	2								2		システム情報工学科に必修		
	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	2							2					
	集 積 回 路	2							2					
	電 子 工 学	2							2					
	電 気 工 学	2				2								
	機 械 工 学 概 論	2					2							
	設 計 ・ 製 図	2						4						
	制 御 工 学	2							2					
	グ ラ フ 理 論 入 門	2			2									
	数 値 解 析	2								2				
	情 報 専 門 ゼ ミ ナ ル	2								2				
	計 測 工 学	2							2			バイオ環境工学科に必修		
	リ サ イ ク ル 工 学	2					2							
	品 質 管 理	2							2					
技 術 マ ネ ジ メ ン ト	2								2					
プ ロ グ ラ ミ ン グ 実 習	1			2										
測 量 学	2				2						土木建築工学科に必修			
測 量 実 習	1				3									
都 市 計 画	2							2						
構 造 力 学 Ⅱ	2					2								
建 設 材 料 学	2				2									

第5 学 則

免許状の 種 類 別	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
		必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
高1種工業	材 料 の 力 学	2				2								土木建築工学科 左記の科目より18 単位以上選択必修
	応用測量学及び実習	2							3					
	廃棄物と工事排水	2				2								
	上下水道工学	2					2							
	基礎水理学	2				2								
	流れの力学	2				2								
	地盤の力学	2				2								
	地盤構造工学	2					2							
	建築設計Ⅰ	3				6								
	建築設計Ⅱ	3					6							
	住居計画	2				2								
	建築計画	2					2							
	熱・空気環境	2					2							
	建築構造	2					2							
建築施工	2						2							
建築材料実験	2							4						
情報処理応用	2					2							土木建築工学科い ずれか1科目選択必修	
応用電子計算機	2					2								
高1種情報	情報科指導法	4								2	2		システム情報工学科に 必修	
	計測情報工学	2					2							
	情報ネットワーク入門	2					2							
	シミュレーション工学	2						2						
	データベース	2					2							
	産業情報論	2					2							
	マルチメディア工学	2						2						
	情報文化論	2							2					
	情報システム論	2							2					
離散数学	2			2										
高1種理科	理科指導法Ⅰ	2						2					バイオ環境工学科に 必修	
	理科指導法Ⅱ	2							2					
	基礎物理学Ⅰ	2			2									
	基礎物理学Ⅱ	2				2								
	基礎物理学Ⅲ	2				2								
	物理科学	2		2										
	基礎化学Ⅱ	2			2									
	有機化学	2				2								
	無機化学	2				2								
	生命科学	2				2								
	地球環境システム科学	2					2							
物理実験	2			4										

免許状の 種 類 別	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
		必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
高1種美術	美術科指導法Ⅰ	4						2	2					感性デザイン学科に 必修 ビジュアルデザイン演習Ⅱ、ビジュアルデザイン演習Ⅲ、ビジュアルデザイン演習Ⅳのいずれか1科目選択必修
	絵 画 Ⅰ		4											
	絵 画 Ⅱ	2		4										
	彫 刻	2			4									
	ビジュアルデザイン演習Ⅰ	2			4									
	ビジュアルデザイン演習Ⅱ	2	2			4								
	ビジュアルデザイン演習Ⅲ	2					4							
	ビジュアルデザイン演習Ⅳ	2						4						
	イラストレーションⅠ	2						4						
	イラストレーションⅡ	2							4					
	W e b デ ザ イ ン	2					4							
	感性CAD&CG演習Ⅱ	2					4							
	美 術 史	2						2						
	デ ザ イ ン 史	2		2										
	芸 術 批 評	2							2					
表 現 技 法	2		2											
タイポグラフィー論	2		2											
ビジュアルデザイン論	2		2											
高1種工芸	工芸科指導法	4						2	2					感性デザイン学科に 必修 ビジュアルデザイン演習Ⅱ、ビジュアルデザイン演習Ⅲ、ビジュアルデザイン演習Ⅳのいずれか1科目選択必修
	図 学	2		2										
	ビジュアルデザイン演習Ⅰ	2			4									
	ビジュアルデザイン演習Ⅱ	2	2			4								
	ビジュアルデザイン演習Ⅲ	2					4							
	ビジュアルデザイン演習Ⅳ	2						4						
	イラストレーションⅠ	2						4						
	イラストレーションⅡ	2							4					
	W e b デ ザ イ ン	2					4							
	感性CAD&CG演習Ⅱ	2					4							
	工 芸 実 習	2		4										
	工 芸 学	2		2										
	美 術 史	2						2						
	デ ザ イ ン 史	2		2										
	芸 術 批 評	2							2					
表 現 技 法	2		2											
タイポグラフィー論	2		2											
ビジュアルデザイン論	2		2											

第5 学 則

別表第2

学 費 , 入 学 検 定 料

工学部学費

学費種別	学 部 学 生	科目等履修生	研 究 生
入 学 金 (入学時)	250,000 円	27,500 円	66,000 円
授 業 料	年額 942,000 円	1 単位につき 講 義 科 目 22,000 円 実 験 実 習 科 目 41,000 円	月額 24,000 円
施 設 設 備 費 (年 額)	300,000 円		
実 験 実 習 費 (年 額)	1 年次 30,000 円 2 年次以降 65,000 円		実 費 徴 収

感性デザイン学部学費

学費種別	学 部 学 生	科目等履修生	研 究 生
入 学 金 (入学時)	250,000 円	27,500 円	66,000 円
授 業 料	年額 650,000 円	1 単位につき 講 義 科 目 22,000 円 実 験 実 習 科 目 41,000 円	月額 24,000 円
施 設 設 備 費 (年 額)	170,000 円		
実 験 実 習 費 (年 額)	1 年次 30,000 円 2 年次以降 65,000 円		実 費 徴 収

入学検定料は、工学部、感性デザイン学部ともに次の通りとする。

学 部 学 生 30,000 円

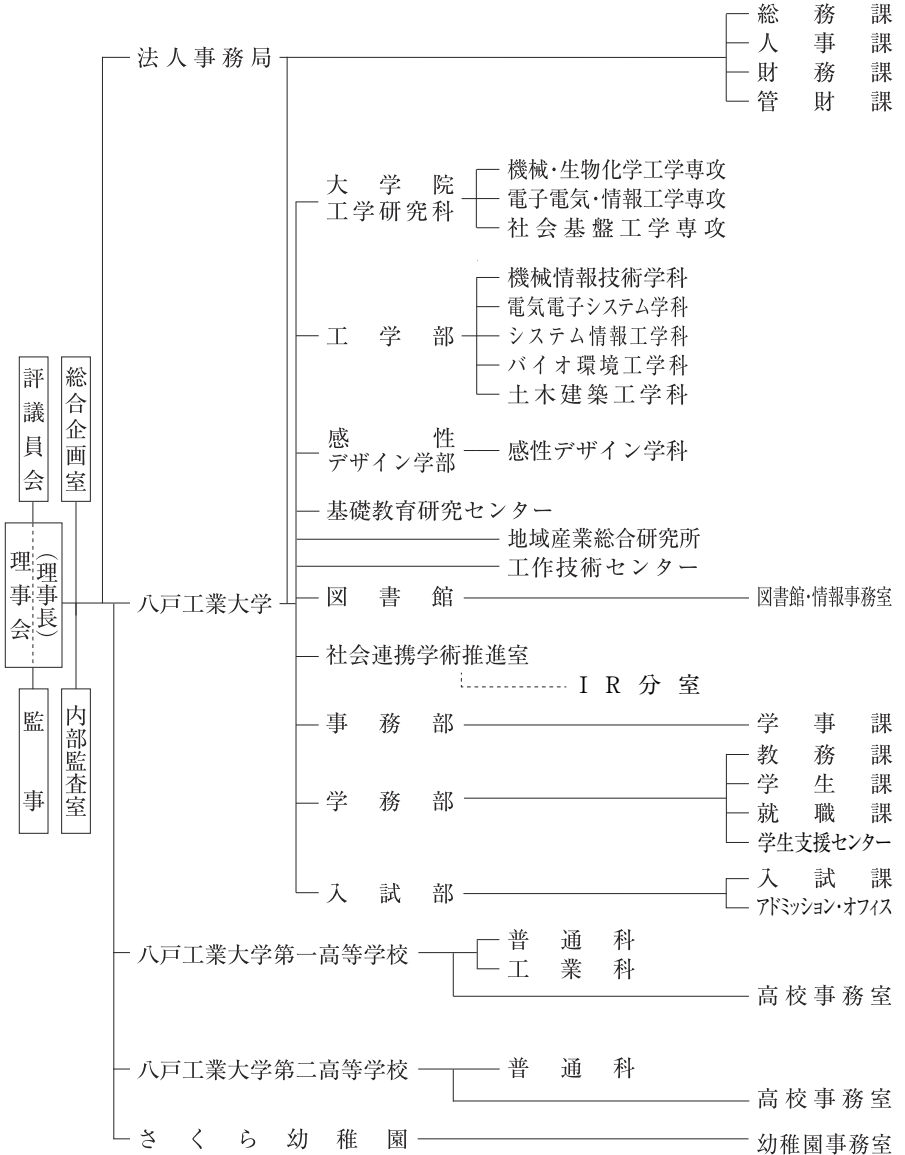
(ただし、「センター入学試験」で志願する者は、15,000 円とする。)

科 目 等 履 修 生 20,000 円

研 究 生 20,000 円

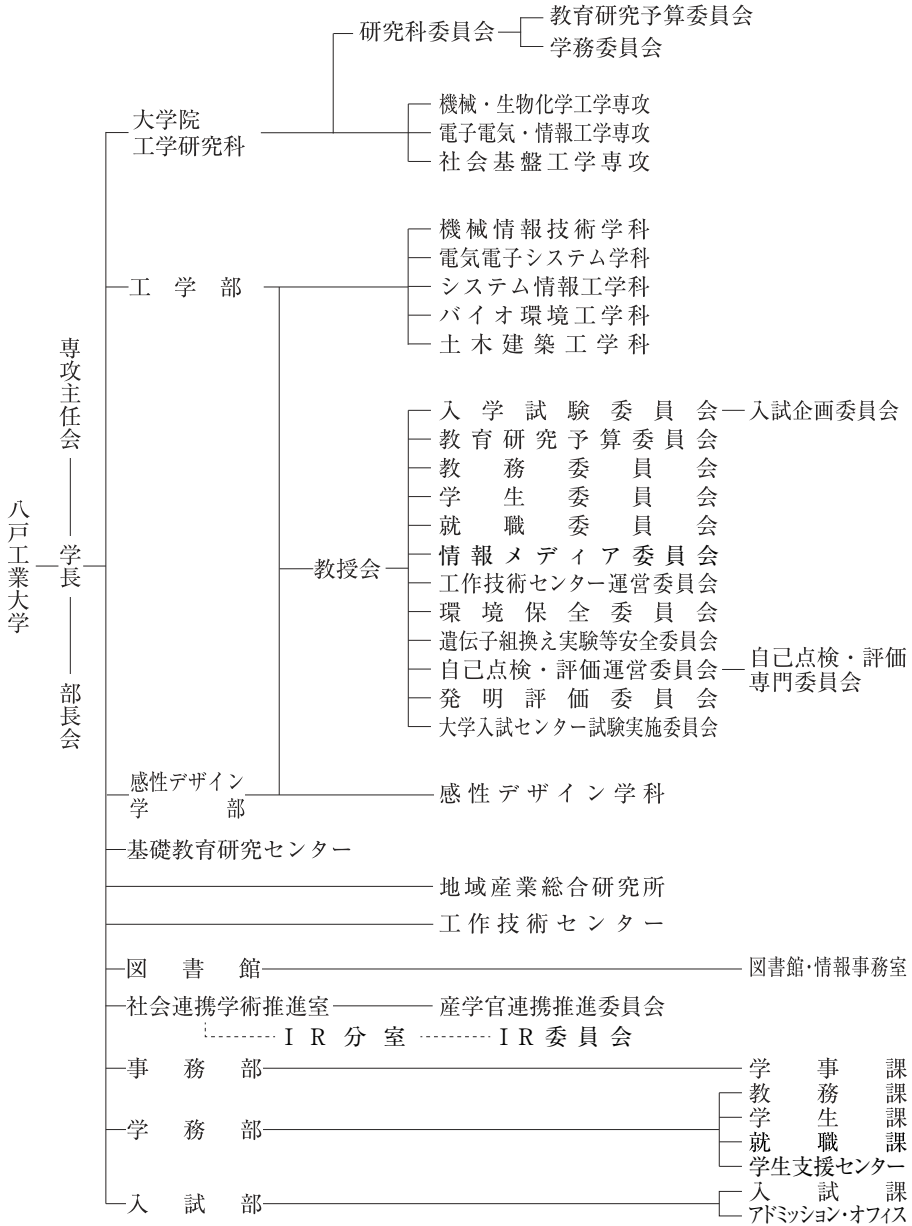
第6 組 織

1 法人組織図



第6 組織

2 大学組織図



第7 名誉学長・名誉教授

1 名 誉 学 長

称号授与	学 位	氏 名	専攻分野
平5. 4. 1	工学博士	河 上 房 義	基礎・土質工学
12. 4. 1	工学博士	村 上 孝 一	電力工学・電気機器工学 計測・制御工学

2 名 誉 教 授

称号授与	学 位	氏 名	専攻分野
平3. 1. 1		内 川 健 吾	英語学
3. 1. 1	工学博士	門 脇 又 男	電力工学
3. 1. 1		淵 澤 定 敏	液体機械学
3. 1. 1		佐 藤 健 吉	土質工学
3. 1. 1	工学博士	佐々木 嘉 彦	建築計画・都市計画
3. 4. 1	工学博士	三 戸 暁	機械材料学
3. 4. 1	工学博士	萱 場 孝 雄	機械要素
4. 4. 1	工学博士	田 原 浩 一	化学工学
4. 4. 1		高 橋 久 太 郎	教育学
5. 4. 1	工学博士	河 上 房 義	基礎・土質工学
6. 4. 1	工学博士	槌 川 武 男	機械工作
6. 4. 1	工学博士	能 登 文 敏	電力工学 電気機器工学
6. 4. 1	工学博士	内 山 和 夫	建築構造・材料
8. 4. 1	工学博士	鈴 木 幸 三	工業力学 材料力学 環境安全工学
8. 4. 1	工学博士	志 満 嘉 夫	電力工学・電気機器工学 流体工学
9. 4. 1	理学博士	伊 達 蕙	物理化学
12. 4. 1	工学博士	村 上 孝 一	電力工学・電気機器工学 計測・制御工学

第7 名誉学長・名誉教授

平12.	4.	1	工学博士	佐藤敦久	土木環境システム 環境保全
12.	4.	1	博士(工学)	佐藤米司	土木環境システム
12.	4.	1	工学博士	杉田慶一郎	電力工学・電気機器工学 プラズマ理工学
16.	4.	1	博士(工学)	加賀拓也	流体工学 船舶工学
17.	4.	1	博士(工学)	杉田修一	土木材料・力学一般
18.	4.	1	農学博士	奥田愼一	応用微生物学・応用生物化学
18.	4.	1		勝村靖夫	体育学
18.	4.	1	博士(工学)	塩井幸武	橋梁工学基礎工学耐震工学
18.	4.	1	工学博士	須田 漉	交通工学・国土計画 社会システム工学
18.	4.	1	工学博士	高橋 燦吉	化学工学一般 反応・分離工学 熱工学
18.	4.	1	経済学修士	福田 直	経済理論 経済統計学
18.	4.	1	理学修士	本間 健祐	電子・電気材料工学 固体物性I
19.	4.	1	工学博士	増田 陽一郎	電子・電気材料工学 薄膜表面界面物性
19.	4.	1	工学博士	豊田 淳 一	電力工学・電気機器工学 システム工学 エネルギー学
20.	4.	1	理学博士	田中 昇	物理化学一般 環境科学
20.	4.	1	工学博士	渡邊 正朋	建築構造・材料
20.	4.	1	工学博士	松坂知行	システム工学 制御工学
20.	4.	1	理学修士	尾崎康弘	教育工学 科学教育
20.	4.	1	文学修士	竹園洋子	日本文学
20.	4.	1		澤田 紘次	建築環境・設備
21.	4.	1	理学博士	坂尻直巳	固体地球惑星物理学 地震工学
21.	4.	1	理学博士	清野大樹	物性II メディア情報
21.	4.	1	博士(工学)	小山信次	材料科学・材料力学 複合材料・物性
22.	4.	1	工学博士	小松崎年雄	制御工学 知能ロボティクス

第7 名誉学長・名誉教授

平22.	4.	1	工学博士	苔米地	宣裕	コンピュータシステム
22.	4.	1	博士(工学)	岡村	隆成	エネルギー学 熱工学
23.	4.	1	工学博士	佐藤	正毅	電力工学・電気機器工学 エネルギー学
23.	4.	1	理学修士	目	修三	物理学 科学教育
24.	4.	1	工学博士	伊藤	幸雄	流体工学 リサイクル工学
24.	4.	1	工学博士	毛呂	眞	建築構造・材料 自然災害科学
25.	4.	1	工学博士	大内	清行	塑性加工学 材料加工・処理
26.	4.	1	工学博士	村中	健	応用物理学 環境動態解析
26.	4.	1	博士(工学)	梅津	光男	住居デザイン 都市計画・建築計画
27.	4.	1	工学博士	阿部	勝憲	原子力学・核融合学
28.	4.	1	工学博士	藤田	成隆	マイクロ・ナノデバイス 計測工学 環境動態解析
29.	4.	1	工学博士	齋藤	正博	機械材料・材料力学 構造・機能材料
29.	4.	1	工学博士	栗原	伸夫	計測制御工学 組込ソフトウェア
29.	4.	1	博士(工学)	橋本	典久	建築環境・設備
29.	4.	1	博士(工学)	小嶋	高良	リハビリテーション科学・福祉工学 社会システム工学・安全システム

第8 役 職 員

学		長	長	谷	川	明
副	学	長	橋	本		都
副	学	長	福	士	憲	一
事	務	長	松	坂	博	行
	学	長	松	坂	博	行
学	務	長	坂	本	禎	智
	学	長	阿	波		稔
	学	長	小	玉	成	人
	教	長	奥		正	克
	学	長	笹	田	公	烈
	就	長	栗	橋	秀	行
入	試	長	野	田	英	彦
	入	長	信	山	克	義
	入	長	宮	腰	直	幸
	入	長	竹	本	成	喜
社会	連携	長	福	士	憲	一
	社会	長	高	橋		晋
	社会	長	得	丸	雅	夫
図	書	長	鈴	木	信	寛
	図書館・情報	長	青	井		達
大学	院	長	長	谷	川	明
工	学	長	福	士	憲	一
感	性	長	長	谷		明
機	械	長	大	黒	正	敏
電	気	長	関		秀	廣
シ	ス	長	武	山		泰
バ	イ	長	小	比	卷	孝
土	木	長	竹	内	貴	弘
感	性	長	高	橋	史	朗
基	礎	長	鈴	木		寛
地	域	長	四	竈	樹	男
工	作	長	大	黒	正	敏

第9 教 職 員

1 教 職 員

職 名	学 位	氏 名	兼任・専攻分野・その他
学 長	工学博士	長谷川 明	(兼)理事・大学院工学研究科長・感性デザイン学部長・教授 構造力学 橋梁工学 計算工学
副 学 長		橋 本 都	(兼)理事・総合企画室室長・教授 教育学
副 学 長	工学博士	福 士 憲 一	(兼)理事・工学部長・社会連携学術推進室長・教授 (IR 分室) 土木環境システム 環境技術

職 名	氏 名	兼任・その他
[事 務 部]		
部 長	松 坂 博 行	
学 事 課		
課 長	松 坂 博 行	
主 事	寺 下 智 子	
主 事	奥 貴 和 子	
主 事 補	佐 京 紗 也 加	
主 事 (嘱託)	柳 谷 史 子	
[学 務 部]		
部 長	坂 本 禎 智	感性デザイン学科教授
次 長	阿 波 稔	土木建築工学科教授 (兼)アドミッション・オフィスオフィサー
次 長	小 玉 成 人	システム情報工学科准教授
教 務 課		
課 長	奥 正 克	
主 事	西 村 恵	
主 事	本 間 貴 士	
主 事 補	佐 々 木 綾 子	
主 事 補	風 張 洋 佑	

第9 教職員

学 生 課

課 長	笹 田 公 烈
主 事	中 嶋 沙香絵
主 事 補	三 上 実 穂
書 記	中 村 優 孝
臨時事務職員	高 嶋 直 子

就 職 課

課 長	栗 橋 秀 行
係 長	立 花 桂 子
主 事	島 田 典 彰
書 記	五十嵐 七 果

[入 試 部]

部 長	野 田 英 彦	機械情報技術学科教授 (兼)アドミッション・オフィスチーフ
次 長	信 山 克 義	電気電子システム学科教授 (兼)アドミッション・オフィスオフィサー
次 長	宮 腰 直 幸	感性デザイン学科准教授 (兼)アドミッション・オフィスオフィサー

入 試 課

課 長	竹 本 成 喜	(兼)アドミッション・オフィスサブチーフ
主 事	桂 山 清 美	(兼)アドミッション・オフィススタッフ
主 事	田 島 尚 幸	(兼)アドミッション・オフィススタッフ
主 事 補	濱 田 信 吾	(兼)アドミッション・オフィススタッフ
書 記	小 林 南	(兼)アドミッション・オフィススタッフ
臨時事務職員	中 村 由紀代	
参 与 (嘱託)	大 庭 文 武	地区アドバイザー
参 与 (嘱託)	佐々木 隆	地区アドバイザー
参 与 (嘱託)	入 駒 智	地区アドバイザー
参 与 (嘱託)	眞 岩 一 夫	地区アドバイザー
参 与 (嘱託)	加 藤 繁	地区アドバイザー

〔社会連携学術推進室〕

社会連携学術推進室 室長 (IR分室)	福 士 憲 一	副学長
次 長	高 橋 晋	バイオ環境工学科准教授
課 長	得 丸 雅 夫	
主 事	泉 世 市 子	
主 事	畑 中 広 明	
主 事	齊 藤 克 治	(IR分室)
書 記	畑 中 ひとみ	

〔図 書 館〕

館 長	鈴 木 寛	機械情報技術学科教授
図書館・情報事務室		
事務長代行	青 井 信 達	
主 事	岩 織 敬 道	
主 事	大久保 るり子	
技 師	谷 津 昌 樹	
主 事 補	笹 山 由 紀 子	
臨時事務職員	松 川 勉	
(兼)技 師	山 日 康 之	システム情報工学科技師

〔大学教育再生加速プログラム〕

特 任 教 授	太 田 口 和 久
プロジェクト事務補助員	茨 島 涼

〔未利用熱エネルギー革新的活用技術研究開発〕

特 任 講 師	小 田 島 聡
---------	---------

〔地域産業総合研究所産学連携プラザ〕

臨時事務補助員	平 舘 佑 美
---------	---------

〔客 員 教 員〕

客 員 教 授	香 山 晃	室蘭工業大学 環境エネルギーシステム材料研究機構 特任教授
客 員 教 授	唐 澤 英 年	東北化学薬品(株) 非常勤顧問 青森県商工労働部 青森県企業誘致スーパーバイザー (一財)エネルギー総合工学研究所 非常勤嘱託
客 員 教 授	堀 田 平	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 特任参事

〔三八地域産学連携コーディネーター〕

小 嶋 高 良	前八戸工業大学 感性デザイン学科長 八戸工業大学 名誉教授
---------	----------------------------------

第9 教職員

工 学 部

職 名	学 位	氏 名	兼任・専攻分野・その他
工学部長	工学博士	福 士 憲 一	副学長
〔機械情報技術学科〕			
教 授	工学博士	大 黒 正 敏	(兼)学科長・工作技術センター所長 熱工学
教 授	博士(工学)	鈴 木 寛	(兼)基礎教育研究センター長・図書館長 機械材料・材料力学
教 授	博士(工学)	佐 藤 学	原子力学 核融合学
教授(嘱託)	博士(工学)	野 田 英 彦	(兼)入試部長 熱工学 移動現象
(兼)教授(嘱託)	工学博士	四 竈 樹 男	地域産業総合研究所教授
准 教 授	博士(工学)	武 藤 一 夫	生産工学・加工学 設計工学・機械機能要素・トライボロジー
准 教 授	博士(工学)	工 藤 祐 嗣	社会システム工学・安全システム 熱工学
准 教 授	博士(工学)	太 田 勝	電力工学・電気機器工学
講 師		浅 川 拓 克	自動車工学
講 師	博士(工学)	藤 澤 隆 介	知覚情報処理・知能ロボティクス
技 師		寺 井 孝 男	
技 師		中 田 光 広	
技師(嘱託)		坂 本 勝 男	
工 師		坂 本 秀 祉	
工師(嘱託)		早 坂 昭 男	

〔電気電子システム学科〕

教 授	工学博士	関 秀 廣	(兼)学科長 電子デバイス・電子機器 電子・電気材料工学
教 授	文学修士	松 浦 勉	教育学 日本史
教 授	博士(工学)	石 山 俊 彦	電子・電気材料工学 電子デバイス・電子機器
教 授	博士(工学)	信 山 克 義	(兼)入試部次長 電子・電気材料工学 環境技術・環境材料
教授(嘱託)	博士(工学)	根 城 安 伯	プラズマ理工学 宇宙工学
(兼)教 授	工学博士	坂 本 禎 智	感性デザイン学科教授
(兼)教 授	博士(工学)	川 本 清	基礎教育研究センター教授
准 教 授	博士(工学)	神 原 利 彦	知覚情報処理・知能ロボティクス 知能機械学・機械システム
准 教 授	博士(工学)	柴 田 幸 司	電子回路・計測工学 通信ネットワーク工学
准 教 授	博士(工学)	佐々木 崇 徳	通信・ネットワーク工学 数理物理 物性基礎 ソフトウエア 衛星リモートセンシング
講 師	博士(工学)	花 田 一 磨	電力工学・電力変換・電気機器 エネルギー学
技 師		大 冨 倫 和	
技 師 補		上 野 浩 志	

第9 教職員

[システム情報工学科]

教 授	博士(工学)	武 山 泰	(兼)学科長 社会システム工学 ソフトウエア
教 授	博士(工学)	嶋 脇 秀 隆	電子デバイス・電子機器
教 授	博士(情報科学)	藤 岡 与 周	計算機システム
教 授	博士(理学)	小久保 温	Web 技術 コンピュータ・グラフィックス
(兼)教 授	博士(工学)	小坂谷 壽 一	感性デザイン学科教授
准 教 授		山 本 忠	中国語・中国文学
准 教 授	博士(工学)	清 水 能 理	知能情報学 制御工学
准 教 授	博士(理学)	山 口 広 行	計算機システム・ネットワーク
准 教 授	博士(工学)	小 玉 成 人	(兼)学務部次長 計算機システム・ネットワーク 制御工学
准 教 授	博士(工学)	伊 藤 智 也	メディア情報学
准 教 授	博士(工学)	三 浦 雅 展	知能情報学 デザイン学 音楽音響学
(兼)准教授	博士(理学)	笹 原 徹	基礎教育研究センター准教授
技 師		本 田 和 也	
技 師		山 日 康 之	

〔バイオ環境工学科〕

教 授	博士(理学)	小比類卷 孝幸	(聘)学科長 無機化学 環境関連化学
教 授	博士(工学)	鶴 田 猛 彦	応用微生物学 生物機能・バイオプロセス
教 授	博士(工学)	小 林 正 樹	反応工学・移動操作・単位操作
教 授	博士(農学)	西 村 順 子	食品微生物学・畜産物利用学
教 授	博士(水産学)	藤 田 敏 明	水産学一般
教授(嘱託)	農学博士	若 生 豊	応用生物化学 食品科学
准教授	博士(工学)	高 橋 晋	(聘)社会連携学術推進室次長 化学工学 物理化学
准教授	博士(理学)	鮎 川 恵 理	生態・環境 生物多様性・分類
(併)准教授	博士(理学)	田 中 義 幸	基礎教育研究センター准教授
(併)講 師	修士(人間科学)	大 室 康 平	基礎教育研究センター講師
(併)助 教	博士(文学)	畠 山 研	基礎教育研究センター助教
技 師		磯 島 康 雄	
技 師		中 谷 勝 美	

第9 教職員

[土木建築工学科]

教 授	博士(工学)	竹 内 貴 弘	(兼)学科長 海洋工学 水工水理学
教 授	工学博士	福 士 憲 一	(兼)理事・副学長・工学部長・ 社会連携学術推進室長 (IR 分室) 土木環境システム 環境技術
教 授	博士(工学)	月 永 洋 一	建築構造・材料
教 授	工学博士	滝 田 貢	建築構造・材料
教 授	博士(工学)	阿 波 稔	(兼)学務部次長 土木材料 維持管理工学
教 授	博士(工学)	金 子 賢 治	地盤工学 応用力学 計算力学
(兼)教 授	博士(理学)	佐 野 公 朗	基礎教育研究センター教授
(兼)教 授	博士(工学)	武 山 泰	システム情報工学科教授
教授(嘱託)	博士(工学)	熊 谷 浩 二	地盤環境工学 職業倫理
教授(嘱託)	工学博士	佐々木 幹 夫	水工水理学 自然災害科学
(兼)教授(嘱託)	工学博士	長谷川 明	学長
准 教 授	修士(工学)	小 藤 一 樹	建築意匠 建築計画
准 教 授	博士(工学)	鈴 木 拓 也	土木環境システム 環境技術・環境システム
准 教 授	博士(工学)	迫 井 裕 樹	土木材料
(兼)准教授	博士(工学)	宮 腰 直 幸	感性デザイン学科准教授
(兼)准教授	博士(工学)	安 部 信 行	感性デザイン学科准教授
講 師	博士(工学)	橋 詰 豊	建築構造 地盤工学 防災工学
講 師	博士(工学)	高 瀬 慎 介	計算工学 構造工学
技 師		関 川 定 美	
技 師		高 島 幸 典	

感性デザイン学部

職名	学位	氏名	兼任・専攻分野・その他
感性デザイン 学部長 〔感性デザイン学科〕	工学博士	長谷川 明	学長
教授	博士(文学)	高橋 史朗	(兼)学科長 英語・英米文学 芸術批評
教授	博士(工学)	小坂谷 壽一	ヒューマン・インターフェイス 音楽情報科学
教授	工学博士	坂本 禎智	(兼)学務部長 ユニバーサルデザイン・電気機器工学 計測・制御工学
教授	Ph.D. (Education)	岩見 一郎	教育学 外国語教育 第二言語習得
教授	文学修士	佐藤 手織	認知心理学 実験系心理学
教授(嘱託)		橋本 都	(兼)理事・副学長・総合企画室長 教育学
教授(嘱託)	工学博士	長谷川 明	(兼)理事・学長・大学院工学研究科長 構造力学 橋梁工学 計算工学
准教授		川守田 礼子	日本文学 日本文化
准教授	博士(工学)	宮腰 直幸	建築計画 認知科学 図学
准教授	博士(文学)	今出 敏彦	公共哲学・倫理学
准教授	博士(工学)	横溝 賢	メディア情報学 知能情報学
准教授	博士(工学)	安部 信行	福祉環境工学・ユニバーサルデザイン
(併)准教授	修士(工学)	小藤 一樹	土木建築工学科准教授
講師	修士(公共政策学)	河内 良彰	政治経済学
講師	博士(美術)	皆川 俊平	美術 絵画 現代美術
講師	修士(芸術)	東方 悠平	現代美術
(併)講師	博士(文学)	岩崎 真梨子	基礎教育研究センター講師
技師		高橋 英樹	
技師		夏坂 光男	

第9 教職員

基礎教育研究センター

職名	学位	氏名	兼任・専攻分野・その他
教授	博士(工学)	鈴木 寛	(兼)基礎教育研究センター長・図書館長 機械情報技術学科教授
教授	博士(理学)	佐野 公朗	解析学基礎
教授	博士(工学)	川本 清	薄膜・表面界面物性
(併)教授	文学修士	松浦 勉	電気電子システム学科教授
(併)教授	Ph.D. (Education)	岩見 一郎	感性デザイン学科教授
(併)教授	博士(工学)	鶴田 猛彦	バイオ環境工学科教授
(併)教授	文学修士	佐藤 手織	感性デザイン学科教授
(併)教授	博士(理学)	小比類巻 孝幸	バイオ環境工学科教授
(併)教授	博士(工学)	佐藤 学	機械情報技術学科教授
(併)教授	博士(文学)	高橋 史朗	感性デザイン学科教授
(併)教授(嘱託)	博士(工学)	根城 安伯	電気電子システム学科教授
(併)教授(嘱託)		橋本 都	副学長
准教授	博士(理学)	田中 義幸	海洋生態学 安定同位体比解析 生態系機能
准教授	博士(理学)	笹原 徹	幾何学
(併)准教授		山本 忠	システム情報工学科准教授
(併)准教授		川守田 礼子	感性デザイン学科准教授
(併)准教授	博士(文学)	今出 敏彦	感性デザイン学科准教授
(併)准教授	博士(工学)	高橋 晋	バイオ環境工学科准教授

(例)准教授	博士(工学)	佐々木 崇 徳	電気電子システム学科准教授
講 師	修士(人間科学)	大 室 康 平	スポーツ科学
講 師	博士(文学)	岩 崎 真梨子	日本語学 日本語史
助 教	博士(文学)	畠 山 研	英米・英語圏文学
技 師		西田中 多美子	
技 師		細 越 寿 則	

第9 教職員

地域産業総合研究所

職名	学位	氏名	兼任・専攻分野・その他
教授(嘱託)	工学博士	四 竈 樹 男	(兼)所長 原子力学・核融合学
(兼)教授	博士(工学)	川 本 清	基礎教育研究センター教授
(兼)教授	博士(工学)	金 子 賢 治	土木建築工学科教授
(兼)准教授	博士(理学)	田 中 義 幸	基礎教育研究センター准教授
(兼)准教授	博士(工学)	横 溝 賢	感性デザイン学科准教授
(兼)准教授	博士(工学)	太 田 勝	機械情報技術学科准教授
(兼)准教授	博士(工学)	小 玉 成 人	システム情報工学科准教授
(兼)講 師	博士(工学)	花 田 一 磨	電気電子システム学科講師

工作技術センター

職名	氏名	その他
所長	大黒正敏	機械情報技術学科教授
工師	三上晃	
工師	黒滝稔	
工師補	日影学	
工師(嘱託)	玉川邦夫	

第9 教職員

大学院工学研究科

職名	学位	氏名	研究部門・その他
工学 研究科長	工学博士	長谷川 明	学長
〔機械・生物化学工学専攻〕			
教授	工学博士	大黒 正 敏	(兼)専攻主任 移動現象工学（機械情報技術学科教授）
教授	博士(工学)	鶴 田 猛 彦	物質変換工学（バイオ環境工学科教授）
教授	博士(工学)	鈴 木 寛	材料加工学（機械情報技術学科教授）
教授	博士(理学)	小比類卷 孝幸	物質変換工学・基盤科目(バイオ環境工学科教授)
教授	博士(工学)	佐 藤 学	計測システム工学(機械情報技術学科教授)
教授	博士(工学)	小 林 正 樹	物質変換工学（バイオ環境工学科教授）
教授	博士(農学)	西 村 順 子	物質変換工学（バイオ環境工学科教授）
教授	博士(水産学)	藤 田 敏 明	物質変換工学（バイオ環境工学科教授）
教授(嘱託)	工学博士	四 竈 樹 男	材料加工学（機械情報技術学科教授）
教授(嘱託)	農学博士	若 生 豊	物質変換工学（バイオ環境工学科教授）
教授(嘱託)	博士(工学)	野 田 英 彦	移動現象工学（機械情報技術学科教授）
准教授	博士(工学)	武 藤 一 夫	材料加工学（機械情報技術学科准教授）
准教授	博士(工学)	高 橋 晋	計測システム工学(バイオ環境工学科准教授)
准教授	博士(工学)	工 藤 祐 嗣	移動現象工学（機械情報技術学科准教授）
准教授	博士(工学)	太 田 勝	計測システム工学(機械情報技術学科准教授)
准教授	博士(理学)	鮎 川 恵 理	物質変換工学（バイオ環境工学科准教授）

〔電子電気・情報工学専攻〕

教 授	工学博士	関 秀 廣	(兼)専攻主任 電子デバイス工学(電気電子システム学科教授)
教 授	博士(工学)	小坂谷 壽 一	通信メディア工学(感性デザイン学科教授)
教 授	工学博士	坂 本 禎 智	エネルギーシステム工学(感性デザイン学科教授)
教 授	博士(工学)	石 山 俊 彦	エネルギーシステム工学(電気電子システム学科教授)
教 授	博士(工学)	嶋 脇 秀 隆	通信メディア工学(システム情報工学科教授)
教 授	博士(工学)	川 本 清	電子デバイス工学(基礎教育研究センター教授)
教 授	博士(情報科学)	藤 岡 与 周	通信メディア工学(システム情報工学科教授)
教 授	博士(工学)	信 山 克 義	電子デバイス工学(電気電子システム学科教授)
教授(嘱託)	博士(工学)	根 城 安 伯	エネルギーシステム工学・基盤科目 (電気電子システム学科教授)
准教授	博士(工学)	清 水 能 理	情報システム工学(システム情報工学科准教授)
准教授	博士(工学)	神 原 利 彦	通信メディア工学(電気電子システム学科准教授)
准教授	博士(理学)	山 口 広 行	通信メディア工学(システム情報工学科准教授)
准教授	博士(理学)	笹 原 徹	基盤科目(基礎教育研究センター准教授)
准教授	博士(工学)	小 玉 成 人	エネルギーシステム工学(システム情報工学科准教授)
准教授	博士(工学)	伊 藤 智 也	情報システム工学(システム情報工学科准教授)
准教授	博士(工学)	三 浦 雅 展	情報システム工学(システム情報工学科准教授)
准教授	博士(工学)	佐々木 崇 徳	電子デバイス工学(電気電子システム学科准教授)

第9 教職員

〔社会基盤工学専攻〕

教授	博士(工学)	竹内 貴弘	(兼)専攻主任 水工・寒地工学 (土木建築工学科教授)
教授	工学博士	福士 憲一	環境工学 (副学長)
教授	博士(工学)	月永 洋一	構造材料工学 (土木建築工学科教授)
教授	博士(理学)	佐野 公朗	基盤科目 (基礎教育研究センター教授)
教授	博士(工学)	武山 泰	環境工学 (システム情報工学科教授)
教授	博士(工学)	阿波 稔	構造材料工学 (土木建築工学科教授)
教授	博士(工学)	金子 賢治	地盤防災工学 (土木建築工学科教授)
教授(嘱託)	博士(工学)	熊谷 浩二	地盤防災工学 (土木建築工学科教授)
教授(嘱託)	工学博士	佐々木 幹夫	水工・寒地工学 (土木建築工学科教授)
教授(嘱託)	工学博士	長谷川 明	構造材料工学 (学長)
准教授	博士(工学)	宮腰 直幸	環境工学 (感性デザイン学科准教授)
准教授	博士(工学)	鈴木 拓也	環境工学 (土木建築工学科准教授)
准教授	博士(工学)	安部 信行	環境工学 (感性デザイン学科准教授)
准教授	博士(工学)	迫井 裕樹	構造材料工学 (土木建築工学科准教授)

非常勤講師

学位	氏名	所属・職名	担当科目
商学士	小又誠一		電気電子工学概論(自動車) 潤滑工学 自動車検査(自動車) 電子回路工学(自動車) 自動車測定検査概論 自動車法規(自動車) 自動車整備実習
工学博士	藤田尚毅	岩手大学 名誉教授	機械設計技法
博士(工学)	鎌田長幸		機械設計技法
工学博士	齋藤正博	八戸工業大学 名誉教授	基礎設計工学 機械工学概論 工作学
工学博士	羽根一博	東北大学 大学院工学研究科 ファインメカニクス専攻 教授	マイクロマシンシステム
学士(工学)	紺谷陽広	㈱エイジェック メーカー総合本部 エンジニア事業部 教育統括部 マネージャー	CAD設計製図 設計・製図
博士(工学)	川島純一	石巻専修大学 理工学部機械工学科 教授	自動車工学
工学修士	山本憲一	石巻専修大学 理工学部機械工学科 教授	自動車工学
工学博士	松野文俊	京都大学 工学研究科 機械理工学専攻 教授	ロボット工学
工学博士	藤原民也		高電界工学
工学士	霜鳥正浩	東北電力㈱ 青森支店 電力ネットワーク本部設備計画グループ 統括リーダー(部長)	電気法規と電気施設管理
工学博士	穴澤義久		電気電子設計製図
博士(工学)	奥村幸彦	㈱NTTドコモ 先進技術研究所 主幹研究員	情報通信法規
工学博士	本田耕一郎		知能集積回路

第9 教職員

社会学学士	佐藤 賢一郎	(株)インフォテック・サーブ 教育事業部 開発グループ 主任	情報工学特別講義
准 学 士	大久保 等	八戸学院大学短期大学部 ライフデザイン学科 教授	経営情報論
修士(経営学)	岩 淵 護	青 森 大 学 総合経営学部 准教授	経営情報論
博士(工学)	大志田 憲	岩手県立大学 宮古短期大学部 経営情報学科 准教授	マルチメディア工学
博士(工学)	佐藤 陽 悦	一関工業高等専門学校 制御情報工学科 准教授	言語とコンパイラ
修士(経済学)	岩 村 満		技術マネジメント 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
博士(工学)	小 嶋 高 良	八戸工業大学 名誉教授	品質管理 福祉人間工学 住環境デザイン演習Ⅱ ワークデザイン ボランティア論 福祉機器デザイン ボランティア実習
理 学 士	佐々木 隆	(一財)青森市文化スポーツ振興公社 理 事 長	理科指導法Ⅰ 理科指導法Ⅱ
教育学士	橋 本 謙 一		地球環境システム科学
博士(工学)	大久保 雅 一	青森県立八戸工業高等学校 教諭	環境熱力学
工 学 士	高 橋 秀 一	青森県立八戸工業高等学校 教諭	エネルギーと物質の循環
工学博士	矢 口 淳 一	八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 教授	環境汚染物質分析学
工 学 士	古 戸 睦 子	ふるとちかこ建築設計室 代表	建築設計Ⅰ
学士(工学)	椛 澤 卓 馬	(有) 檜 屋 木 材 店 1952HINOKIYA 一級建築士事務所	建築設計Ⅰ
工 学 士	松 橋 義 明	(有) 柳 計 画 設 計 技 師	建築設計Ⅱ
修士(工学)	亀 田 進之助	亀田建築都市研究所 代表	建築設計Ⅱ

第9 教職員

修士(工学)	川 口 實	川口實建築研究所 代表所長	建築設計Ⅲ
修士(工学)	福 士 讓	フクシアンドフクシ建築事務所 所 長	すまい設計
工 学 士	石 藤 千 春	三並建設(株)専務取締役	施工技術
修士(工学)	豊 川 悠	(株)石川設計 設計部 設計課 エンジニア	建築設計Ⅲ
修士(工学)	石 橋 学	(株)第一測量設計 取締役	応用測量学及び実習
博士(工学)	武 田 明 純	室 蘭 工 業 大 学 建築社会基盤系学科 助教	建築史
博士(工学)	黒 川 孝 一	(一社)火薬学会 事務局長	火薬学
博士(工学)	小 林 光	東北大学 大学院工学研究科 都市・建築学専攻 准教授	音・光環境 音・光環境演習
工学博士	持 田 灯	東北大学 大学院工学研究科 都市・建築学専攻 教授	音・光環境 音・光環境演習
工学博士	桂 重 樹	尚 綱 学 院 大 学 総合人間科学部 環境構想学科 教授	建築計画
工学博士	吉 野 博	東 北 大 学 高度教養教育・学生支援機構 教養教育院 総長特命教授	熱・空気環境 熱・空気環境演習
工 学 士	石 原 修 治	(株)関・空間設計 企画部 企 画 本 部 長	建築設備
体育学士	和 田 敬 世		リハビリテーション論 レクリエーション余暇論 体育学 スポーツ健康学
文学修士	大 津 正 道		デザインマーケティング論
文学修士	水 沼 和 夫		ドイツ語基礎Ⅰ 主題別ゼミナールⅡ ドイツ語基礎Ⅱ 比較文化論 感性行動科学 地域文化論
経済学士	杉 山 京 子		美術科指導法Ⅰ 工芸科指導法 彫刻

第9 教職員

			工芸学 美術科指導法Ⅱ 美術史 美術科指導法Ⅲ
福祉マネジメント 修士(専門職)	小柳 達也	八戸学院大学 健康医療学部 講師	介護論 老人福祉論
修士 (社会福祉学)	熊谷 大輔	八戸学院大学 健康医療学部 講師	社会福祉論 地域福祉論
文教育学士	大 寫 雅 子	画 家	絵画Ⅰ 絵画Ⅱ
芸術学士	安 斉 将	イラストレーター	イラストレーションⅠ イラストレーションⅡ
工 学 士	村 井 麻里子	(株)デザインヤード デザインマネージャー	インテリアデザイン
農 学 士	富 沢 知 成	富沢特許事務所 弁理士	知的財産論
学士(文学)	星 聡 昭	クリエイティブエージェンシー・ラモン 代 表	広告論
文学修士	高 橋 哲 徳	東 北 工 業 大 学 共通教育センター 教授	映像メディア論
理学修士	田 中 義 一		数学 物理学 基礎物理学Ⅲ
修士(工学)	高 坂 真	フリーランス デザイナー	デザイン史
工 学 士	藤 村 俊 作		工業科指導法
工 学 士	高 橋 稔	からくり工房・工遊館 代表	木材加工
工 学 士	赤 坂 裕一郎		技術科指導法Ⅰ 技術科指導法Ⅱ
農学修士	山 内 重 孝		基礎化学Ⅰ 化学実験B 基礎化学Ⅱ 化学実験A
理 学 士	石 橋 啓 逸		基礎化学Ⅰ 化学実験B 基礎化学Ⅱ 化学実験A

第9 教職員

水産学士	榎本良孝		栽培 生命科学
教育学修士	明石進		微分 積分
教育学修士	高橋康造		技術科指導法Ⅲ 教育工学 教育実践論 英語特別演習
文学士	秋山友則		日本国憲法
工学博士	堀田平	国立研究開発法人海洋研究開発機構 特任参事	主題別ゼミナールⅠ
応用言語学修士	Gregory Anthony	八戸学院大学 ビジネス学部 准教授	現代英語Ⅰ 現代英語Ⅱ
文学修士	前田純子		現代英語Ⅰ 現代英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語特別演習
経営学士	Matthew S.Thomas		現代英語Ⅰ 現代英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
学士(文学)	清水伸夫		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
文学修士	小林繁吉		ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語特別演習 ドイツ語基礎Ⅰ 文学 ドイツ語コミュニケーションⅡ ドイツ語基礎Ⅱ
文学修士	横澤真理子	㈱NHK文化センター 八戸教室 中国語(中級) 講師	中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語コミュニケーションⅡ
	林雁青		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
博士(工学)	遊佐訓孝	東北大学 大学院工学研究科 准教授	応用放射線工学特論

第9 教職員

2 教職員数

() 女子内数

区 分		専 任													非 常 勤 講 師	総 計
		教 員							職 員				合 計			
		学 長	副 学 長	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	小 計	事 務 職 員	技 術 職 員	技 能 職 員		労 務 職 員		
八戸工業大学		1	2 (1)					3 (1)	35 (17)	1	4		40 (17)	43 (18)	74 (6)	117 (24)
工 学 部	機 械 情 報 技 術 学 科			4	3	2		9		3	2		5	14		14
	電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科			5	3	1		9		2			2	11		11
	シ ス テ ム 情 報 工 学 学 科			4	6			10		2			2	12		12
	バ イ オ 環 境 工 学 学 科			6 (1)	2 (1)			8 (2)		2			2	10 (2)		10 (2)
	土 木 建 築 工 学 学 科			7	3	2		12		2			2	14		14
イ 感 性 ン 学 デ 部 サ	感 性 デ ザ イ ン 学 科			5	5 (1)	3		13 (1)		2			2	15 (1)		15 (1)
基礎教育研究センター				2	2	2 (1)	1	7 (1)		2 (1)			2 (1)	9 (2)		9 (2)
地 域 産 業 総 合 研 究 所				1				1					1		1	
総 計		1	2 (1)	34 (1)	24 (2)	10 (1)	1	72 (5)	35 (17)	16 (1)	6		57 (18)	129 (23)	74 (6)	203 (29)

第10 学 生

1 在籍学生数 (平成29年5月1日現在)

(大学院工学研究科)

() 女子内数

専攻名称	年次	博士前期課程			博士後期課程					合計	
		収容定員	1	2	小計	収容定員	1	2	3		小計
機械・生物化学工学		10	2(1)		2(1)	6			1	1	3(1)
電子電気・情報工学		10	4	2	6	6					6
社会基盤工学		10	2		2	6		1	1	2	4
計		30	8(1)	2	10(1)	18		1	2	3	13(1)

(工学部・感性デザイン学部)

() 女子内数

学部・学科		学年	収容定員	1	2	3	4	合計
工 学 部	機械情報技術学科		320	49(2)	52	46	45(2)	192(4)
	電気電子システム学科		240	27	31	31(1)	35	124(1)
	システム情報工学科		280	92(11)	57(3)	57(5)	62(3)	268(22)
	バイオ環境工学科		240	33(7)	35(5)	32(11)	39(13)	139(36)
	土木建築工学科		280	75(5)	73(12)	70(9)	50(3)	268(29)
	小計		1,360	276(25)	248(20)	236(26)	231(21)	991(92)
イ感性 ン学 部デ ザ	感性デザイン学科		240	53(29)	41(18)	33(16)	28(17)	155(80)
	小計		240	53(29)	41(18)	33(16)	28(17)	155(80)
合	計		1,600	329(54)	289(38)	269(42)	259(38)	1,146(172)

第10 学 生

2 出身都道府県別学生数（平成29年5月1日現在）

（大学院工学研究科）

（ ）女子内数

年次 県別	博士前期課程			博士後期課程				合 計
	1	2	計	1	2	3	計	
青 森 県	3	2	5					5
岩 手 県	1		1					1
秋 田 県	2(1)		2(1)					2(1)
福 島 県					1		1	1
滋 賀 県	2		2					2
中 国						2	2	2
総 計	8(1)	2	10(1)		1	2	3	13(1)

（工学部・感性デザイン学部）

（ ）女子内数

学年 県別	1	2	3	4	合計
北海道	6	4	2	2	14
青 森	240 (48)	210 (32)	216 (36)	190 (31)	856 (147)
岩 手	46 (3)	40 (2)	26 (4)	37 (5)	149 (14)
宮 城	7	4	4	7	22
秋 田	19 (3)	21 (4)	12 (1)	15	67 (8)
山 形	2	4	2	5 (2)	13 (2)
福 島	3	3	2		8
茨 城	1		1		2
栃 木	1				1
群 馬			1		1
埼 玉			1 (1)		1 (1)
千 葉		1			1
東 京	2	1			3
新 潟				1	1
長 野		1			1
静 岡				2	2
京 都			1		1
和歌山			1		1
鳥 根	1				1
鹿 児 島	1				1
総 計	329 (54)	289 (38)	269 (42)	259 (38)	1146 (172)

3 学位授与者数

種 類	専攻 年度	授 与 者 数									
		機械システム工学 機械・生物化学工学		電気電子工学 電子電気・情報工学		土木工学		建築工学		計	
		課程 修了	論文 審査	課程 修了	論文 審査	課程 修了	論文 審査	課程 修了	論文 審査	課程 修了	論文 審査
博士 (工学)	平成 11			2		1		—	—	3	0
	12	2		2		1	1	—	—	5	1
	13	2		1		4	1	—	—	7	1
	14	0		1		1		—	—	2	0
	15	4	1			2	1	—	—	6	2
	16	2		1		1		1		5	0
	17	2		1		2	1	2		7	1
	18	1				1	1			2	1
	19	2		2		1	1			5	1
	20			2				2		4	0
	21									0	0
	22	2		1				1		4	0
	23								1	0	1
	24					1				1	0
	25									0	0
	26									0	0
	27	1				1				2	0
28									0	0	
計		18	1	13	0	16	6	6	1	53	8

種 類	専攻 年度	授 与 者 数					計	
		機械システム工学 機械・生物化学工学		電気電子工学 電子電気・情報工学		土木工学 社会基盤工学		建築工学
		課程 修了	論文 審査	課程 修了	論文 審査	課程 修了		論文 審査
修士 (工学)	平成 8	5		6		4	—	15
	9	5		5		6	—	16
	10	9		4		5	—	18
	11	12		5		9	—	26
	12	9		6		10	4	29
	13	16		6		7	8	37
	14	12		7		10	4	33
	15	14		5		7	3	29
	16	16		9		11	11	47
	17	7		12		5	6	30
	18	7		4		9	8	28
	19	11		7		8	10	36
	20	3		3		1	7	14
	21	17		8		1	1	27
	22	5		6		6	3	20
	23	7		12		5	4	28
	24	7		3		1	2	13
25	2		5		3	0	10	
26	7		2		0	3	12	
27	3		0		3	2	8	
28	0		3		0	—	3	
計		174		118		111	76	479

第10 学 生

4 卒 業 者 数

(工学部・感性デザイン学部)

年度	機械工学科・ 機械情報技術学科		電気工学科・ 電子情報システム学科		土木工学科・ 環境建設工学		建 築 工 学 科	エ ネ ル ギ 工 学 科	シ ス テ ム 情 報 工 学 科	生 物 環 境 化 学 工 学 科	土 建 工 学 科	木 築 工 学 科	感 性 デ ザ イ ン 学 科	計
	機 械 工 学 科	機 械 情 報 技 術 学 科	電 気 工 学 科	電 子 情 報 シ ス テ ム 学 科	土 木 工 学 科	環 境 建 設 工 学 科								
昭和50	51		72											123
51	80		73											153
52	93		76											169
53	91		95											186
54	85		101		71	89								346
55	72		80		100	91								343
56	64		89		75	121								349
57	61		90		78	115								344
58	75		113		86	101								375
59	54		103		76	91								324
60	63		112		78	80	32							365
61	64		110		82	64	34							354
62	99		128		60	32	62							381
63	95		112		67	51	66							391
平成元	127		143		79	75	98							522
2	137		124		120	100	111							592
3	142		144		141	110	118							655
4	125		133		139	134	138							669
5	132		140		142	136	147							697
6	104		100		108	96	104							512
7	131		129		148	117	128							653
8	142		145		143	135	132							697
9	136		128		141	139	136							680
10	131		139		138	144	131							683
11	136		128		133	129	130							656
12	118		115		132	120	123							608
13	138		132		138	130	123							661
14	102		76		104	114	70	56						522
15	60		65		60	79	45	89						398
16	87		70		64	69	35	99						424
17	88		74		83	77		91	69					482
18	78		66		68	67		72	56					407
19	78		62		59	67		95	53					414
20	73		66		44	90		77	49				31	430
21	68		50		42	49		54	43				47	353
22	70		43		22	42		60	31				49	317
23	87		56		29	24		56	39				30	321
24	62		28		1			54	40		45		31	261
25	71		31					67	47		43		45	304
26	43		62					69	33		27		41	275
27	36		34					49	46		33		17	215
28	47		37					65	30		38		31	248
計	3,796		3,874		3,051	3,078	1,963	1,053	536		186		322	17,859

但し、機械工学科・機械情報技術学科欄の昭和50年度から昭和59年度までの卒業者には産業機械工学科卒業者を含む

5 平成28年度 就職状況

地 域 別 (本社所在地)

(大学院工学研究科)

専 攻		地 域											計	
		北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	東京	神奈川	群馬	その他		
博士後期課程	機械・生物化学工学													
	電子電気・情報工学													
	社会基盤工学													
	計													
博士前期課程	機械・生物化学工学													
	電子電気・情報工学		2						1					3
	社会基盤工学													
	計		2						1					3

進学者等を除く

(工学部・感性デザイン学部)

学 科	地 域											計
	北海道	東 北	東 北 地 区 内 訳						東 京	関 東	そ の 他	
			青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島				
機械情報技術学科		21	18		1	2			17	3	5	46
電気電子システム学科		14	6	1	6	1			18	2		34
システム情報工学科		20	18		1			1	27	15	2	64
バイオ環境工学科		15	10	4		1			7		2	24
土木建築工学科	2	14	7	2	1	2	2		15		4	35
感性デザイン学科	2	8	5	1	1	1			6		3	19
計	4	92	64	8	10	7	2	1	90	20	16	222

進学者等を除く

第10 学 生

産 業 別

(大学院工学研究科)

専 攻		産業分類											計			
		建 設 業	製 造 業	電 気・ガ ス・水 道業	情 報通 信業	運 輸業・ 郵便業	卸 小 売 業	専 門・技 術 業	飲 食サ ービ ス業	教 育・学 習支 援業	医 療・福 祉	サ ービ スの 業他		国 家公 務	地 方公 務	そ の 他
博士 後期 課程	機械・生物化学工学															
	電子電気・情報工学															
	社会基盤工学															
	計															
博士 前期 課程	機械・生物化学工学															
	電子電気・情報工学		1		2											3
	社会基盤工学															
	計		1		2											3

進学者等を除く

(工学部・感性デザイン学部)

専 攻		産業分類											計		
		建 設 業	製 造 業	電 気・ガ ス・水 道業	情 報通 信業	運 輸業・ 郵便業	卸 小 売 業	専 門・技 術 業	飲 食サ ービ ス業	教 育・学 習支 援業	医 療・福 祉	サ ービ スの 業他		国 家公 務	地 方公 務
機械情報技術学科	5	19				2	10		1		2		3	4	46
電気電子システム学科	18	8		1	1	1	4				1				34
システム情報工学科	4	5		30	1	12	8	1			1	1		1	64
バイオ環境工学科	1	11	1			1	4		1		3	1		1	24
土木建築工学科	25				1		3					1	4	1	35
感性デザイン学科	2	2		4	1	4	1			1				4	19
計	55	45	1	35	4	20	30	1	2	1	7	3	7	11	222

進学者等を除く

6 平成28年度 奨学生数

日本学生支援機構

大学院・学部	学生数 (A)	奨 学 生 数		計 (B)	比率% (B)／(A)
		第 一 種	第 二 種		
工学研究科	8	1	1	2	25.0
学 部	1,126	280	515	795	70.6
計	1,134	281	516	797	70.3

市町村・諸団体

大学院・学部	市 町 村	諸 団 体	計
工学研究科	0	0	0
学 部	11	12	23
計	11	12	23

平成28年度 八戸工業大学特待生・奨学生

	A	B	C	D	E	計
特 待 生	-	29	87	5	-	121
奨 学 生	-	-	24	-	-	24
計	0	29	111	5	0	145

第11 学 位 授 与

工学研究科〔博士（工学）〕

(1) 課程修了によるもの

氏 名	授 与 年 月 日	番 号	学 位 論 文 名	専 攻 名
太田 勝	平12. 3.18	博第1号	平面磁路形パラメトリック変圧器に関する研究	電気電子工 学
信山克義	平12. 3.18	博第2号	高分子絶縁材料の電気的特性に及ぼす電子線照射効果に関する研究	電気電子工 学
王 海軍	平12. 3.18	博第3号	超長大橋のための鉄筋コンクリート充填鋼管構造に関する研究	土木工学
名久井保	平12. 9.15	博第4号	凍結作用を受けた火山灰質粘性土の工学的特性に関する研究	土木工学
内山恒久	平12.12.21	博第5号	ウォータージェットによる壊食発生機構とその応用技術に関する基礎的研究	機械システム工学
高橋 晋	平13. 3.19	博第6号	¹ H-, ¹⁷ O-NMRによる水の液体構造解析に関する研究	機械システム工学
上野毅稔	平13. 3.19	博第7号	液晶表示素子における色彩設計と光学的評価に関する研究	電気電子工 学
小玉 成人	平13. 3.19	博第8号	風力発電機の出力変動抑制に関する研究	電気電子工 学
橋 詰 豊	平13. 9.15	博第9号	地盤の振動性状と地震応答	土木工学
家口 心	平14. 3.20	博第10号	TiAl 金属間化合物の恒温鍛造に関する研究	機械システム工学
工藤雅成	平14. 3.20	博第11号	LiBr-H ₂ O-1,4dioxane 系吸収式熱機関用高溶解性混合媒体の開発と基本性能評価に関する研究	機械システム工学
中野 茂	平14. 3.20	博第12号	電気流体力学ポンプのポンピング力と安定動作条件に関する研究	電気電子工 学
佐々木文夫	平14. 3.20	博第13号	港湾工事用波浪予想法の開発と工事の安全管理	土木工学
王 磊	平14. 3.20	博第14号	浄水処理におけるナノろ過特性に関する研究	土木工学
徳橋一樹	平14. 3.20	博第15号	粉体系高流動コンクリートの配合設計法とその性能に関する実験的研究	土木工学
山村 暁宏	平15. 3.20	博第16号	色素レーザーの高出力化に関する研究	電気電子工 学
川崎 栄久	平15. 3.20	博第17号	地盤の極限状態における平衡に関する研究	土木工学

氏名	授与年月日	番号	学位論文名	専攻名
小嶋高良	平16. 3.20	博第18号	1,4-dioxane 水溶液の諸物性値への水の液体構造の影響と推算法に関する研究	機械システム工学
千葉克己	平16. 3.20	博第19号	食品加工プラント用シャープンプの基本性能とキャビテーション特性に関する研究	機械システム工学
付景順	平16. 3.20	博第20号	自動車エンジンにおける燃焼制御の応答性改善に関する研究	機械システム工学
古舘仁	平16. 3.20	博第21号	液体微粒化の促進および噴霧特性制御に関する基礎的研究	機械システム工学
鈴木拓也	平16. 3.20	博第22号	浄化処理におけるナノろ過の微量化学物質の除去特性	土木工学
山道浩仁	平16. 3.20	博第23号	もみがら灰混合コンクリートの性質に関する基礎的研究	土木工学
馮慶革	平16. 9.15	博第24号	STUDY ON THE FUNDAMENTAL PROPERTIES OF RICE HUSK ASH AND ITS APPLICATION (もみがら灰の基本的性質と有効利用に関する研究)	土木工学
小林和徳	平17. 3.19	博第25号	キャビテーション・ジェットの挙動・壊食特性ならびにキャビテーション効果に関する研究	機械システム工学
中村勇夫	平17. 3.19	博第26号	アルミ薄膜表面の微細加工に関する研究	機械システム工学
岡山透	平17. 3.19	博第27号	近接場光検出システムの構築と微細構造評価技術に関する研究	電気電子工学
矢澤一樹	平17. 3.19	博第28号	表層地盤特性と地震被害記録に基づく木造住宅の地震被害に関する基礎的研究	建築工学
中村隼人	平17.12.15	博第29号	掘立柱建物跡から復元した中世港湾都市十三湊の都市構造に関する研究	建築工学
佐藤久佳	平18. 3.18	博第30号	八戸地域における降水の安定同位体比の動態に関する研究	機械システム工学
吉田朋央	平18. 3.18	博第31号	ホタテ貝殻の機能性に関する研究	機械システム工学
佐藤裕哉	平18. 3.18	博第32号	液晶デバイスを用いた光学処理技術に関する研究	電気電子工学専攻
工藤浩	平18. 3.18	博第33号	斜張併用吊橋の構造特性および鉄筋コンクリート充填鋼管構造の適用に関する研究	土木工学
深田久	平18. 3.18	博第34号	軟弱地盤上の構造物に対する地盤と基礎の強化に関する研究	土木工学
安部信行	平18. 3.18	博第35号	視覚障害者の歩行環境整備手法に関する研究	建築工学
島長義	平19. 3.20	博第36号	環境水中トリチウム濃度測定のための電解濃縮前処理に関する研究	機械システム工学
佐藤正視	平19. 3.20	博第37号	岩木川河口地形変動特性に関する研究	土木工学

第11 学位授与

氏 名	授 与 年 月 日	番 号	学 位 論 文 名	専 攻 名
大倉 広 宙	平20. 3.20	博第38号	無電解めっきで創製した銅系構造体（プレート型）触媒に関する研究	機械システム工学
鎌田 佳 之	平20. 3.20	博第39号	マイクロ構造化触媒反応器による水素製造に関する研究	機械システム工学
趙 文 輝	平20. 3.20	博第40号	リモートセンシングによる産廃不法投棄現場の環境解析に関する研究	電気電子工学
李 錦	平20. 3.20	博第41号	多層光学薄膜の開発と太陽電池への応用に関する研究	電気電子工学
鈴木 拓 也	平20. 3.20	博第42号	複合構造を活用した新橋梁に関する研究	土木工学
佐々木崇徳	平21. 3.19	博第43号	衛星リモートセンシングによる未発見産業廃棄物不法投棄現場の早期発見法の開発に関する研究	電気電子工学
山村 有 希	平21. 3.19	博第44号	ホール推進機のシース構造と性能評価に関する研究	電気電子工学
権 代 由 範	平21. 3.19	博第45号	塩化物環境下におけるコンクリートのスケーリング抵抗性とその評価手法に関する実験的研究	建築工学
村 山 明	平21. 3.19	博第46号	木造建物の耐震性能の力学的評価に関する研究	建築工学
小笠原 慎	平23. 3.19	博第47号	超高速回転体の微粒化特性に関する研究	機械システム工学
張 揚	平23. 3.19	博第48号	自動車エンジンのロバスト制御に関する研究	機械システム工学
吉田 雅 昭	平23. 3.19	博第49号	Mathieu 方程式に基づく平面磁路形パラメトリック変圧器の動作特性と発振安定性に関する研究	電気電子工学
鳥山 香 織	平23. 3.19	博第50号	積雪地域における公営住宅の共用空間に関する研究 －生活拠点としての集会施設を中心として－	建築工学
阿 里 甫 江	平25. 3.19	博第51号	鉄筋コンクリート充填鋼管構造の力学的特性に関する解析的および実験的研究	土木工学
畑野 智 信	平28. 3.18	博第52号	渋柿ゲルおよび微生物による水溶液からのクロム除去と回収システムに関する研究	機 械 ・ 生物化学 工学専攻
虹川 高 宏	平28. 3.18	博第53号	橋梁の津波対策に関する研究	社会基盤 工学専攻

(2) 論文提出によるもの

氏名	授与年月日	番号	学位論文名
神藤 健一	平12.12.21	第 1 号	山岳工事における地盤評価方法とその施工への適用
新井 齊	平14. 3.20	第 2 号	廃棄物最終処分場におけるジオメンブレン遮水構造の品質管理手法に関する研究
萱場 智雄	平15. 6.30	第 3 号	ダイヤモンド薄膜形成過程における核発生の分子動力学解析
田中正美	平15.12.22	第 4 号	住宅地環境関連制度による新規開発戸建住宅地の接道部緑化効果に関する研究
北沢 淳史	平17. 6.23	第 5 号	長大山岳トンネルの施工技術の高度化に関する研究
木内 勝司	平19. 3.20	第 6 号	自然再生に配慮した河道形成技術の研究
服部 修一	平20. 3.20	第 7 号	鉱山地域を通過するトンネルにおける鉱化ずりの特性と分別判定方法に関する研究
庭瀬 一仁	平23.12.16	第 8 号	低レベル放射性廃棄物処分施設におけるセメント系材料の設計と施工に関する基礎的研究

第12 委員会委員等一覧

1 学内委員会 (*印は併任教員)

委員の所属は、各委員会規定に従った。

委員会名	委員長 副委員長	委 員									
		法人事務局・副学長	機械情報技術学科	電気電子システム学科	システム情報工学	バイオ環境工学	土木建築工学	感性デザイン学	基礎教育研究センター	法人事務局・社会連携学術推進室・地域産業総合研究所・事務部・学務部・入試部・図書館・工作技術センター	
入学試験委員会	長谷川 明 野田 英彦	橋本 都 福士 憲一	大黒 正敏	関 秀廣	武山 泰	小比類卷孝幸	竹内 貴弘	高橋 史朗	鈴木 寛	松坂 博行・坂本 禎智	竹本 成喜
入試企画委員会	野田 英彦		浅川 拓克	柴田 幸司	三浦 雅展	小林 正樹	小藤 一樹	東方 悠平	川本 清	宮腰 直幸・信山 克義	竹本 成喜
教育研究予算委員会	長谷川 明	橋本 都 福士 憲一	大黒 正敏 太田 勝	関 秀廣 根城 安伯	武山 泰 山口 広行	小比類卷孝幸 西村 順子	竹内 貴弘 滝田 貢	高橋 史朗 安部 信行	鈴木 寛 佐野 公朗	福士 憲一・四竈 樹男・*太田 勝 松坂 博行・坂本 禎智・野田 英彦 鈴木 寛	得丸 雅夫 蛭名 昭人
教務委員会	坂本 禎智		佐藤 学	佐々木崇徳	清水 能理	藤田 敏明	鈴木 拓也	川守田 礼子	大室 康平	阿波 稔	奥 正克
学生委員会	坂本 禎智		武藤 一夫	松浦 勉	山本 忠	鶴田 猛彦	迫井 裕樹	横溝 賢	岩崎 真梨子	小玉 成人	笹田 公烈
就職委員会	坂本 禎智		太田 勝	信山 克義	小坂谷 壽一	鮎川 恵理	金子 賢治	佐藤 手織	笹原 徹	小玉 成人	栗橋 秀行
情報メディア委員会	鈴木 寛		藤澤 隆介	神原 利彦	小久保 温	田中 義幸	高瀬 慎介	今出 敏彦	畠山 研		青井 信達
工作技術センター運営委員会	大黒 正敏		信山 克義	嶋脇 秀隆	高橋 晋	安部 信行					三上 晃
環境保全委員会	小比類卷孝幸	大野 和弘	四竈 樹男	松浦 勉	三浦 雅展	若生 豊	熊谷 浩二	岩見 一郎		四竈 樹男・松坂 博行・坂本 禎智	
遺伝子組換え実験等安全委員会	福士 憲一	バイオ環境工学科：小比類卷孝幸、藤田 敏明、鮎川 恵理				感性デザイン工学科：佐藤 手織		学務部長：坂本 禎智	事務部長：松坂 博行		
自己点検・評価運営委員会	長谷川 明	白石 司 橋本 都 福士 憲一	大黒 正敏	関 秀廣	武山 泰	小比類卷孝幸	竹内 貴弘	高橋 史朗	鈴木 寛	福士 憲一・四竈 樹男・松坂 博行 坂本 禎智・野田 英彦	得丸 雅夫
自己点検・評価専門委員会	福士 憲一	大野 和弘	佐藤 学	石山 俊彦	藤岡 与周	小林 正樹	金子 賢治	安部 信行	田中 義幸	松坂 博行	得丸 雅夫
発明評価委員会	長谷川 明	白石 司 橋本 都 福士 憲一	大黒 正敏	関 秀廣	武山 泰	小比類卷孝幸	竹内 貴弘	高橋 史朗	鈴木 寛	福士 憲一・坂本 禎智・四竈 樹男 松坂 博行	得丸 雅夫
大学入試センター試験実施委員会	長谷川 明 野田 英彦	橋本 都 福士 憲一	大黒 正敏	関 秀廣	武山 泰	小比類卷孝幸	竹内 貴弘	高橋 史朗	鈴木 寛	松坂 博行・坂本 禎智・鈴木 寛	竹本 成喜
大学院学務委員会	坂本 禎智	機械・生物化学工学専攻：鶴田 猛彦、電子電気・情報工学専攻：嶋脇 秀隆、社会基盤工学専攻：月永 洋一								阿波 稔・小玉 成人	奥 正克
大学院教育研究予算委員会	長谷川 明	副学長：橋本 都、副学長：福士 憲一、学務部長：坂本 禎智、機械・生物化学工学専攻主任：大黒 正敏 電子電気・情報工学専攻主任：関 秀廣、社会基盤工学専攻主任：竹内 貴弘、事務部長：松坂 博行 機械・生物化学工学専攻：鶴田 猛彦、電子電気・情報工学専攻：嶋脇 秀隆、社会基盤工学専攻：月永 洋一、教務課長：奥 正克									蛭名 昭人
産学官連携推進委員会	福士 憲一	四竈 樹男、鈴木 寛、石山 俊彦、藤岡 与周、小林 正樹、安部 信行、畑中 広明、畑中 ひとみ									
I R 委員会	福士 憲一	工藤 祐嗣、齊藤 克治、田島 尚幸、佐京紗也加、風張 洋佑、茨島 涼									

2 担 任 (*印は副担任)

	機械情報技術学科	電気電子システム学科	システム情報工学科	バイオ環境工学	土木建築工学科	感性デザイン学科
第1学年	佐藤 学 *鈴木 寛	佐々木崇徳 *関 秀廣	伊藤 智也 *小久保 温	西村 順子 *田中 義幸	橋詰 豊 *佐々木幹夫	安部 信行 *皆川 俊平
第2学年	浅川 拓克 *四竈 樹男	柴田 幸司 *松浦 勉	嶋脇 秀隆 *笹原 徹	藤田 敏明 *畠山 研	金子 賢治 *熊谷 浩二	佐藤 手織 *河内 良彰
第3学年	武藤 一夫 *野田 英彦	神原 利彦 *川本 清	山口 広行 *山本 忠	大室 康平 *高橋 晋	滝田 貢 *阿波 稔	川守田 礼子 *東方 悠平
第4学年	太田 勝 *大黒 正敏	信山 克義 *石山 俊彦	藤岡 与周 *小坂谷 壽一	鮎川 恵理 *小比類卷孝幸	迫井 裕樹 *月永 洋一	宮腰 直幸 *横溝 賢

3 学友会担当

機械情報技術学科	工藤 祐嗣
電気電子システム学科	松浦 勉
システム情報工学科	山本 忠
バイオ環境工学科	鶴田 猛彦
土木建築工学科	迫井 裕樹
感性デザイン学科	皆川 俊平
管 財 課	栗橋 知士子
学 務 部	笹田 公烈

4 学外委員会等 平成28年度

職名	氏名	委員等名	依頼先
学長	長谷川 明	教育学術充実協議会 委員	日本私立大学協会 教育学術充実研究委員会
		東北地方整備局道路ドクター	国土交通省 東北地方整備局
		青森県自動車関連産業振興協議会 顧問	青森県
		青森県原子力政策懇話会委員	青森県
		青森県県南・北地域活性化協議会 委員長	青森県商工労働部
		青森県橋梁アセットマネジメント検討委員会委員長	青森県国土整備部 道路課
		青森県留学生交流推進協議会構成員・副会長	青森県留学生交流推進協議会
		青森県三八地域活性化協議会地域づくり推進会議委員	青森県三八地域県民局
		青森県 ITER 計画推進会議 理事	青森県 ITER 計画推進会議
		第80回国民体育大会青森県準備委員会委員	第80回国民体育大会 青森県準備委員会
		八戸市体育施設整備検討委員会 委員長	八戸市
		八戸市企業誘致促進協議会委員	八戸市企業誘致促進協議会
		『マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ(シニア)』 顧問	八戸市水産科学館 マリエント
		八戸商工会議所 参与	八戸商工会議所
		「アートのみち・はちのへ」を推進する会 相談役・理事	「アートのみち・はちのへ」を推進する会
		八戸国際交流協会 理事	八戸国際交流協会
		医学研究倫理審査委員会および治験審査委員会	(独)労働者健康福祉機構 青森労災病院
		治験審査委員会	(独)労働者健康福祉機構 青森労災病院
		(地独)青森県産業技術センター八戸地域研究所 顧問	(地独)青森県産業技術センター八戸地域研究所協議会
		(公財)日本高等教育評価機構 評議員	(公財)日本高等教育評価機構
(公財)21あおり産業総合支援センター 評議員	(公財)21あおり産業総合支援センター		
(公財)みちのく・ふるさと貢献基金 理事	(公財)みちのく・ふるさと貢献基金		
(公財)八戸市総合健診センター評議員選定委員会委員	(公財)八戸市総合健診センター		

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
		(公財)八戸地域高度技術振興センター 評議員	(公財)八戸地域高度 技術振興センター
		(公財)青森県建設技術センター 技術顧問	(公財)青森県建設 技術センター
		(一財)青森県工業技術教育振興会 理事長	(一財)青森県工業 技術教育振興会
副学長	橋本 都	独立行政法人教員研修センター監事(非常勤)	文 部 科 学 省
		中央教育審議会専門委員(初等中等教育分科会)	文 部 科 学 省 初 等 中 等 教 育 局
		(一財)棟方志功記念館理事	(一財)棟方志功記念館
		(一社)原子力安全推進協議会評議員	(一社)原子力安全推進協会
		県立学校における消費者教育実践モデル 運営検討委員会委員長	特定非営利活動法人 青森県消費者協会
		青森テレビ放送番組審議会委員	(株)青森テレビ
副学長	福士 憲一	青森県地震・津波被害想定検討委員会委員	青 森 県
		八戸市櫛引地区産業廃棄物に係る生活環境 への影響調査等アドバイザー	青 森 県
		八戸圏域水道企業団経営審議会委員	八 戸 圏 域 水 道 企 業 団
		青森市横内川水道水源保護審議会委員	青 森 市
		青森市浪岡不燃物埋立処分場の適正廃止 に向けた意見聴取会議委員	青 森 市
		黒石市公共事業評価委員会(西十和田特 定環境保全公共下水道事業)	黒 石 市
		野辺地町長公共下水道再評価等審議委員 会委員	野 辺 地 町
		浄水技術支援委員会委員	(公財)水道技術研究 セ ン タ
		青森県建設技術センター技術顧問	(公財)青森県建設技術 セ ン タ
		自然由来重金属等堀削土対策検討委員会 に関する委員	(一社)北海道環境保全 技 術 協 会
教 授	野田 英彦	青森県地球温暖化対策推進協議会委員	青 森 県
		青森県エネルギー産業振興戦略推進会議 委員	青 森 県
		あおり農商工連携推進プラン検討委員 会委員	青 森 県
		青森県職業能力開発審議会委員	青 森 県
		青森県地方独立行政法人評価委員会専門 委員	青 森 県
		平成28年度青森県戦略的ものづくり先進 技術事業化支援助成事業審査委員会委員	(公財)21あおり産業 総 合 支 援 セ ン タ

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
		科学研究費専門委員	(独) 日本学術振興会
教授	佐藤 学	青森県原子力人材育成・研究開発活動計画検討委員会委員	青 森 県
		青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議委員	青 森 市
		学校評議員	青森県立八戸工業高等学校
		第18回核融合炉材料国際会議現地実行委員会委員	第18回核融合炉国際会議組織委員会
		(一社)日本溶接協会東北地区溶接技術検定委員会委員・評議員	(一社)日本溶接協会
		PA モニタリング委員会委員	(公社)日本分析センター むつ分析科学研究所
		東北放射線科学センター 理事	東 北 放 射 線 科 学 セ ン タ ー
教授	齋藤 正博	八戸市卓越技能者選考会委員	八 戸 市
准教授	工藤 祐嗣	八戸市廃棄物処理施設に係る専門家	八 戸 市
教授	関 秀 廣	平成28年度学校評議員およびいじめ防止委員	青森県立十和田工業高等学校
		八戸市新商品特定随意契約制度事業者認定審査会委員	八 戸 市
		八戸市復興計画推進市民委員会委員	八 戸 市
教授	石山 俊彦	第18回核融合炉材料国際会議現地実行委員会委員	第18回核融合炉国際会議組織委員会
		平成28年度あおり元気企業チャレンジ助成事業審査委員会委員	(公財)21あおり産業総合支援センター
		「家庭等におけるエネルギー高度利用化技術動向調査専門委員会」委員	(一社)電 気 学 会
		(一社)電気情報通信学会東北支部委員	(一社)電気情報通信学会
教授	信山 克義	青森県原子力施設環境放射線監視評価会議委員	青 森 県
		青森県環境影響評価審査会委員	青 森 県
准教授	佐々木崇徳	高度技術利用研究会委員	(公財)八戸地域高度技術振興センター
講 師	花田 一磨	青森・岩手県境不法投棄事案に係る風評被害認定委員会委員	青森県環境生活部
		あおり型スマートコミュニティモデルプラン検討ワーキンググループ委員	青森県エネルギー開発振興課
教授	武山 泰	東北地方整備局道路ドクター	国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局
		青森ブロック総合評価委員会委員	国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
		青森県産業廃棄物処理施設の設置許可に係る生活環境保全等に関する専門家	青森県
		青森県地球温暖化対策推進協議会委員	青森県
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青森県
		青森県土地収用事業認定審議会委員	青森県
		八戸市都市計画マスタープラン等策定委員会委員	八戸市
		八戸市行政改革委員会委員	八戸市
		八戸圏域公共交通計画推進会議アドバイザー	八戸市
		八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員	八戸市
		八戸市都市計画審議会委員	八戸市
		八戸市廃棄物処理施設に係る専門家	八戸市
		階上地域公共交通会議委員	階上町
		田子町総合公共交通協議会委員	田子町
		下北地域公共交通総合連携協議会委員	下北地域公共交通総合連携協議会
		青森地域技術懇談会委員	東日本高速道路(株)
准教授	小玉 成人	青森県環境影響評価審査会委員	青森県
		平成28年度多様な学習を支援する高等学校の推進事業運営指導委員会委員	青森県教育委員会
		野辺地町再生可能エネルギー推進協議会委員	野辺地町
教授	小比類巻孝幸	公害防止に関する技術アドバイザー	八戸市
教授	若生 豊	組換え DNA 委員会委員	八戸工業高等専門学校
		平成28年度学校評議員	青森県立八戸水産高等学校
教授	西村 順子	八戸市環境審議会委員	八戸市
准教授	高橋 晋	青森県環境影響評価審査会委員	青森県
准教授	鮎川 恵理	青森県環境影響評価審査会委員	青森県
		青森県環境審議会委員	青森県
		青森県公共事業再評価等審査会委員会および青森県工業事業評価システム検討委員会委員	青森県
		青森県土地利用審査会委員	青森県
教授	竹内 貴弘	河川水辺の国勢調査アドバイザー	国土交通省 東北地方整備局
		東北地方整備局事業評価監視委員会委員	国土交通省 東北地方整備局
		馬淵川水系河川整備学識懇談会委員	国土交通省 東北地方整備局・青森県
		青森県農林水産部建設工事総合評価競争入札員（水産土木工事）	青森県

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青森県
		八戸市国民保護協議会委員	八戸市
		八戸市防災会議委員	八戸市防災会議
		八戸圏域水道企業団入札監視委員会委員	八戸圏域水道企業団
		特別調査役（非常勤）	(一社)寒地港湾技術研究センター
教授	橋本 典久	青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青森県
		八戸市建築紛争調停委員会委員	八戸市
		公害防止に関する技術アドバイザー	八戸市
教授	月永 洋一	青森県リサイクル製品認定審査会委員	青森県
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青森県
		八戸市建築審査会会長	八戸市
		八戸市建築審議会委員	八戸市
		公害防止に関する技術アドバイザー	八戸市
		大間町役場庁舎建設事業プロポーザル審査会委員	大間町
		青森県生コンクリート工業組合技術研修センター運営委員会委員	青森県生コンクリート工業組合
		青森県生コンクリート工業組合技術研修センター運営委員会委員	青森県生コンクリート工業組合
		コンクリート工学年次大会2017(仙台)実行委員会委員および特別講演部会部会長	(公社)日本コンクリート工学会
(一社)青森県建築士会 顧問	(一社)青森県建築士会		
教授	滝田 貢	青森県入札監視委員会委員	青森県
		学校評議員	青森県立八戸高等学校
		青森県建築物耐震診断・改修判定委員会委員	(一社)青森県建築士事務所協会
		構造計算適合性判定専門家委員	(株)建築住宅センター
教授	阿波 稔	東北地方整備局道路ドクター	国土交通省 東北地方整備局
		青森県原子力施設環境放射線監視評価会議委員	青森県
		青森県原子力政策懇話会委員	青森県
		青森県農林水産部建設工事総合評価競争入札員（水産土木工事）	青森県
		青森県公共事業再評価等審議委員会および青森県公共事業評価システム検討委員会の委員	青森県
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青森県

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
		階上町公共施設等総合管理計画審議会委員	階上町
		青森県生コンクリート品質管理監査会議委員	青森県生コンクリート工業組合
		コンクリート委員会/示方書改訂小委員会/維持管理編集部会委員	(公社)土木学会
		青森地域技術懇談会委員	東日本高速道路(株)
教授	金子 賢治	東北地方整備局道路ドクター	国土交通省局 東北地方整備局
		青森県国土利用計画審議会委員	青森県
		青森県地震・津波被害想定検討委員会委員	青森県
		青森県国土利用計画審議会委員	青森県
		八戸市防災会議委員	八戸市
		八戸市国民保護協議会委員	八戸市
		非常勤研究員	(一財)建設工学研究振興会
		地盤工学会誌編集委員会委員	(公社)地盤工学会
平成28年東北支社 地すべり等のり面対策技術検討会委員	(株)ネクスコ・エンジニアリング東北		
教授	熊谷 浩二	東北地方整備局道路ドクター	国土交通省局 東北地方整備局
		青森県環境審議会 会長	青森県
		青森県循環型社会形成推進委員会委員	青森県
		青森県廃棄物処理施設の設置許可に係る生活環境保全等に関する専門家	青森県
		八戸市新産業団地開発用地選定委員会委員	八戸市
		八戸市廃棄物処理施設に係る専門家	八戸市
		ごみ処理基本計画策定懇談会委員	十和田地域 広域事務組合
		福島第一原発発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技术と人材育成に関する検討委員会委員	(公社)地盤工学会
		東北地域地盤災害研究委員会委員	(公社)地盤工学会 東北支部
		(公社)地盤工学会東北支部評議員	(公社)地盤工学会 東北支部
		(公社)土木学会東北支部商議員	(公社)土木学会 東北支部
		非常勤研究員	(一財)建設工学 研究振興会
		青森県建設技術センター技術顧問	(公財)青森県 建設技術センター
		平成28年度大学機関別認証評価評価員	(公財)日本高等教育 評価機構

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
		青森地域技術懇談会委員	東日本高速道路(株)
教授	佐々木幹夫	河川水辺の国勢調査アドバイザー	国土交通省東北地方整備局
		東北地方整備局道路ドクター	国土交通省東北地方整備局
		青森ブロック総合評価委員会	国土交通省東北地方整備局
		高瀬川河川整備委員会委員	国土交通省東北地方整備局
		東北地方整備局工事成績評定審査委員会委員	国土交通省東北地方整備局
		小川原湖水環境技術検討委員会の委員	国土交通省東北地方整備局
		岩木川河川整備委員会委員	国土交通省東北地方整備局・青森県
		馬淵川水系河川整備学識懇談会委員	国土交通省東北地方整備局・青森県
		青森県海岸漂流物対策推進協議会委員	青森県
		青森県農林水産部建設工事総合評価競争入札員(水産土木工事)	青森県
		青森県地震・津波被害想定検討委員会委員	青森県
		岩手県立政策評価委員会委員	岩手県
		日本雪工学会 理事	日本雪工学会
		青森県建設技術センター技術顧問	(公財)青森県建設技術センター
河川・海岸環境機能等検討委員会委員	(公財)リバーフロント研究所		
八戸港の海辺づくりを考える検討会委員	(一財)みなと総合研究財団		
准教授	小藤 一樹	青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青森県
		青森県入札監視委員会委員	青森県入札監視委員会事務局
		八戸市開発審査委員	八戸市
准教授	鈴木 拓也	青森県環境審議会委員	青森県
		県境不法投棄現場原状回復対策推進協議会委員	青森県
准教授	迫井 裕樹	八戸市廃棄物処理施設に係る専門家	八戸市
教授	坂本 禎智	八戸市美術館運営協議会委員	八戸市
		八戸市中小企業新事業活動審議会委員	八戸市
		八戸市新美術館運営検討委員会委員	八戸市
		八戸工業高等専門学校評議員	八戸工業高等専門学校
		学校評価委員会委員	八戸工業大学第一高等学校
教授	佐藤 手織	八戸市いじめ問題専門委員	八戸市

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
		(一社)全国私立大学教職課程協会2016年度研究委員会教職課程カリキュラム部会委員	(一社)全国私立大学教職課程協会
教授	田村 充治	(公財)吉原育英会評議員	(公財)吉原育英会
准教授	川守田礼子	八戸ポータルミュージアムアドバイザーボード委員	八 戸 市
准教授	宮腰 直幸	青森県景観形成審議会委員	青 森 県
		青森県立三沢航空科学館リニューアル検討委員会委員	青 森 県
		八戸景観審議会委員	八 戸 市
准教授	安部 信行	八戸市住居表示審議会委員	八 戸 市
		八戸市旅館等建築審議会委員	八 戸 市
教授	川本 清	青少年のための科学の祭典2016 八戸大会実行委員	八戸市教育委員会
准教授	田中 義幸	青少年のための科学の祭典2016 八戸大会実行委員	八戸市教育委員会
		環境省重要生態系監視地域モニタリング推進事業(アマモ場・藻場調査)の調査および会議の有識者	特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合
講師	岩崎真梨子	放送番組審議会委員	(株)八戸テレビ放送
教授	四竈 樹男	核融合エネルギーフォーラム委員	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構核融合エネルギー研究開発部門
		京都大学エネルギー理工学研究所 共同利用運営委員会委員	京都大学エネルギー研究所
		日本原子力研究開発機構高速炉研究開発部門委員	日本原子力研究開発機構高速炉研究開発部門
		日本学術会議委員	日本学術会議
		高度技術利用研究会委員	(公財)八戸地域高度技術振興センター
		技術開発審査委員会委員	(公財)八戸地域高度技術振興センター
特任教授	太田口和久	事業企画委員会委員	(公社)日本工学教育協会
参事	松坂 博行	(公社)八戸観光コンベンション協会理事	(公社)八戸観光コンベンション協会
主事	栗橋 秀行	青森労働局新卒者等就職・採用応援本部本部員	青 森 労 働 局 職 業 安 定 部
工師	玉川 邦夫	技能検定委員適任者	青森県職業能力開発協会

第13 研 究 業 績

1 科学研究費交付一覧

平成25年度科学研究費（継続） 基盤研究(C)一般（間接経費含む）

教授 鈴木 寛	移動電界を利用した一方向分散CNT/エポキシ樹脂薄板の試作および電気的特性評価	650 千円
------------	---	--------

平成26年度科学研究費（継続） 基盤研究(C)一般（間接経費含む）

教授 小坂谷 壽 一	知的エージェント方式に因る伝統音楽（津軽三味線）保存用自動採譜に関する研究	1,690 千円
---------------	---------------------------------------	----------

若手研究(B)一般（間接経費含む）

助教 齋藤 明 宏	高等英語教育における学習者の動機づけ、投資、抵抗	390 千円
--------------	--------------------------	--------

平成27年度科学研究費（継続） 基盤研究(C)一般（間接経費含む）

教授 松浦 勉	戦後日本の教育学における〈戦争責任論〉の位置の究明	1,300 千円
准教授 武藤 一 夫	LiNbO3材を用いた高性能な音響コム型アコースティックエミッションセンサの開発	1,040 千円
教授 竹内 貴 弘	気候変動による氷象の多様化に対応した新しい氷海構造物の設計法と維持管理手法の開発	2,600 千円
教授 高橋 良 英	遺伝的アルゴリズムにおける集団の多様性の測定と淘汰戦略への応用手法の研究	1,040 千円

挑戦的萌芽研究（間接経費含む）

教授 橋本 典 久	子どもの声の受忍限度に対する評価基準の構築に関する調査研究	1,430 千円
准教授 安部 信 行	五感による視覚障害者のための歩行訓練の手法に関する研究	1,300 千円

平成28年度科学研究費（採択） 基盤研究(B)（間接経費含む）

学長（教授） 長谷川 明	橋梁長寿命化のためのワイヤ移動式汎用点検ロボットの開発	8,450 千円
-----------------	-----------------------------	----------

基盤研究(C)（間接経費含む）

教授 金子 賢 治	マルチスケール・モデリングに基づくファイバー混合流状態の強度変形特性の解明	2,470 千円
教授 月 永 洋 一	コンクリート表層部に形成される脆弱層の正常に及ぼすブリーディングの影響	780 千円

第13 研究業績

若手研究(B)(間接経費含む)

准教授 迫井 裕 樹	実環境を想定した寒冷地コンクリートの塩化物イオン浸透メカニズム	1,040 千円
---------------	---------------------------------	----------

平成28年度科学研究費(分担)

基盤研究(A)一般(間接経費含む)

教授 橋本 典 久	対保護者トラブルの予防と解決のための研修プログラムの構築と効果に関する学際的研究	130 千円
--------------	--	--------

基盤研究(B)(間接経費含む)

教授 阿波 稔	復興道路コンクリート構造物の品質確保マネジメントシステムの実装と展開	260 千円
教授 四 竈 樹 男	低放射化フェライト功ステンレス鋼異材溶接継手の中性子照射特性と不均質変形の解明	130 千円
教授 鈴木 寛	圧電センサによる航空宇宙構造の損傷モニタリングの研究	1,300 千円
准教授 田 中 義 幸	遷移過程にあるアマモ場からの溶存態・懸濁態物質の移出過程に対する定量的評価	312 千円

挑戦的萌芽研究(間接経費含む)

准教授 高 橋 晋	薬剤有機分子の結晶多形完全制御技術	364 千円
--------------	-------------------	--------

平成29年度科学研究費(採択)

基盤研究(B)(間接経費含む)

学 長(教授) 長谷川 明	橋梁長寿命化のためのワイヤ移動式汎用点検ロボットの開発	5,070 千円
准教授 三 浦 雅 展	音響アフォーダンス理論に基づいたサイン音設計法	3,250 千円

基盤研究(C)(間接経費含む)

教 授 鈴木 寛	導電性と透光性を備えた大型の導電性ナノファイバ/樹脂薄膜の移動電界印可による試作	2,080 千円
教 授 阿波 稔	施工段階における表層部コンクリートの品質(緻密性・気泡組織)とスケーリング抵抗性	1,430 千円
特任講師 小田島 聡	高純度かつ高耐性な単一光子発生源の探求	1,820 千円

若手研究(B)(間接経費含む)

講 師 高 瀬 慎 介	VMSを用いた気液固連成による雪崩被害予測手法	910 千円
----------------	-------------------------	--------

2 文部科学省大学改革推進等補助金

プログラム名称（事業名）	事業期間
大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム （地方私立大学に必須のアクティブかつ多角的な学生支援の実現）	平成21年度 ～ 平成23年度
大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業 （創造的復興のための技術開発・支援と地域連携教育の推進）	平成23年度 ～ 平成27年度
大学教育再生加速プログラムテーマⅡ（学修成果の可視化）	平成26年度 ～ 平成30年度

第13 研究業績

3 文部科学省私立大学研究装置・研究設備等整備費補助金交付一覧

年 度	装 置・ 設 備 名	区 分	使 用 責 任 者	購 入 金 額
平成11年	機能性材料表層の構造・状態解析システム	研究装置	助教授 福原 長寿	50,400 千円
	環境ホルモン分析装置	研究装置	教 授 福士 憲一	49,899 千円
	高密度地震波収録装置	特別設備	教 授 滝田 貢	31,838 千円
平成12年	強誘電体薄膜評価装置	研究装置	教 授 藤田 成隆	47,250 千円
	寒冷地施設の機能向上に関する研究装置	研究装置	助教授 竹内 貴弘	46,725 千円
	寒冷地コンクリート材料の高耐久化に関する研究装置	研究装置	講 師 阿波 稔	47,145 千円
	住宅関係研究資料一式	特定図書	教 授 月舘 敏栄	1,994 千円
平成13年	薄膜表面に微細加工したマイクログループの微細構造解析システム	研究装置	教 授 佐藤 松雄	48,317 千円
	寒冷地域でのバイオマス利用コージェネレーション研究装置	研究装置	教 授 岡村 隆成	40,916 千円
平成14年	X線を利用した異常微小変形感知装置—プラント診断装置への応用—	研究装置	教 授 齋藤 正博	49,073 千円
	地盤の汚染対策に関する研究装置	研究装置	教 授 熊谷 浩二	48,247 千円
	次期キャンパス情報ネットワークシステム	情報装置	システム情報工学科長 吉米地宣裕	34,836 千円
	次期キャンパス情報ネットワークシステム	情報設備	システム情報工学科長 吉米地宣裕	38,868 千円
平成15年	衛星情報受信処理解析システム	ハイテク装置	教 授 藤田 成隆	48,405 千円
	産業廃棄物リモートセンシングシステム	学内LAN装置(無線)	教 授 藤田 成隆	12,611 千円
	産業廃棄物リモートセンシングシステム	ハイテク設備	教 授 藤田 成隆	12,749 千円

年 度	装 置・ 設 備 名	区 分	使用責任者	購入金額
平成15年	環境水元素分析装置	ハイテク 設 備	教 授 村中 健	39,900 千円
	廃棄物を再資源化した建設材料の品質および環境安全性の評価試験設備	ハイテク 設 備	教 授 庄谷 征美	37,117 千円
平成16年	I T ルームの改装による統合機械 I T 教育装置	情報施設	学科長 齋藤 正博	38,571 千円
	C A D ・ プレゼンテーションシステム	情報施設	学科長 熊谷 浩二	51,882 千円
平成17年	L A N およびネットワークコンピュータとマルチメディアによる双方向型教育装置	情報施設	学科長 坂本 禎智	16,651 千円
	C A D / C G とマルチメディアによる感性デザイン教育装置	情報施設	学科長 坂本 禎智	30,480 千円
	C A D / C G とマルチメディアによる感性デザイン教育装置	情報処理 関係設備	学科長 坂本 禎智	17,365 千円
	高性能デジタル画像入力解析システム付き振動試験装置	研究装置	講 師 金子 賢治	49,507 千円
平成18年	寒冷地建設材料の複合環境劣化試験装置	研究装置	教 授 月永 洋一	49,575 千円
平成19年	地域環境放射能測定設備	特別設備	教 授 村中 健	14,358 千円
	環境汚染監視と環境浄化のための遺伝子解析装置	特別設備	助 教 鮎川 恵理	16,821 千円
平成20年	マイクロ波照射極限化学反応プロセスの流動発生解析装置	特別設備	准教授 小林 正樹	35,225 千円
平成26年	I T デザインスタジオ	教育設備	学科長 坂本 禎智	6,737 千円
平成28年	クロマトグラフィーシステム	特別設備	准教授 藤田 敏明	7,460 千円

第13 研究業績

4 文部科学省私立大学等教育・学習方法高度情報化推進事業交付一覧

年 度	事 業 名	使用責任者	事業経費
平成11年	計算機支援設計共用教育システム設置室の改造整備と全学的教育の実施	教 授 高橋 燦吉	25,079 千円
平成12年	ビジュアルメディア及びネットワークコンピュータ室の改造整備と双方向型可視化教育の実施	教 授 増田陽一郎	35,866 千円
平成13年	多目的 IT ラボの整備と柔軟性のある双方向型教育の実施	教 授 庄谷 征美	31,240 千円

5 文部科学省私立大学等防災機能等強化緊急特別推進事業交付一覧

年 度	事 業 名	事業経費
平成12年	身体障害者兼用エレベーター	25,515 千円
平成17年	アスベスト対策工事	16,882 千円
平成18年	アスベスト対策工事	7,980 千円
平成19年	環境配慮改修工事（アスベスト除去工事）	6,657 千円
平成20年	環境配慮改修工事（アスベスト除去工事）	27,195 千円
平成25年	学校施設耐震改修事業（機械情報技術専門棟（渡廊下付）耐震補強工事）	84,840 千円
平成27年	学校施設耐震改修事業（電気電子システム専門棟（渡廊下付）耐震補強工事）	62,914 千円

6 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業(ハイテク・リサーチ・センター整備事業)

研 究 プ ロ グ ラ ム 名	事業期間
青森・岩手県境不法投棄廃棄物の低環境影響処理技術に関する研究開発	平成15年度 ～ 平成19年度

7 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

研 究 プ ロ グ ラ ム 名	事業期間
LCA を考慮した北東北における地域防災と維持管理に関する研究	平成20年度 ～ 平成22年度

8 文部科学省エコキャンパス推進事業

年 度	事 業 名	事業経費
平成21年	八戸工業大学エコキャンパス推進事業	12,967 千円

9 文部科学省私立大学教育研究活性化設備整備事業

年 度	事 業 名	事業経費
平成24年	コンバージョンEV・PHV教育に伴う性能試験設備	14,406 千円
平成25年	タイプ2「特色を発揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり」地域復興を支援するものづくり次世代型技術者養成のための設備整備	15,034 千円

第13 研究業績

10 外部資金

① 受託研究・共同研究

平成26年度

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	野田 英彦	木質チップを燃料として使用する小型バイオマスボイラーの開発	(株)ササキコーポレーション
教授 教授	野田 英彦 佐藤 学	ヒートパイプを利用する緊急時パッシブ除熱系の開発	(独)日本原子力研究開発機構
教授 准教授	野田 英彦 高橋 晋	新冷媒（氷点降下剤）の研究開発	未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合
教授 准教授	野田 英彦 金子 賢治	ジオセルの防災分野への利用に関する共同研究	旭化成 ジオテック(株)
教授 教授	佐藤 学 阿部 勝憲	安全性向上原子力人材育成委託事業	経済産業省 資源エネルギー庁
教授	佐藤 学	ベリリウム金属間化合物の核融合環境を模擬した照射下における微細組織発達とその場観測と機械的特性に対する照射効果(4)	(独)日本原子力研究開発機構
助教	浅川 拓克	《平成26年度産学連携・課題解決型医療福祉関連機器等研究開発モデル実証（医工等連携ライフイノベーション加速化事業）》救急医療に対応するドクターカー収納型緊急手術室の開発	青 森 県
助教	浅川 拓克	専用機器による改造EV試作機の性能測定業務委託	NPO法人 循環型社会創造ネットワーク
講師	花田 一磨	《戦略的創造研究推進事業（先端的低炭素化技術開発）》先進超伝導電力変換システムの未来予測技術高度化と燃料電池有効利用技術開発	(独)科学技術振興機構
講師 講師	花田 一磨 佐々木崇徳	野辺地町エネルギー・環境教育実践事業委託	野 辺 地 町
教授	佐々木幹夫	三沢海岸侵食対策調査・解析業務委託	上北地域県民局
教授	福士 憲一	八戸市地盤沈下観測井管理観測業務委託	八 戸 市
教授	福士 憲一	地下水の水位および水質調査委託	八戸地域地下水利用対策協議会
准教授	金子 賢治	強制変位を受ける高盛土の変形挙動に関する研究	電 源 開 発 (株)
客員教授	青木 秀敏	農水畜産物にUV-LEDからの紫外線を照射することにより得られる作用効果と経済的合理性の確認	H O Y A C A N D E O O P T R O N I C S (株)

職名	氏名	研究課題等	依頼先
客員教授	青木 秀敏	〈(A-STEP) 産学共同促進ステージ ハイリスク挑戦タイプ(復興促進型)〉光照射乾燥法の開発	(独)科学技術振興機構
客員教授	青木 秀敏	〈(A-STEP) ハイリスク挑戦タイプ(復興促進型)〉光照射乾燥法を活用する呈味成分と機能性成分を増大させた切り干し大根とセミドライフルーツの開発	(独)科学技術振興機構
准教授	横溝 賢	産学官連携による学生のアイデアを活用した商品開発	(地独)青森県産業技術センター
准教授	宮腰 直幸	太子食品日光工場に設置するジオラマ制作業務委託	太子食品工業(株)

平成27年度

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	野田 英彦	木質チップを燃料として使用する小型バイオマスボイラーの開発	(株)ササキコーポレーション
教授 准教授	野田 英彦 高橋 晋	未利用熱エネルギー革新的活用技術研究開発	未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合(株式会社日立製作所)
教授 教授	野田 英彦 金子 賢治	ジオセルの防災分野への利用に関する共同研究	旭化成ジオテック(株)
教授	佐藤 学	ベリリウム金属化合物の核融合環境を模擬した照射下における微細組織発達のその場観察と機械的特性に対する照射効果(5)	(国研)日本原子力研究開発機構
教授	佐藤 学	安全性向上原子力人材育成委託事業	経済産業省資源エネルギー庁
教授	四竈 樹男	ヘリウムおよび水素の捕捉、放出、透過特性に及ぼす照射効果に関する研究	(国研)日本原子力研究開発機構
教授	四竈 樹男	〈革新的実用原子力技術開発費補助金補助事業〉革新的安全性向上を実現させるセラミック複合材料の燃料集合体への適用技術開発	国立大学法人室蘭工業大学
准教授	武藤 一夫	センサ付工具ホルダ予察試験 (アコースティックエミッションの可能性検討)	三菱マテリアル(株)
助教	浅川 拓克	へき地医療等における課題解決のための、ドクターカー対応型エアートtent式緊急手術室の開発	青森県
教授 教授 教授	石山 俊彦 坂本 智彦 野田 英彦	2線式システム 高効率モータシステムの開発	多摩川精機(株)

第13 研究業績

職名	氏名	研究課題等	依頼先
講師	花田 一磨	〈戦略的創造研究推進事業（先端的低炭素化技術開発）〉 先進超伝導電力変換システムの未来予測技術高度化と燃料電池有効利用技術開発	(国研)科学技術振興機構
講師	花田 一磨 佐々木崇徳	野辺地町エネルギー・環境教育実践事業委託	野辺地町
教授	嶋脇 秀隆	微小電子源のテラヘルツ波源応用に関する研究	(国研)産業技術総合研究所
教授	藤岡 与周	産業用動力回転装置等軸受け部振動計測監視システム試作開発事業	広和計装(株)
准教授	伊藤 智也	大槌町における復興計画の3DCGによる可視化	(一社)K A I O T S U C H I
准教授	西村 順子	機能性菌体外多糖の生合成に関与するペプチドの解析	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 基礎生物学研究所
准教授	西村 順子	Lactobacillus delbrueckii subsp.bulgarius OLL1073R-1の生産する酸性多糖に関する研究	(株) 明 治
准教授	高橋 晋	食品加工場排水の浄化システムの開発	アルバック東北(株)
教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授 講師 任期付研究員	長谷川 明 月永 洋一 阿波 稔 金子 賢治 安部 信行 迫井 裕樹 高橋 晋 藤澤 隆介 橋詰 豊	ワイヤ移動式汎用橋梁点検ロボットシステムの研究開発	(株) 長 大 (株) T T E S
教授 准教授	長谷川 明 安部 信行	仮称パッケージハウスの運搬装置および居住性の改善に関する研究	(株) 青 森 建 設 工 業 社
教授	福士 憲一	八戸市地盤沈下観測井管理観測業務委託	八 戸 市
教授	福士 憲一	地下水の水位および水質調査委託	八戸地域地下水利用対策協議会
教授	福士 憲一	八戸市地盤沈下観測井観測記録解析業務委託	八 戸 市
教授	佐々木幹夫	三沢海岸浸食対策調査・解析業務委託	上 北 地 域 県 民 局
教授	金子 賢治	強制変位を受ける高盛土の変形挙動に関する研究	電 源 開 発 (株)

第13 研究業績

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	金子 賢治	繊維混入砂質土の三軸圧縮試験の実施に関する研究	三菱化学エンジニアリング(株)
教授	金子 賢治	徐冷スラグを利用した盛土材料への高付加価値化	太平洋金属(株)
准教授	横溝 賢	産学官連携による学生のアイデアを活用した商品開発	(地独)青森県産業技術センター工業総合研究所

平成28年度

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	嶋脇 秀隆	微小電子源のテラヘルツ波源応用に関する研究	(国研)産業技術総合研究所
教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授 講師 任期付研究員	長谷川 明 月永 洋一 阿波 稔 金子 賢治 安部 信行 迫井 裕樹 高橋 晋 藤澤 隆介 橋詰 豊	ワイヤ移動式汎用橋梁点検ロボットシステムの研究開発	(株) 長大 (株) T T E S
准教授	小藤 一樹	公募型プロポーザルへの参加協力	(株) 八洲建築設計事務所
教授 教授	野田 英彦 佐藤 学	原子炉のメンテナンス時に発生する廃棄物の安全な処理・管理シナリオに関する研究	(国研)量子科学技術研究開発機構
准教授	高橋 晋	食品加工場排水の浄化システムの開発	アルバック東北(株)
教授	佐藤 学	ベリリウム金属間化合物の核融合環境を模擬した照射下における微細組織発達のその場観察と機械的特性に対する照射効果(6)	(国研)量子科学技術研究開発機構
教授	野田 英彦	農産物熟成器と病害虫防除器のハイブリット化による省エネ加熱器の開発	(有)トータル
教授 教授	野田 英彦 金子 賢治	ジオセルの防災分野への利用に関する研究	旭化成ジオテック(株)
教授	四竈 樹男	ヘリウムおよび水素の捕捉、放出、透過特性に及ぼす照射効果に関する研究	(国研)量子科学技術研究開発機構
准教授	西村 順子	Lactobacillus delbrueckii subsp.Bulgaricus OLL1073R-1の生産する酸性多糖に関する研究	(株) 明治
教授 教授 教授	石山 俊彦 坂本 智彦 野田 英彦	2線式システム 高効率モータシステムの開発	多摩川精機(株)

第13 研究業績

職名	氏名	研究課題等	依頼先
准教授	横溝 賢	産学官連携による学生のアイデアを活用した商品開発	(地独)青森県産業技術センター弘前地域研究所
教授	福士 憲一	八戸市地盤沈下観測井管理観測業務委託	八戸市
教授	福士 憲一	地下水の水位及び水質調査委託	八戸地域地下水利用対策協議会
教授	福士 憲一	八戸市地盤沈下観測井観測記録解析業務委託	八戸市
准教授	佐々木崇徳	エアロバイク発電機教材の開発と評価	㈱東奥アドシステム
准教授	武藤 一夫	デジタル式 AE センサに関する研究	三菱電機エンジニアリング(株)
教授	阿波 稔	〈戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)事業〉青森県におけるインフラ維持管理技術の地域展開と人材育成に関する研究	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
准教授	武藤 一夫	センサ付き工具ホルダ予察試験(アコースティックエミッションの可能性検討)	三菱マテリアル(株)
助教	浅川 拓克	〈平成28年度医工連携事業化推進実証事業〉へき地医療等における課題解決のための、ドクターカー及びドクターヘリへ搭載可能なモバイルシンクの開発	青森県
准教授	小玉 成人	復元北前型弁才船「みちのく丸」ITガイド整備業務	野辺地町
准教授	横溝 賢	ビジュアルアイデンティティの構築支援	櫛引八幡宮
准教授	横溝 賢	フィールドを活用した人馬一体生活文化の体験デザインと運用の仕組みづくり	櫛引八幡宮
教授	佐々木幹夫	三沢海岸侵食対策調査・解析業務委託	上北地域県民局

② 研究助成

平成26年度

職名	氏名	研究課題等	依頼先
准教授	工藤 祐嗣	学生実験用小型エンジン性能試験装置の開発	(一財)青森県工業技術教育振興会
講師	花田 一磨	八戸工業大学おもしろ電子工房公開講座	(公財)青森学術文化振興財団
講師	佐々木崇徳	家庭用インクジェットプリンタ等を用いた色素増感型太陽電池作製方法に関する研究	(公財)高橋産業経済研究財団
教授	小坂谷壽一	伝統音楽(南部三味線・津軽三味線)の自動採譜とデジタルアーカイブ化に因る地域伝統文化の永久保存事業	(公財)むつ小川原地域・産業振興財団
教授	長谷川 明	橋梁の津波対策に関する研究	(公財)高速道路調査会
准教授	金子 賢治	高温加熱を受けたコンクリートの物質移動抵抗性	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	金子 賢治	《平成26年度東北工学教育協会「工学教育に関する行事等に関する助成事業」》第7回青森土木フォーラムの開催	東北工学教育協会
講師	迫井 裕樹	凍結融解作用による固化処理土の強度低下の定量的把握	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授 技術員	横溝 賢 夏坂 光男	学習実験のリアルタイム省察が、学習者の主体性に与える影響について	(一財)青森県工業技術教育振興会
講師	安部 信行	福祉施設設計・評価のための総合的屋内環境指標構築に関する基礎的研究～寒冷地の屋内環境実測調査を例として～	(一財)青森県工業技術教育振興会
助教	岩崎真梨子	学生が作る八戸工業大学キャンパスことば辞典	(一財)青森県工業技術教育振興会
助教	大室 康平	野球のバッティングにおけるボールの位置の違いがバッティングの正確性に及ぼす影響	(一財)青森県工業技術教育振興会
	社会連携 学術推進室	《あおり元気企業チャレンジ》産学官連携による知的財産活用向上のための調査事業	(公財)21あおり産業総合支援センター

第13 研究業績

平成27年度

職名	氏名	研究課題等	依頼先
講師	藤澤 隆介	小型昆虫の行動解析のための球体移動補償装置の開発と検証	(一財)青森県工業技術教育振興会
講師	花田 一磨	再生可能エネルギー発電によるマイクロ水素エネルギーシステムの開発	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	伊藤 智也	東日本大震災復興建設事業における3次元CGモデルによる復興支援	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	鮎川 恵理	三陸海岸最北部の海崖植生の津波影響-津波から5年後の状況-	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	高橋 晋	酢酸分解好気性菌のスクリーニングと酢酸含有廃水の処理方法の開発	(公財)高橋産業経済研究財団
教授	阿波 稔	復興道路における寒中コンクリートの品質確保システムの構築	(一社)東北地域づくり協会
教授	金子 賢治	〈工学教育に関する行事等に対する助成事業〉第8回青森土木フォーラム	東北工学教育協会
准教授	迫井 裕樹	高温加熱を受けた普通コンクリートの損傷評価に関する研究	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	安部 信行	視覚障害者の聴覚錯誤のメカニズムに関する実験的研究~方向定位への反射壁面の影響に関する基礎的検討~	(一財)青森県工業技術教育振興会
講師	岩崎真梨子	若者ことば研究に関するコーパス資料の作成	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	小藤 一樹	短命県青森の住宅性能が健康に与える因果関係を実証的に解明	(一財)青森県工業技術教育振興会
助教	大室 康平	野球のバッティングにおける素振りのトレーニング方法の検討	(一財)青森県工業技術教育振興会
	食品研究会	青森県未来の起業家(大学生)育成事業	青森県
	食品研究会	〈平成27年度 学生まちづくりコンペティション〉菊を用いたスイーツと駅弁の提案	八戸市
	HIT Team たねちゃん	〈平成27年度 学生まちづくりコンペティション〉種差海岸の今を世界に発信!!種差なう	八戸市
	社会連携 学術推進室	〈あおもり元気企業チャレンジ助成事業〉産学連携活動におけるコーディネート機能向上のための支援調査事業	(公財)21あおもり産業総合支援センター

職名	氏名	研究課題等	依頼先
	社会連携 学術推進室	八戸工業大学学生チャレンジプロジェクト公開事業	(公財)青森学術 文化振興財団
	社会連携 学術推進室	〈平成27年度はくとう総研地域活性化連携支援事業〉地域活性化に向けた多様な人材育成プログラムに係る調査研究	(一社)北海道 東北地域経済 総合研究所

平成28年度

職名	氏名	研究課題等	依頼先
講師	藤澤 隆介	微小昆虫用全方向移動補償装置の開発	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
准教授	信山 克義	地球環境に優しいポリ乳酸の高機能化による新規電気絶縁材料の開発	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
准教授	柴田 幸司	マイクロ波帯における液体の広帯域にわたる簡便かつ高精度な誘電特性測定法の研究	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
准教授	伊藤 智也	オープンデータを活用した生活情報配信サービスの検討	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
准教授	鮎川 恵理	適切な植生管理のための八戸市種差海岸北部の植生図作成	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
准教授	迫井 裕樹	表層透気試験を用いた火害コンクリートの損傷範囲推定に関する基礎的研究	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
准教授 任期付研究員	迫井 裕樹 橋詰 豊	固化処理土の凍結融解作用による強度低下メカニズムの解明と対策工法の検討	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
教授	金子 賢治	越流津波により防潮堤盛土に作用する揚圧力の評価とその設計への合理的反映に関する研究	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
准教授 技師	横溝 賢 夏坂 光男	学習者の内省姿勢形成につなげる学習経験の記録手法の研究	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
准教授 准教授 教授	安部 信行 迫井 裕樹 月永 洋一	橋梁維持管理ロボット開発のための打音検査装置搭載に関する研究～寒冷地対応コンクリートに関する打音検査の基礎的検討～	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
准教授	今出 敏彦	青森県の工学教育におけるアクティブラーニングの実践	(一財)青森県 工業技術 教育振興会
教授	阿波 稔	復興道路における寒中コンクリートの品質確保システムの構築	(一財)東北地域 づくり協会

第13 研究業績

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	金子 賢治	〈工学教育に関する行事等に対する助成事業〉第9回青森土木フォーラム	東北工学教育協会
教授	鶴田 猛彦	〈化学研究連絡助成金 海外渡航助成〉物質科学と工学2016（参加学会会議）	公益財団法人日本科学研究会
教授	阿波 稔	〈平成28年度あおもり元気企業チャレンジ助成事業〉産官学連携による社会インフラの長寿命化を担う建設技術者の育成事業	(公財)21あおもり産業総合支援センター
	建築デザイン研究部(ADL)	〈平成28年度学生まちづくり助成金〉八戸の魅力小学生の目で再発見	八 戸 市
	社会連携学術推進室	八戸工業大学学生チャレンジプロジェクト事業	(公財)青森学術文化振興財団

11 学 内 助 成

平成28年度

① 特別研究助成費（プロジェクト研究）

職名	研究代表者	研 究 課 題 名	助成金額
助 教	浅川 拓克	救急・災害医療の課題解決のためのドクターカー対応型緊急手術室の開発	600 千円
教 授	金子 賢治	高館ローム切土斜面における凍上劣化予測モデルとその対策手法の開発	600 千円
教 授	武山 泰	観光価値の多層化を考慮した地域資源の掘り起こしと観光コンテンツの創出	1,620 千円
准教授	田中 義幸	ICP 発光分光分析装置を活用した海洋環境変動の観測	1,200 千円
教 授	阿波 稔	土木系デザイン教育プログラムの改善とデザイン能力の客観的評価手法の開発	900 千円

② 特別研究助成費（特定研究）

職名	研究代表者	研 究 課 題 名	助成金額
准教授	武藤 一夫	LiNbO3を用いた音響コム型デジタル式アコースティック・エミッション・センサの開発とその用途開発	270 千円
教 授	大黒 正敏	噴霧塗装工程における塗着プロセス解明に関する基礎的研究	300 千円
准教授	柴田 幸司	屋外設置型超小型遠隔監視システムと一斉配信サーバによる地域情報発信システムの開発	300 千円
講 師	花田 一磨	水域調査のための水中ドローン用装置の開発に関する研究	300 千円
教 授	嶋脇 秀隆	シリコンフィールドエミッタの光応答性に関する研究	300 千円
准教授	高橋 晋	マイクロバブルを利用した水産加工場排水の固液分離装置の開発	300 千円
准教授	藤田 敏明	組み換えコリオジェニン蛋白の大量合成と Furin による限定分解	300 千円
教 授	鶴田 猛彦	バイオマス誘導体を用いた水溶液からのセシウム等当の除去	300 千円
准教授	迫井 裕樹	セメント硬化体中の塩化物イオン量が凍結水量に及ぼす影響に関する基礎的研究	300 千円
准教授	鈴木 拓也	青森・岩手県境不法投棄現場跡地における1,4-ジオキサン汚染地下水の浄化に関する検討	300 千円
准教授	川守田礼子	南部地域における伝統的手仕事の伝承と地域文化の変遷に関わる研究－南部菱刺しを中心として－	300 千円
教 授	高橋 康造	中学技術科の教授・指導法の現状と今後の課題について	200 千円

第13 研究業績

③ 大型装置・設備保守費

職名	研究代表者	研究課題名	助成金額
講師	佐々木崇徳	強誘電体被膜評価システム	567 千円
講師	佐々木崇徳	機能性材料評価システム	1,100 千円
教授	嶋脇 秀隆	非線形光学薄膜合成および評価システム装置	316 千円
教授	嶋脇 秀隆	YAG レーザアブレーション装置	565 千円
教授	小比類卷孝幸	機能性材料表層の構造・状態解析システム	1,100 千円
教授	鶴田 猛彦	環境水元素分析装置	1,100 千円
准教授	鮎川 恵理	人工気象室	293 千円
教授	阿波 稔	寒冷地コンクリート材料の高耐久化に関する研究装置	1,100 千円
教授	阿波 稔	寒冷地建設材料の耐久性試験研究装置	432 千円
教授	月永 洋一	寒冷地建設材料の複合環境劣化装置	1,047 千円
教授	金子 賢治	地盤の汚染対策に関する研究装置	1,096 千円
准教授	鈴木 拓也	環境ホルモン分析装置	1,100 千円
准教授	田中 義幸	地球環境解析用安定同位体比質量分析装置	1,100 千円

④ 教育改革支援経費助成

職名	研究代表者	研究課題名	助成金額
教授	坂本 禎智	双方向型教育機器を活用したアクティブ・ラーニングの推進	1,500 千円
准教授	横溝 賢	三八地域の森林資源を活用した PBL デザイン教育メソッドの開発	700 千円

12 海外出張・海外研修

平成28年度

職名	氏名	目的	出張・研修期間	出張・研修場所
准教授	柴田 幸司	The 7th Asia-Pacific International Symposium on Electromagnetic Compatibility (APEMC2016)で研究発表	平28.05.16 } 28.05.22	中華人民共和国
教授	竹内 貴弘	The 23rd IAHR International Symposium on Ice 参加	平28.05.30 } 28.06.04	アメリカ合衆国
教授	西村 順子	The 2016 Alzheimer's Disease Congress および2016 PCS Cell Science & Stem Cell Conference 参加および再生医療に関する最新情報収集	平28.06.05 } 28.06.15	スペイン
准教授	柴田 幸司	2016 Thailand-Japan Microwave (TJMW2016) で研究発表	平28.06.08 } 28.06.12	タイ王国
教授	小坂谷 壽一	IEEE 国際学会 (EBCCSP2016) で論文発表	平28.06.10 } 28.06.18	ポーランド共和国
教授	嶋脇 秀隆	29th International Vacuum Nanoelectronics Conference 2016 で研究発表	平28.07.08 } 28.07.18	カナダ
教授	高橋 良英	国際会議 WCCI 2016 (IEEE CEC 2016) 論文発表	平28.07.23 } 28.07.30	カナダ
准教授	柴田 幸司	IEEE MTT-S International Conference on Numerical Electromagnetic and Multiphysics for RF, Microwave and Terahertz Applications で研究発表	平28.07.25 } 28.07.31	中華人民共和国
准教授	柴田 幸司	国際会議 Progress In Electromagnetics Research Symposium PIERS 2016 で研究発表	平28.08.05 } 28.08.13	中華人民共和国
教授	渡辺 武秀	中国語学研修 学生引率	平28.08.17 } 28.09.02	中華人民共和国
准教授	柴田 幸司	2016 URSI Asia-Pacific Radio Science Conference (AP-RASC2016) で研究発表	平28.08.19 } 28.08.26	大韓民国
教授	佐々木幹夫	第8回 層状流れに関する国際シンポジウム (ISSF) で論文発表、およびコロラド川調査	平28.08.28 } 28.09.07	アメリカ合衆国
教授	佐々木幹夫	河口・海岸・河川に関するベトナム-日本ワークショップ2016 (Vietnam-Japan Workshop On Estuary, Coast and Rivers 2016) で発表および会議出席	平28.09.18 } 28.09.22	ベトナム社会主義共和国
学長	長谷川 明	瀋陽工業大学との交流協定手続き他	平28.09.19 } 28.09.24	中華人民共和国

第13 研究業績

職名	氏名	目的	出張・研修期間	出張・研修場所
准教授	小玉 成人	瀋陽工業大学との交流協定手続き他	平28.09.19 } 28.09.24	中華人民共和国
教授	鶴田 猛彦	Material Science and Technology 16 において口頭発表	平28.10.22 } 28.10.29	アメリカ合衆国
教授	大黒 正敏	第18回アジア液体微粒化会議 (ILASS- ASIA2016) での研究成果の発表および 各種会議出席	平28.11.05 } 28.11.10	インド
教授	四竈 樹男	ウズベキスタン国主催の科学技術国際 会議に出席し、講演および各国の科学 技術者との交流	平28.11.08 } 28.11.15	ウズベキス タン共和国
教授	高橋 良英	国際会議 SSCI 2016 (IEEE Symposium Series on Computational Intelligence) で論文発表	平28.12.04 } 28.12.12	ギリシャ共和国
准教授	柴田 幸司	2016 IEEE Asia-Pacific Conference on Applied Electromagnetics (APACE2016) で研究発表	平28.12.10 } 28.12.16	マレーシア連邦

13 学会・研究会・集会

平成28年度

研究会等の名称	開催年月日	開催場所 (教室等)	主催者	摘要 (主要発表演題数等)
計測自動制御学会 東北支部 第302回研究集会	H28. 6.24	本学 I 103 講義室	(公社) 計測自動制御学会	参加者 20名
第17回土木建築系教育に関する研修会	H28. 7. 2	本学 土木棟会議室	工学部 土木建築工学科	参加者 15名
平成28年度安全性向上原子力人材育成事業 第1回検討会議	H28. 7. 7	八戸地域地場産業振興センター (ユートリー)	八戸工業大学	参加者 14名
平成28年度第1回電気学会東北支部青森支所学術講演会	H28. 7.16	本学 多目的ホール	工学部 電気電子システム学科	参加者 70名
八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ 開所記念セミナー	H28. 8. 7	地域産業総合研究所 産学連携プラザ	社会連携学術推進室	参加者 44名
平成28年度八戸工業大学第1回全学 FD 研修会 (三校協同 FD 研修会)	H28. 8.10	本学 多目的ホール	八戸工業大学	参加者 77名
八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ セミナー「地域医療の課題克服に向けて～ Dr.Car V3 の開発～」	H28. 8.28	地域産業総合研究所 産学連携プラザ	社会連携学術推進室	参加者 9名
八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ セミナー「電気エネルギーを求めて」	H28. 9. 3	地域産業総合研究所 産学連携プラザ	社会連携学術推進室	参加者 4名
八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ セミナー「未知のセキュリティ脅威に挑むディープラーニング」	H28. 9.10	地域産業総合研究所 産学連携プラザ	社会連携学術推進室	参加者 6名
八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ セミナー「マイクロバブルを利用した水産加工場排水の浄化」	H28. 9.18	地域産業総合研究所 産学連携プラザ	社会連携学術推進室	参加者 6名

第13 研究業績

研究会等の名称	開催 年月日	開催場所 (教室等)	主催者	摘要 (主要発表演題数等)
八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ セミナー「大学生ビブリオバトルー八戸工業大学における「本のまち八戸」への取り組みー」	H28.10. 1	地域産業 総合研究所 産学連携プラザ	社会連携学術推進室	参加者 4名
基調講演 『そもそものデザイン～ 存在意義を見える化して 事業を好転させていく取 り組み』	H28.10.12	本 学 K D プラザ	感性デザイン学部 感性デザイン学科	参加者 10名
八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ セミナー「曲線と曲面の幾何」	H28.10.16	地域産業 総合研究所 産学連携プラザ	社会連携学術推進室	参加者 8名
八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ セミナー「まぼろしの太陽系第9惑星を追え!」	H28.10.23	地域産業 総合研究所 産学連携プラザ	社会連携学術推進室	参加者 14名
八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ セミナー「3.11大震災から見たこれからのBCP(事業継続計画)を考える」	H28.10.28	地域産業 総合研究所 産学連携プラザ	社会連携学術推進室	参加者 18名
新刊 土木学会 コンクリートライブラリー146号「フェロニッケルスラグ骨材を用いたコンクリートの設計施工指針」および147号「銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計施工指針」に関する講習会	H28.11.11	本 学 多目的ホール	日本鉱業協会	参加者 120名
モッテ菊とスイーツの出会い in 青森～パープルマムの試験栽培と活用～	H28.11.18	地域産業 総合研究所 産学連携プラザ	社会連携学術推進室	参加者 55名
平成28年度 情報処理学会東北支部研究会	H28.12. 9	本 学 I 103講義室	(一社) 情報処理学会	参加者 25名
第18回土木建築系教育に関する研修会	H28.12.10	本 学 土木棟会議室	工 学 部 土木建築工学科	参加者 15名

研究会等の名称	開催年月日	開催場所(教室等)	主催者	摘要 (主要発表演題数等)
平成28年度八戸工業大学学生チャレンジプロジェクト事業の公開	H28.12.17 ~18	地域産業 総合研究所 産学連携プラザ	八戸工業大学	参加者 200名
八戸工業大学ものづくり講演会「ニューテクノロジーとそれを生み出す人材の育て方」	H28.12.19	本学 多目的ホール	八戸工業大学	参加者 76名
平成28年度「安全性向上原子力人材育成事業」第2回検討会議	H29. 1. 3	八戸グランド ホテル	社会連携学術推進室	参加者 17名
学術講演会「ゲームの外に広がるUnityの活用」	H29. 1.12	本学メデイ アセンター	工学部 システム情報工学科	参加者 50名
平成28年度安全性向上原子力人材育成委託事業原子力体感研修報告会および青森原子力教育シンポジウム	H29. 1.13	八戸グランド ホテル	八戸工業大学	参加者 69名
COC+雇用創出連携プロジェクト(グリーン)講演会「核燃料再処理の現状と原子力を取り巻く日仏の環境について」	H29. 1.18	八戸工業大学	八戸工業大学	参加者 66名
雪工学会雪環境講演会	H29. 1.23	本学 C310講義室	日本雪学会	参加者 45名
平成28年度(第14回)八戸工業大学高大連携推進協議会	H29. 1.27	本学 多目的ホール	八戸工業大学	参加者 63名
平成28年度「安全性向上原子力人材育成委託事業」学生とシニアの対話 in 八戸工大2017	H29. 2. 3	本学メデイ アセンター	八戸工業大学	参加者 60名
第56回環境フロンティア研究会	H29. 2.20	地域産業 総合研究所 産学連携プラザ	環境フロンティア 研究会	参加者 40名
平成28年度八戸工業大学教育研究後援会 点検・評価部会	H29. 2.24	本学 大会議室	八戸工業大学	参加者 25名
平成28年度「安全性向上原子力人材育成事業」第3回検討会議	H29. 3. 2	八戸地域地 場産業振興 センター (ユートリー)	八戸工業大学	参加者 18名

第13 研究業績

研究会等の名称	開催年月日	開催場所 (教室等)	主催者	摘要 (主要発表演題数等)
COC+雇用創出連携プロジェクト(グリーン)講演会「核燃料廃棄物処理・保管に向けた研究の現状と地域と原子力関連機関との連携について」	H29. 3. 2	八戸地域 産業振興 センター (ユートリー)	八戸工業大学	参加者 20名
3.11防災フォーラム2017 －東日本大震災からの創造的復興と大規模風水害減災にむけて－	H29. 3.11	八戸市 福祉公民館	八戸工業大学、八戸市	講演 2件 ショート レクチャー 3件 参加者 104名

14 公開講座

年度	名 称	開 催 年 月 日	開催場所 (教室等)	主 管	摘 要 (受講者数等)
平成 28年	ロボティクス基礎講座 多脚歩行ロボットを作ろう	平28.11. 5	八戸工業大学	機械情報技術学科	23名
	サイエンスサロン アインシュタインから始 まるエネルギー ～生い立ちと科学の足跡～	平28. 8.20	大 館 市 民 文 化 会 館	電気電子システム学科	15名
	おもしろ電子工房 ～電子オルガンを作ろ う！～	平28.11. 3	岩手県久慈市 中央公民館	電気電子システム学科	23名
	サイエンスサロン 目に見える電子技術：液 晶パネルを作る	平28.11.27	チ ー ノ はちのへ1F	電気電子システム学科	9名
	キッズプログラミング教室	平28.10.29	八戸工業大学	システム情報工学科	35名
	「海洋生物からのメッ セージ～環境が変われば 生き物も変わる～」第1回	平28. 8.20	八戸市水産科学 館 マリエント	バイオ環境工学科	21名
	「海洋生物からのメッ セージ～環境が変われば 生き物も変わる～」第2回	平28. 8.28	ねぶたの家 ワ・ラッセ (青森市)	バイオ環境工学科	
	「住みたい家・住みたい 街コンクール」発表会・ 審査会・作品展	平28.10.22 ～10.28	八戸ポータル ミュージアム は っ ち	土木建築工学科	30名
	地域文化デザインシンポ ジウム 裂織2.0 ～南部裂織の過去・現在・ 未来～	平28.11.23	八戸ポータル ミュージアム は っ ち	感性デザイン学科	40名
2026年の学校	平28.11. 2	八戸ポータル ミュージアム はっちシアター1	基礎教育研究 セ ン タ ー	12名	

第14 研究刊行物

八戸工業大学紀要 第36巻 平成29年3月

I S S N 0287-1866

編集発行 八戸工業大学図書委員会

版 型 B 5

発行部数 300部

発行回数 年1回

地域産業総合研究所紀要 第15巻 平成29年3月

I S S N 2186-6015

編集発行 八戸工業大学地域産業総合研究所紀要編集委員会

版 型 A 4

発行部数 300部

発行回数 年1回

第15 図 書 館

1 施 設

学生閲覧室	325㎡	(座席数 94 席)
新聞閲覧室	290㎡	(座席数 54 席)
雑誌閲覧室	340㎡	(座席数 16 席)
書 庫	414㎡	(積層数 4 層)
第 2 書 庫	238㎡	
事務室その他	213㎡	
多目的ホール	306㎡	(座席数 140 席)
計	2,126㎡	

2 蔵 書

平成29年5月1日現在

区 分	和 漢 書	洋 書	合 計
0 総 記	4,848	665	5,513
1 哲 学	3,203	584	3,787
2 歴 史	5,302	250	5,552
3 社 会 科 学	11,058	839	11,897
4 自 然 科 学	16,833	3,194	20,027
5 工 学	33,431	7,078	40,509
6 産 業	1,762	84	1,846
7 芸 術	4,523	215	4,738
8 語 学	4,732	1,393	6,125
9 文 学	7,677	1,639	9,316
製本・別置・AV資料	8,247	10,842	19,089
計	101,616	26,783	128,399

所蔵雑誌種数

和 雜 誌	857 種
洋 雜 誌	611 種

3 利 用 状 況 (平成28年度)

開 館 日 数	図書貸出者数	図書貸出冊数	AV資料利用者数	学生閲覧室入場者数
269 日	723 人	1,217 冊	3,163 人	17,199 人

第16 旧 職 員

1 歴代役付職員

学 長

(就 任)	(退 任)	(学 位)	(氏 名)
昭47. 4. 1	昭49. 2. 23		小和田 武 紀
49. 2. 24 (事務取扱)	49. 5. 31	工学博士	門 脇 又 男
49. 6. 1	51. 4. 30	工学博士	斎 藤 恒 三
51. 5. 1 (事務取扱)	51. 12. 10	工学博士	門 脇 又 男
51. 12. 11	56. 3. 31	工学博士	門 脇 又 男
56. 4. 1	60. 3. 31		淵 澤 定 敏
60. 4. 1	平 5. 3. 31	工学博士	河 上 房 義
平 5. 4. 1	12. 3. 31	工学博士	村 上 孝 一
12. 4. 1	18. 3. 31	工学博士	高 橋 燦 吉
18. 4. 1	22. 3. 31	工学博士	庄 谷 征 美
22. 4. 1	28. 3. 31	工学博士	藤 田 成 隆

副 学 長

昭51. 12. 11	昭56. 3. 31		淵 澤 定 敏
平元. 4. 1	平 5. 3. 31	工学博士	村 上 孝 一
21. 4. 1	22. 3. 31	工学博士	藤 田 成 隆

学 長 補 佐

平24. 4. 1	平28. 3. 31	工学博士	関 秀 廣
-----------	------------	------	-------

学長補佐 (学務担当)

平 7. 4. 1	平 9. 8. 22	工学博士	川 島 俊 夫
11. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	須 田 熙
13. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	増 田 陽一郎
19. 4. 1	21. 3. 31	工学博士	藤 田 成 隆
22. 4. 1	23. 3. 31	工学博士	福 士 憲 一

学長補佐（事務担当）

平 7. 4. 1	平 9. 3. 31		及 川 富 司
9. 4. 1	23. 3. 31		福 井 俊 夫

大学院工学研究科長

平12. 4. 1	平18. 3. 31	工 学 博 士	高 橋 燦 吉
18. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士	庄 谷 征 美
22. 4. 1	28. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆

工 学 部 長

平17. 4. 1	平22. 3. 31	工 学 博 士	庄 谷 征 美
22. 4. 1	28. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
28. 4. 1	29. 3. 31	工 学 博 士	長 谷 川 明

感性デザイン学部長

平17. 4. 1	平20. 3. 31	工 学 博 士	長 谷 川 明
20. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
22. 4. 1	29. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智

機械システム工学 専攻主任

平 7. 4. 1	平12. 3. 31	工 学 博 士	高 橋 燦 吉
12. 4. 1	15. 9. 30	博 士 (工 学)	加 賀 拓 也
15. 10. 1	18. 3. 31	博 士 (工 学)	岡 村 隆 成

機械・生物化学工学 専攻主任

平18. 4. 1	平20. 3. 31	工 学 博 士	齋 藤 正 博
20. 4. 1	25. 3. 31	工 学 博 士	大 黒 正 敏
25. 4. 1	28. 3. 31	博 士 (工 学)	野 田 英 彦

電 気 電 子 工 学 専 攻 主 任

平 7. 4. 1	平13. 3. 31	工 学 博 士	増 田 陽 一 郎
13. 4. 1	18. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
18. 4. 1	19. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智

第16 旧職員

電子電気・情報工学 専攻主任

平19. 4. 1	平20. 3. 31	工学博士	坂 本 禎 智
20. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	関 秀 廣
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	根 城 安 伯

土 木 工 学 専攻主任

平 7. 4. 1	平 9. 3. 31	工学博士	佐 藤 敦 久
9. 4. 1	11. 3. 31	工学博士	須 田 熙
11. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	庄 谷 征 美
17. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	福 士 憲 一
19. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月 永 洋 一

建 築 工 学 専攻主任

平11. 4. 1	平15. 3. 31	工学博士	渡 邊 正 朋
15. 4. 1	18. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
18. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	滝 田 貢
20. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月 永 洋 一
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	竹 内 貴 弘

機 械 工 学 科 主任教授

昭47. 4. 1	昭50. 3. 31		塩 谷 喜 久 男
50. 4. 1	51. 4. 1		真 柳 義 行
51. 4. 2	57. 3. 31		淵 澤 定 敏
57. 4. 1	59. 3. 31		岩 津 功
59. 4. 1	平 3. 3. 31	工学博士	三 戸 曉
平 3. 4. 1	4. 3. 31	工学博士	槌 川 武 男
4. 4. 1	5. 3. 31	工学博士	高 橋 裕 男

機 械 工 学 科 長

平 5. 4. 1	平 7. 3. 31	工学博士	高 橋 裕 男
7. 4. 1	9. 3. 31	博士(工学)	加 賀 拓 也

平 9. 4. 1	平12. 3. 31	工学博士	高 橋 燦 吉
12. 4. 1	13. 3. 31	博士(工学)	加 賀 拓 也

機械情報技術学科長

平13. 4. 1	平15. 9. 30	博士(工学)	加 賀 拓 也
15.10. 1	20. 3. 31	工学博士	齋 藤 正 博
20. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	大 黒 正 敏
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	野 田 英 彦

産業機械工学科 主任教授

昭47. 8. 1	昭50. 7. 31		加 畑 信 一
50. 8. 1	51. 3. 31		友 兼 泰
51. 4. 1	54. 3. 31		真 柳 義 行
54. 4. 1	56. 3. 31		淵 澤 定 敏
56. 4. 1	58. 1. 31		岩 津 功
58. 2. 1	59. 3. 31	工学博士	三 戸 暁
59. 4. 2	60. 3. 31	工学博士	萱 場 孝 雄

電気工学科 主任教授

昭47. 4. 1	昭54. 3. 31	工学博士	門 脇 又 男
54. 4. 1	平元. 3. 31	工学博士	松 坂 知 行
平元. 4. 1	5. 3. 31	工学博士	増 田 陽 一 郎

電気工学科長

平 5. 4. 1	平11. 3. 31	工学博士	増 田 陽 一 郎
-----------	------------	------	-----------

電気電子工学科長

平11. 4. 1	平13. 3. 31	工学博士	増 田 陽 一 郎
13. 4. 1	15. 3. 31	工学博士	藤 田 成 隆

電子知能システム学科長

平15. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	藤 田 成 隆
18. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	坂 本 禎 智

第16 旧職員

平20. 4. 1 平22. 3. 31 工学博士 関 秀 廣

電気電子システム学科長

平22. 4. 1 平24. 3. 31 工学博士 関 秀 廣
 24. 4. 1 25. 3. 31 博士(工学) 川 又 憲
 25. 4. 1 28. 3. 31 博士(工学) 根 城 安 伯

土木工学科 主任教授

昭51. 4. 1 昭54. 3. 31 佐 藤 健 吉
 54. 4. 1 55. 3. 31 佐 藤 源 藏
 55. 4. 1 61. 3. 31 佐 藤 健 吉
 61. 4. 1 平 4. 3. 31 工学博士 川 島 俊 夫
 平 4. 4. 1 5. 3. 31 工学博士 佐 藤 敦 久

土木工学科長

平 5. 4. 1 平 9. 3. 31 工学博士 佐 藤 敦 久
 9. 4. 1 11. 3. 31 工学博士 須 田 熙
 11. 4. 1 13. 3. 31 工学博士 庄 谷 征 美

環境建設工学科長

平13. 4. 1 平17. 3. 31 工学博士 庄 谷 征 美
 17. 4. 1 19. 3. 31 工学博士 福 士 憲 一
 19. 4. 1 23. 3. 31 博士(工学) 熊 谷 浩 二
 23. 4. 1 25. 3. 31 博士(工学) 月 永 洋 一

建築工学科 主任教授

昭51. 4. 1 昭56. 3. 31 二 宮 太 平
 56. 4. 1 平 2. 3. 31 工学博士 佐 々 木 嘉 彦
 平 2. 4. 1 5. 3. 31 工学博士 内 山 和 夫

建築工学科長

平 5. 4. 1 平15. 3. 31 工学博士 渡 邊 正 朋
 15. 4. 1 18. 3. 31 博士(工学) 熊 谷 浩 二

平18. 4. 1	平20. 3. 31	工学博士	滝田	貢
20. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊谷浩	二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月永洋	一
25. 4. 1	27. 3. 31	博士(工学)	竹内貴弘	

土木建築工学科長

平21. 4. 1	平23. 3. 31	博士(工学)	熊谷浩	二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月永洋	一

エネルギー工学科 主任教授

昭57. 4. 1	昭58. 1. 31		淵澤定敏	
58. 2. 1	平 2. 3. 31	工学博士	田原浩	一
平 2. 4. 1	5. 3. 31	工学博士	梅森	肅

エネルギー工学科長

平 5. 4. 1	平 9. 3. 31	工学博士	高橋燦	吉
9. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	伊藤幸雄	
13. 4. 1	17. 3. 31	博士(工学)	岡村隆成	

システム情報工学科長

平11. 4. 1	平13. 3. 31	工学博士	松坂知行	
13. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	苦米地宣裕	
17. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	栗原伸夫	

生物環境化学工学科長

平14. 4. 1	平19. 3. 31	博士(工学)	岡村隆成	
19. 4. 1	21. 3. 31	工学博士	伊藤幸雄	

バイオ環境工学科長

平21. 4. 1	平23. 3. 31	工学博士	伊藤幸雄	
23. 4. 1	28. 3. 31	農学博士	若生豊	

第16 旧職員

感性デザイン学科長

平17. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	坂 本 禎 智
18. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	長谷川 明
20. 4. 1	28. 3. 31	工学博士	坂 本 禎 智
28. 4. 1	29. 3. 31	博士(工学)	小 嶋 高 良

一般教育部長

昭48. 4. 1	昭52. 3. 31		沢 口 剛 雄
52. 4. 1	54. 8. 31		内 川 健 吾
54. 9. 1 (代行)	55. 3. 31		船 山 良 三
55. 4. 1	56. 3. 31	理学博士	伊 達 蕙
56. 4. 1	62. 3. 31	理学修士	本 間 健 祐
62. 4. 1	平 6. 3. 31	工学博士	能 登 文 敏

総合教育センター長

平 6. 4. 1	平 9. 3. 31	工学博士	杉 田 慶 一 郎
9. 4. 1	13. 3. 31	理学博士	田 中 昇
13. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	村 中 健

基礎教育研究センター長

平19. 5. 1	平20. 3. 31	工学博士	藤 田 成 隆
20. 4. 1	23. 3. 31	工学博士	福 士 憲 一
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二

一般教育部副部長

昭52. 9. 1	昭54. 8. 31		船 山 良 三
-----------	------------	--	---------

食品工学研究所長

昭63. 4. 1	平 6. 3. 31	工学博士	槌 川 武 男
平 6. 4. 1	7. 3. 31	工学博士	高 橋 裕 男
7. 4. 1	11. 3. 31	博士(工学)	加 賀 拓 也
11. 4. 1	13. 3. 31	理学博士	田 中 昇
13. 4. 1	14. 3. 31	博士(工学)	岡 村 隆 成

情報システム工学研究所長

昭63. 4. 1	平13. 3. 31	工学博士	松 坂 知 行
-----------	------------	------	---------

構造工学研究所長

平 5. 4. 1	平 9. 3. 31	工学博士	佐 藤 敦 久
9. 4. 1	11. 3. 31	工学博士	須 田 熙
11. 4. 1	14. 3. 31	工学博士	庄 谷 征 美

異分野融合科学研究所長

平13. 4. 1	平17. 3. 31	工学博士	村 中 健
17. 4. 1	18. 3. 31	工学博士	庄 谷 征 美
18. 4. 1	19. 3. 31	博士(工学)	岡 村 隆 成
19. 4. 1	22. 4. 21	工学博士	阿 部 勝 憲

エネルギー環境システム研究所長

平22. 4. 22	平27. 3. 31	工学博士	阿 部 勝 憲
------------	------------	------	---------

学 務 部 長

昭48. 4. 1	昭49. 8. 31		加 畑 信 一
49. 9. 1	54. 3. 31		川 守 田 孝 吉
54. 4. 1	56. 3. 31		佐 藤 健 吉
56. 4. 1	61. 3. 31	理学博士	伊 達 蕙
平18. 4. 1	平19. 3. 31	工学博士	藤 田 成 隆
19. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	福 士 憲 一
25. 4. 1	28. 3. 31	工学博士	大 黒 正 敏

学 務 部 次 長

昭48. 4. 1	昭49. 8. 31		武 内 平 八 郎
55. 4. 2	59. 3. 31		高 橋 久 太 郎
平18. 4. 1	平19. 2. 28	博士(工学)	福 原 長 寿
18. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	関 秀 廣
18. 4. 1	19. 3. 31		大 野 裕 司
19. 4. 1	20. 3. 31	博士(工学)	鈴 木 寛

第16 旧職員

平19. 4. 1	平23. 3. 31	農学博士	若生	豊
20. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	竹内	貴弘
23. 4. 1	24. 3. 31	博士(工学)	川又	憲
24. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	竹内	貴弘
23. 4. 1	28. 3. 31	博士(情報工学)	藤岡	与周

学 生 部 長

昭47. 4. 1	昭48. 3. 31	理学博士	金塚	文哉
61. 4. 1	平 4. 3. 31	理学博士	伊達	蕙
平 4. 4. 1	11. 3. 31	工学博士	庄谷	征美
11. 4. 1	12. 3. 31	理学博士	清野	大樹
12. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	大内	清行
13. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	栗原	伸夫
17. 4. 1	18. 3. 31	博士(工学)	野田	英彦

学 生 部 次 長

平 2. 9. 1	平 4. 3. 31	工学博士	庄谷	征美
7. 4. 1	9. 3. 31	理学博士	田中	昇
9. 4. 1	11. 3. 31	理学博士	清野	大樹
11. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	藤田	成隆
12. 4. 1	15. 3. 31		池田	政勝
13. 4. 1 (学生指導担当)	17. 3. 31	博士(工学)	橋本	典久
13. 4. 1 (就職開拓担当)	18. 3. 31	工学博士	宮川	孝

教 務 部 長

昭47. 4. 1	昭48. 3. 31		長沢	隆次
61. 4. 1	平 6. 3. 31	工学博士	槌川	武男
平 6. 4. 1	11. 3. 31	工学博士	松坂	知行
11. 4. 1	12. 3. 31	工学博士	大内	清行
12. 4. 1	18. 3. 31	工学博士	長谷川	明

教 務 部 次 長

平元. 4. 1	平 5. 3. 31	工学博士	鈴木	幸三
----------	------------	------	----	----

第16 旧職員

平 5. 4. 1	平 7. 3. 31	理学博士	田 中	昇
7. 4. 1	11. 3. 31	工学博士	大 内	清 行
11. 4. 1	18. 3. 31		桃 井	龍 慈
11. 4. 1	12. 3. 31	工学博士	長 谷 川	明
12. 4. 1	14. 3. 31	工学博士	関	秀 廣
14. 4. 1 (教務担当)	15. 9. 30	工学博士	齋 藤	正 博
11. 4. 1 (学生募集担当)	18. 3. 31		桃 井	龍 慈
15.10. 1 (教務担当)	18. 3. 31	工学博士	佐 藤	正 毅
15. 4. 1	18. 3. 31		大 野	裕 司

入 試 部 長

平18. 4. 1	平19. 3. 31	博士(工学)	熊 谷	浩 二
19. 4. 1	22. 3. 31	博士(工学)	野 田	英 彦
22. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	齋 藤	正 博
25. 4. 1	28. 3. 31	工学博士	関	秀 廣

入 試 部 次 長

平18. 4. 1	平19. 3. 31	博士(工学)	鈴 木	寛
19. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	大 黒	正 敏
18. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	月 永	洋 一
20. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	鈴 木	寛
23. 4. 1	24. 3. 31	博士(工学)	竹 内	貴 弘
24. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	小 林	正 樹
25. 4. 1	27. 3. 31	博士(理学)	小 比 類 卷	孝 幸
27. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	鶴 田	猛 彦

大学改革室長

平 4. 3. 1	平 7. 3. 31	工学博士	川 島	俊 夫
7. 4. 1	11. 3. 31	工学博士	高 橋	燦 吉
11. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	須 田	熙
13. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	増 田	陽 一郎
19. 4. 1 (事務取扱)	19. 4. 30	工学博士	藤 田	成 隆

第16 旧職員

大学改革室次長

平15. 4. 1 平19. 4. 30 池 田 政 勝

教育研究戦略室長

平17. 4. 1 平18. 3. 31 工学博士 庄 谷 征 美
 18. 4. 1 19. 3. 31 工学博士 藤 田 成 隆
 19. 4. 1 (事務取扱) 19. 4. 30 工学博士 藤 田 成 隆

教育研究戦略室次長

平18. 4. 1 平19. 3. 31 工学博士 関 秀 廣

図 書 館 長

昭47. 4. 1 昭48. 3. 31 岡 本 堅 次
 48. 4. 1 51. 3. 31 川 守 田 孝 吉
 51. 4. 1 52. 3. 31 友 兼 泰
 52. 4. 1 54. 3. 31 武 内 平 八 郎
 54. 4. 1 55. 3. 31 理学博士 伊 達 蕙
 55. 4. 1 59. 3. 31 船 山 良 三
 59. 4. 1 平 4. 3. 31 高 橋 久 太 郎
 平 4. 4. 1 7. 3. 31 工学博士 川 島 俊 夫
 7. 4. 1 9. 3. 31 工学博士 杉 田 慶 一 郎
 9. 4. 1 11. 3. 31 理学博士 田 中 昇
 11. 4. 1 12. 3. 31 博士(工学) 加 賀 拓 也
 12. 4. 1 18. 3. 31 理学博士 清 野 大 樹
 18. 4. 1 19. 3. 31 博士(工学) 野 田 英 彦
 19. 4. 1 20. 3. 31 工学博士 関 秀 廣
 20. 4. 1 22. 3. 31 工学博士 齋 藤 正 博
 22. 4. 1 23. 3. 31 博士(工学) 野 田 英 彦
 23. 4. 1 25. 3. 31 博士(工学) 熊 谷 浩 二

図 書 館 次 長

昭49. 9. 1 昭51. 3. 31 船 山 良 三
 平13. 4. 1 平17. 3. 31 工学博士 福 士 憲 一

第16 旧職員

平17. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	小野	陽
18. 4. 1	21. 3. 31	文学修士	小林 繁	吉
21. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	武山	泰
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	鈴木	寛

工作工場長

昭48.10. 1	昭50. 7. 31		加畑 信	一
50. 8. 1	53. 3. 31		友兼	泰
53. 4. 1	55. 3. 31		赤沢 唯	一
55. 4. 1	57. 3. 31	工学博士	小松崎	年 雄
57. 4. 1	58. 3. 31	工学修士	小山 信	次
58. 4. 1	60. 3. 31	工学博士	三戸	暁
60. 4. 1	平 3. 3. 31	工学博士	萱場 孝	雄
平 3. 4. 1	6. 3. 31	工学博士	鈴木 幸	三

工作技術センター所長

平 6. 4. 1	平 7. 3. 31	工学博士	鈴木 幸	三
7. 4. 1	9. 3. 31	工学博士	高橋 燦	吉
9. 4. 1	15. 9. 30	博士(工学)	加賀 拓	也
15.10. 1	20. 3. 31	工学博士	齋藤 正	博
20. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	大黒 正	敏
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	野田 英	彦

企画室長

昭54. 4. 1	平元. 3. 31	工学博士	増田 陽一郎
-----------	-----------	------	--------

事務部長

昭50. 4. 1	昭63. 3. 31		野坂 博也
63. 4. 1	平 9. 3. 31		及川 富司
平 9. 4. 1 (代理)	11. 3. 31		福井 俊夫
11. 4. 1	23. 3. 31		福井 俊夫
23. 4. 1	24. 3. 31		大野 裕司
24. 4. 1	28. 3. 31		工藤 利治

第16 旧職員

事務部次長

平28. 4. 1 平29. 3. 31 松 坂 博 行

社会連携学術推進室長

平19. 5. 1 平22. 3. 31 工学博士 藤 田 成 隆
 22. 4. 1 25. 3. 31 工学博士 関 秀 廣
 25. 4. 1 28. 3. 31 博士(工学) 熊 谷 浩 二
 28. 4. 1 29. 3. 31 博士(工学) 石 山 俊 彦

社会連携学術推進室次長

平19. 5. 1 平21. 3. 31 池 田 政 勝
 22. 4. 1 23. 3. 31 博士(工学) 川 又 憲
 23. 4. 1 27. 3. 31 博士(工学) 佐 藤 学
 27. 4. 1 28. 3. 31 博士(工学) 石 山 俊 彦

庶務課長

昭47. 4. 1 昭50. 3. 31 近 藤 宏
 50. 4. 1 54. 3. 31 野 坂 博 也
 54. 4. 1 57. 3. 31 角 田 健
 57. 4. 1 62. 3. 31 柳 谷 透
 62. 4. 1 平 5. 3. 31 福 井 俊 夫
 平 5. 4. 1 7. 3. 31 日下部 紗 恵 子
 7. 4. 1 9. 3. 31 池 田 政 勝
 9. 4. 1 14. 3. 31 西田中 裕 祥
 14. 4. 1 21. 3. 31 山 本 富 男

学事課長

平21. 4. 1 平22. 3. 31 山 本 富 男
 22. 4. 1 23. 3. 31 佐々木 宏
 23. 4. 1 24. 3. 31 大 野 裕 司
 24. 4. 1 (代行) 25. 3. 31 青 井 信 達
 25. 4. 1 26. 3. 31 大 野 和 弘
 26. 4. 1 28. 3. 31 得 丸 雅 夫

会 計 課 長

昭48. 4. 1	昭50. 3. 31	角 田	健
54. 4. 1	58. 3. 31	角 田	健
58. 4. 1	62. 3. 31	福 井	俊 夫
62. 4. 1	平 4. 3. 31	大 野	裕 司
平 4. 4. 1	9. 3. 31	泉 山	幸 博
9. 4. 1	12. 3. 31	工 藤	利 治
12. 4. 1	17. 3. 31	長 浜	沖 夫
17. 4. 1	19. 3. 31	佐々木	宏
19. 4. 1	21. 3. 31	橋 本	由美子

施 設 課 長

昭49. 4. 1	平 9. 3. 31	苦米地	正 己
平 9. 4. 1	21. 3. 31	大 塚	哲

教 務 課 長

昭47. 4. 1	昭50. 3. 31	経済学修士	福 田	直 人
50. 4. 1	55. 3. 31		佐々木	一
55. 4. 1	62. 3. 31		苦米地	正 己
62. 4. 1	平 4. 3. 31		佐 藤	忠 義
平 4. 4. 1	9. 3. 31		大 野	裕 司
9. 4. 1	14. 3. 31		山 本	富 男
14. 4. 1	19. 3. 31		大 野	裕 司
19. 4. 1	22. 3. 31		工 藤	利 治
22. 4. 1	23. 3. 31		山 本	富 男

入 試 課 長

平 5. 4. 1	平 9. 3. 31	福 井	俊 夫
9. 4. 1	12. 3. 31	佐々木	宏
12. 4. 1	17. 3. 31	工 藤	利 治
17. 4. 1	19. 3. 31	長 浜	沖 夫
19. 4. 1	28. 3. 31	松 坂	博 行

第16 旧職員

学 生 課 長

昭47. 4. 1	昭50. 3. 31
50. 4. 1	55. 3. 31
55. 4. 1	62. 3. 31
62. 4. 1	平 9. 3. 31
平 9. 4. 1	12. 3. 31
12. 4. 1	17. 3. 31
17. 4. 1	19. 3. 31
19. 4. 1	21. 3. 31
21. 4. 1	22. 3. 31
22. 4. 1	23. 3. 31
23. 4. 1	26. 3. 31
26. 4. 1 (代行)	28. 3. 31

佐々木 一 人
苔米地 正 己
佐藤 忠 義
大塚 哲 勝
池田 政 勝
佐々木 宏
工藤 利 治
高坂 茂
工藤 利 治
山本 富 男
栗橋 秀 行
笹田 公 烈

就 職 課 長

昭49. 8. 15	昭63. 3. 31
63. 4. 1	平 5. 3. 31
平 5. 4. 1	8. 3. 31
8. 4. 1	9. 3. 31
9. 4. 1	11. 3. 31
11. 4. 1	15. 3. 31
15. 4. 1	19. 3. 31
19. 4. 1	22. 3. 31
22. 4. 1	24. 3. 31
24. 4. 1	25. 3. 31

及川 富 司
日下部 紗 恵子
大塚 哲 勝
倉内 貞 春
池田 政 勝
小西 孝 則
高坂 茂
佐々木 宏
橋本 由美子
佐々木 宏

大学改革室課長

平15. 4. 1	平16. 3. 31
16. 4. 1	19. 4. 30

小西 孝 則
池田 政 勝

社会連携学術推進室課長

平19. 5. 1	平21. 3. 31
21. 4. 1	28. 3. 31

池田 政 勝
大野 和 弘

図書館館長補佐

平 7. 4. 1	平10. 3. 31	高 松 清 治
-----------	------------	---------

図書館事務長

昭62. 4. 1	平17. 3. 31	田 名 部 正 哉
-----------	------------	-----------

図書館・情報事務室事務長

平19. 4. 1	平22. 3. 31	小 西 孝 則
22. 4. 1 (代行)	24. 3. 31	得 丸 雅 夫
24. 4. 1	26. 3. 31	得 丸 雅 夫

工作工場副工場長

昭47. 7. 21	昭60. 1. 9	武 藤 忠 夫
60. 4. 1	平元. 9. 30	佐 藤 和 夫

2 退任・転任教員（教授・助教授・准教授・講師）

(採 用)	(退任・転任)	(学 位)	(氏 名)
-------	---------	-------	-------

大 学 院 特 任 教 授

平16. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	須 田 熙 一
17. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	豊 田 淳 一

機 械 工 学 科 教 授

昭47. 4. 1	昭51. 3. 31		平 賀 広 一
47. 4. 1	52. 3. 31		塩 谷 喜 久 男
52. 4. 1	59. 3. 31		岩 津 功
54. 8. 1	平 2. 3. 31		宗 重 雄
57. 4. 2	3. 3. 31	工学博士	三 戸 暁
59. 4. 2	3. 3. 31	工学博士	萱 場 孝 雄
昭49. 4. 1	5. 3. 31	工学博士	前 森 健 一
60. 5. 1	6. 3. 31	工学博士	槌 川 武 男
平元. 4. 1	8. 3. 31	工学博士	鈴 木 幸 三

第16 旧職員

平 4. 4. 1	平 8. 3. 31		三ヶ田 賢 次
9. 4. 1	10. 3. 31	工学博士	藤 澤 二三夫
5. 5. 1	11. 3. 31	理学博士	鎌 田 治
3. 4. 1	11. 12. 31	工学博士	高 橋 裕 男

機械情報技術学科 教 授

昭53. 4. 1	平14. 3. 31	博士(工学)	木 村 克 彦
49. 4. 1	16. 3. 31	博士(工学)	加 賀 拓 也
平 3. 5. 1	18. 3. 31	工学博士	菅 原 章
12. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	小 野 陽
昭51. 4. 15	21. 3. 31	工学博士	宮 川 孝
平 3. 5. 1	23. 3. 31	工学博士	佐 藤 松 雄
4. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	大 内 清 行
15. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	松 崎 晴 美
12. 4. 1	29. 3. 31	工学博士	齋 藤 正 博

産業機械工学科 教 授

昭47. 4. 1	昭50. 7. 31		加 畑 信 一
50. 4. 2	53. 3. 31		友 兼 泰
47. 4. 1	54. 7. 4		武 内 平 八 郎
48. 4. 1	55. 3. 31		真 柳 義 行
48. 5. 1	58. 3. 31		赤 澤 唯 一

電 気 工 学 科 教 授

昭48. 4. 1	昭52. 11. 24		入 江 泰
48. 4. 1	56. 3. 31		川 守 田 孝 吉
51. 4. 1	平 3. 3. 31	工学博士	戸 村 文 夫
57. 4. 1	5. 3. 31	工学博士	大 川 知
56. 4. 1	8. 3. 31	工学博士	志 満 嘉 夫

電 気 電 子 工 学 科 教 授

平 7. 4. 1	平13. 3. 31	工学博士	鹿 野 哲 生
6. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	菅 原 實

昭47. 4. 1 平14. 3. 31 佐々木 一人

電子知能システム学科 教授

昭51. 4. 1 平15. 8. 31 工学博士 十文字 正 憲
 平10. 4. 1 17. 3. 31 工学博士 豊田 淳 一
 昭47. 4. 1 19. 3. 31 工学博士 増田 陽一郎
 47. 4. 1 22. 3. 31 工学博士 小松崎 年 雄

電気電子システム学科 教授

昭48. 4. 1 平23. 3. 31 工学博士 佐藤 正 毅
 平 4. 4. 1 25. 3. 31 博士(工学) 川又 憲
 24. 4. 1 26. 3. 31 工学博士 濱島 高太郎

土木工学科 教授

昭51. 4. 2 昭55. 10. 31 佐藤 源 藏
 53. 4. 1 60. 3. 31 福井 平之丞
 48. 6. 1 61. 3. 31 佐藤 健 吉
 61. 4. 1 平 9. 8. 22 工学博士 川島 俊 夫
 平 4. 4. 1 12. 3. 31 工学博士 佐藤 敦 久
 昭53. 4. 1 12. 3. 31 博士(工学) 佐藤 米 司
 55. 4. 1 13. 3. 31 理学博士 成田 小二郎
 51. 4. 1 13. 3. 31 工学博士 諸戸 靖 史

環境建設工学科 教授

平 9. 4. 1 平16. 3. 31 工学博士 須田 熙
 昭52. 4. 1 17. 3. 31 博士(工学) 杉田 修 一
 48. 4. 1 20. 3. 31 理学博士 田中 昇
 47. 4. 1 21. 3. 31 理学博士 坂尻 直 巳

建築工学科 教授

昭51. 10. 1 昭52. 3. 31 工学博士 高橋 武 雄
 54. 4. 1 57. 3. 31 久慈 次 男
 51. 4. 1 59. 3. 31 二宮 太 平

第16 旧職員

昭55. 4. 2	平 2. 3. 31	工学博士	佐々木	嘉彦
54. 4. 2	3. 3. 31		和田	眞言
54. 5. 1	4. 9. 15		真山	文彦
61. 4. 1	6. 3. 31	工学博士	内山	和夫
53. 4. 2	17. 3. 31	工学博士	伊藤	敬一
平 6. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	坂本	磐雄
昭51. 4. 1	17. 9. 15	工学修士	高島	成侑
52. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	渡邊	正朋

土木建築工学科 教授

昭59. 4. 1	平22. 6. 1	工学博士	庄谷	征美
52. 5. 1	24. 3. 31	工学博士	毛呂	眞
平14. 4. 1	24. 3. 31		桃井	龍慈
18. 4. 1	26. 3. 31	博士(工学)	陳	沛山
昭52. 4. 1	28. 3. 31	工学博士	月館	敏栄
平 9. 4. 1	29. 3. 31	博士(工学)	橋本	典久

エネルギー工学科 教授

昭57.10. 1	平 2. 3. 31	工学博士	江草	龍男
57. 5. 1	4. 3. 31	工学博士	田原	浩一
58.10. 1	9. 3. 31	工学博士	張	正生
平 3. 4. 1	9. 3. 31	工学博士	岩谷	高四郎
10. 4. 1	11. 9. 15	博士(工学)	土屋	敬一
5. 4. 1	12. 3. 31	工学博士	杉田	慶一郎
6. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	平戸	瑞穂
昭61. 4. 1	14. 3. 31	工学博士	梅森	肅
54. 4. 2	14. 3. 31	理学修士	本間	健祐

システム情報工学科 教授

平10. 4. 1	平15. 3. 31	理学博士	奈良	久
昭57. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	内山	晴夫
47. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	松坂	知行
48. 4. 1	20. 3. 31	理学修士	尾崎	康弘

昭51. 4. 15	平21. 3. 31	理学博士	清野大樹
49. 4. 1	22. 3. 31	工学博士	苦米地宣裕
平10. 4. 1	29. 3. 31	工学博士	栗原伸夫
14. 4. 1	29. 3. 31	博士(工学)	高橋良英

生物環境化学工学科 教授

昭52. 4. 1	平15. 9. 11	理学博士	大西誠
63. 4. 1	17. 3. 31	農学博士	奥田愼一
平9. 4. 1	19. 2. 28	博士(工学)	福原長寿
昭47. 4. 1	20. 3. 31	文学修士	竹園洋子
48. 4. 1	21. 3. 31	博士(工学)	小山信次

バイオ環境工学科 教授

平12. 4. 1	平22. 3. 31	博士(工学)	岡村隆成
3. 4. 1	24. 3. 31	工学博士	伊藤幸雄
3. 4. 1	25. 3. 31	農学博士	貝守昇
昭53. 4. 1	26. 3. 31	工学博士	青木秀敏
61. 4. 1	26. 3. 31	工学博士	村中健

感性デザイン学科 教授

昭52. 4. 1	平20. 3. 31		澤田紘次
52. 10. 1	26. 3. 31	博士(工学)	梅津光男
55. 4. 1	27. 3. 31	文学修士	大津正道
52. 4. 1	29. 3. 31	博士(工学)	小嶋高良
53. 4. 1	29. 3. 31	文学修士	水沼和夫
60. 4. 1	29. 3. 31	教育学修士	高橋康造
平22. 4. 1	29. 3. 31		田村充治

一般教育部 教授

昭47. 4. 1	昭47. 9. 30	文学博士	野沢静證
47. 4. 1	48. 3. 31		岡本堅次
47. 4. 1	52. 3. 31		百岡胤正
47. 4. 1	53. 3. 31		長沢隆次

第16 旧職員

昭47. 4. 1	昭53. 3. 31	理学博士	金 塚 文 哉
48. 4. 1	53. 3. 31		横 岡 雅 雄
47. 4. 1	53. 3. 31		小 倉 一 衛
47. 4. 1	53. 11. 16		鳥 山 俊 英
47. 4. 1	55. 3. 31		内 川 健 吾
49. 4. 1	55. 3. 31	文学博士	古 川 忠 次 郎
48. 4. 1	56. 12. 31		澤 口 剛 雄
49. 4. 1	59. 3. 31		船 山 良 三
50. 4. 2	60. 3. 31		岩 館 広 忠
49. 4. 1	60. 3. 31	文学修士	川 上 美 津 子
47. 4. 1	63. 9. 30		大 木 実
55. 4. 2	平 4. 3. 31		高 橋 久 太 郎
47. 4. 1	5. 3. 31	理学博士	岡 田 忠 成
62. 4. 1	6. 3. 31	工学博士	能 登 文 敏

総合教育センター 教 授

昭55. 4. 1	平13. 3. 31	文学修士	平 山 玄 九
平 8. 4. 1	13. 3. 31	教育学博士	戸 田 金 一
昭47. 4. 1	14. 3. 31	経済学修士	福 田 直
47. 5. 15	16. 3. 31		勝 村 靖 夫
平12. 4. 1	16. 3. 31	教育学修士	高 野 邦 夫

基礎教育研究センター 教 授

昭48. 4. 1	平23. 3. 31	理学修士	目 修 三
52. 4. 1	26. 3. 31	文学修士	小 林 繁 吉
63. 4. 1	29. 3. 31	文学修士	渡 辺 武 秀

基礎教育研究センター 講 師

平24. 4. 1	平29. 3. 31	Doctor of Philosophy	斎 藤 明 宏
-----------	------------	----------------------	---------

食品工学研究所 教 授

昭52. 4. 2	平 9. 3. 31	理学博士	伊 達 蕙
-----------	------------	------	-------

異分野融合科学研究所		教 授				
平 6. 4. 1		平18. 3. 31	工学博士	塩 井	幸 武	
機 械 工 学 科		助 教 授				
昭48. 4. 1		昭62. 3. 31	工学博士	伊 藤	勝 悦	
51. 4. 1		平 2. 3. 31	工学博士	小 林	道 明	
機械情報技術学科		准 教 授				
平 2. 4. 1		平24. 3. 31	文学修士	町 屋	昌 明	
電 気 工 学 科		助 教 授				
昭47. 4. 1		昭59. 3. 31	工学修士	葛 西	清 和	
57. 4. 1		平 9. 3. 31	工学博士	太 田	悟	
電子知能システム学科		准 教 授				
昭47. 4. 1		平21. 3. 31		横 地	弓 夫	
土 木 工 学 科		助 教 授				
昭60. 4. 1		平 7. 3. 31	工学博士	飛 田	善 雄	
52. 4. 1		8. 3. 31		岩 渕	清 行	
59. 9. 1		10. 3. 31	工学博士	西 田	修 三	
平 7. 4. 1		11. 3. 31	博士(工学)	楊	俊 傑	
建 築 工 学 科		助 教 授				
昭55. 4. 1		平 8. 3. 31	工学博士	戸 部	栄 一	
土木建築工学科		准 教 授				
平17. 4. 1		平25. 7. 31	博士(工学)	石 川	宏 之	
エネルギー工学科		助 教 授				
昭58. 4. 1		昭63. 3. 31	理学博士	鈴 木	健 訓	

第16 旧職員

システム情報工学科		助 教 授			
昭59. 5. 1	平14. 3. 31		理学修士	大 黒	茂
バイオ環境工学科		准 教 授			
平13. 4. 1	平29. 3. 31		経済学修士	岩 村	満
感性デザイン学科		准 教 授			
平20. 4. 1	平25. 9. 16			関 川	浩 志
昭53. 4. 1	26. 3. 31		博士（工学）	木 村	昭 穂
48. 4. 1	28. 3. 31			和 田	敬 世
一 般 教 育 部		助 教 授			
昭47. 4. 1	昭51. 9. 30		理学博士	小 幡	禎 佑
47. 4. 1	56. 4. 30			斉 藤	太 治 男
55. 4. 1	59. 3. 31		教育学修士	加 澤	恒 雄
53. 4. 1	63. 3. 15			安 本	武 正
55. 4. 1	63. 3. 31		文学修士	渡 辺	洋 一
54. 4. 1	63. 3. 31		理学修士	中 川	清 和
55. 4. 1	平 2. 3. 31		理学博士	関 川	久 男
63. 4. 1	5. 3. 31		文学修士	松 岡	和 生
60. 4. 1	6. 3. 31		文学修士	藤 田	秀 樹
総合教育センター		助 教 授			
昭51. 4. 1	平 7. 4. 19		文学修士	大 下	由 宮 子
基礎教育研究センター		准 教 授			
平 6. 4. 1	平22. 3. 31		文学修士	高 橋	哲 徳
昭48. 4. 1	28. 3. 31			和 田	敬 世
異分野融合科学研究所		助 教 授			
昭52. 4. 1	平19. 3. 31		工学修士	穂 山	和 男

土木工学科	講 師		
昭51. 4. 1	昭59. 3. 31	工学修士	高野芳裕
環境建設工学科	講 師		
平12. 4. 1	平18. 3. 31	博士(工学)	佐藤久
土木建築工学科	講 師		
平元. 4. 1	平23. 3. 31		柄本和吉
感性デザイン学科	講 師		
平18. 4. 1	平24. 3. 31	博士(学術)	徐明仿
一般教育部	講 師		
昭52. 4. 2	昭55. 3. 31	文学修士	佐藤ちゑ子
54. 11. 1	55. 9. 27		ハロルド W. ハケット
52. 4. 1	58. 7. 31	文学修士	岩崎光洋
55. 4. 1	60. 3. 31	文学修士	森茂利
63. 4. 1	平 2. 2. 28		呉韻珊
59. 4. 1	3. 3. 31	文学修士	安田淳
総合教育センター	講 師		
平 4. 4. 1	平11. 3. 31	教育学修士	David Allen Riley
9. 4. 1	12. 3. 31		大島光子
異分野融合科学研究所	講 師		
昭63. 4. 1	平17. 9. 15	工学博士	安藤浩司

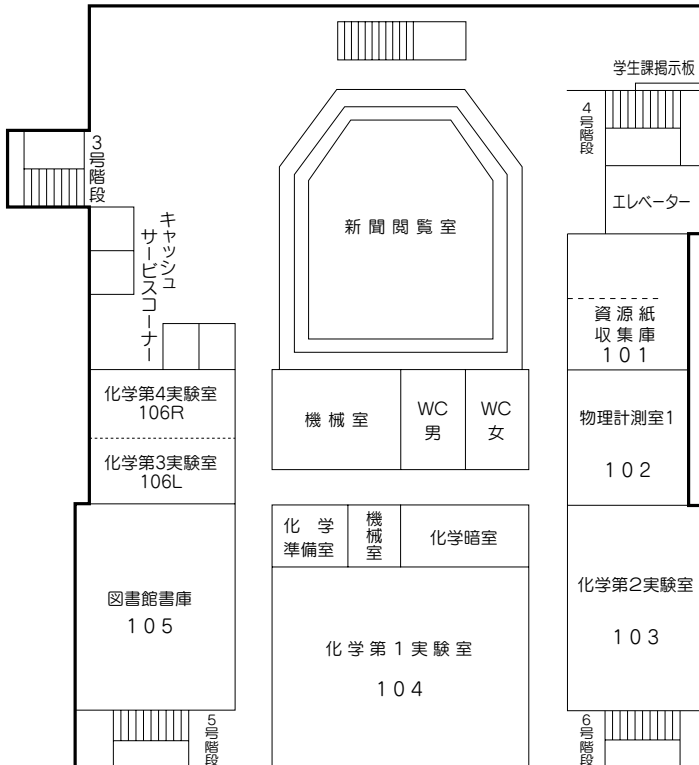
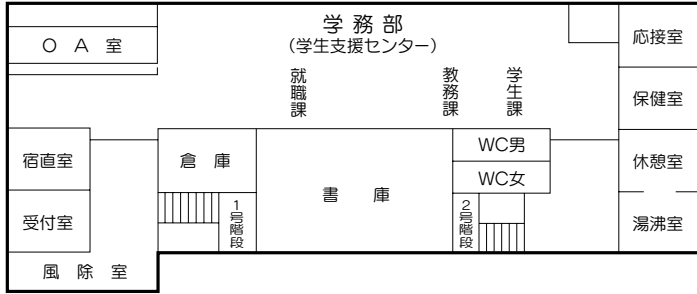
第17 校 地 ・ 校 舎

1 校地・校舎面積

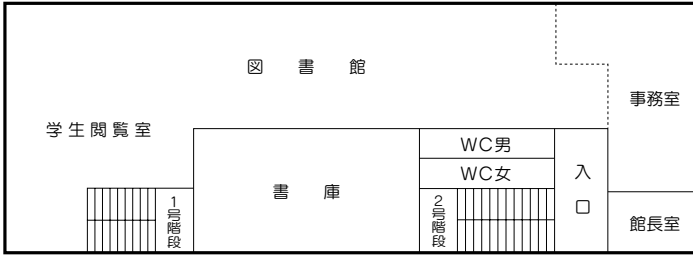
区 分	校舎延面積 (㎡)	校 地 (㎡)
本 館	9,132	校舎敷地 75,042
教養棟・地域産業総合研究所	4,898	
教 養 棟 旧 館	2,133	
機械情報技術専門棟	5,120	
電気電子システム専門棟	4,228	
システム情報工学専門棟	3,700	
バイオ環境工学専門棟	3,622	
土木建築工学専門棟・土木工学専門棟	4,452	
土木建築工学専門棟・建築工学専門棟	4,565	
感性デザイン専門棟	4,521	
地域産業総合研究所・構造工学実験棟	1,468	
工作技術センター	1,096	
自動車工学センター	488	
体 育 館	3,251	
尚 志 館	882	
メディアセンター	555	
ボ イ ラ ー 棟	270	
学 友 会 館	1,450	
合 宿 所	221	
室内ゴルフ練習場	167	
室 内 練 習 場	650	
渡り廊下 倉庫	960	
屋 外 体 育 施 設		運 動 場 236,048
陸上競技場 (400 Mトラック)		
サッカー場 3面		
ラグビー場 2面		
野 球 場 3面		
水泳プール (50 M×8コース)		
テニスコート 6面		
アーチェリー場		
キャンプ場		
運動公園 その他		
駐 車 場		16,571
合 計	57,829	327,661

2 研究室・講義室等配置

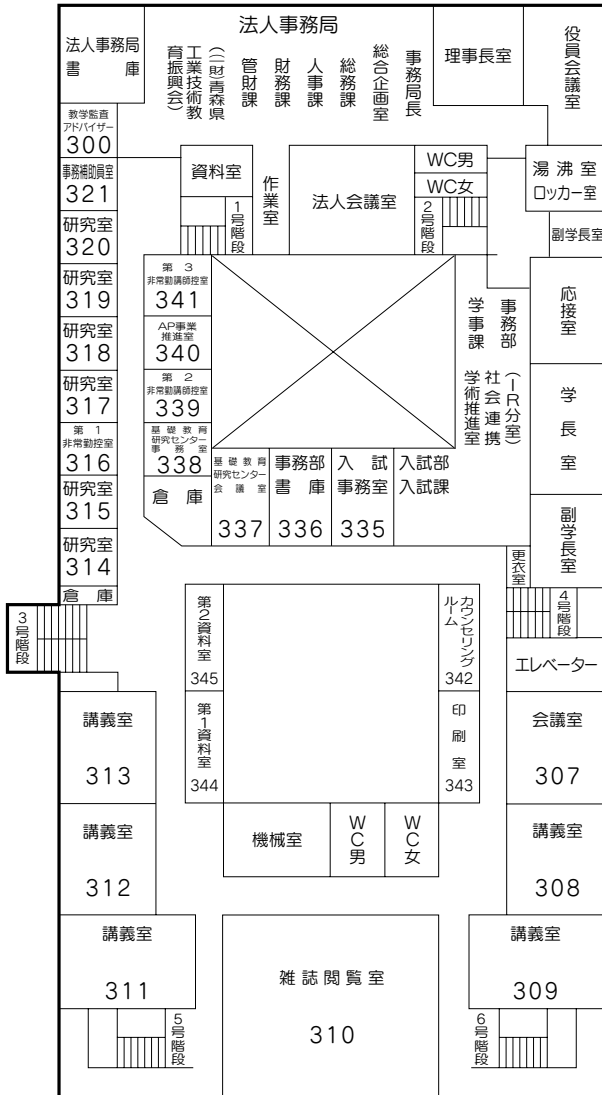
本館 1 F



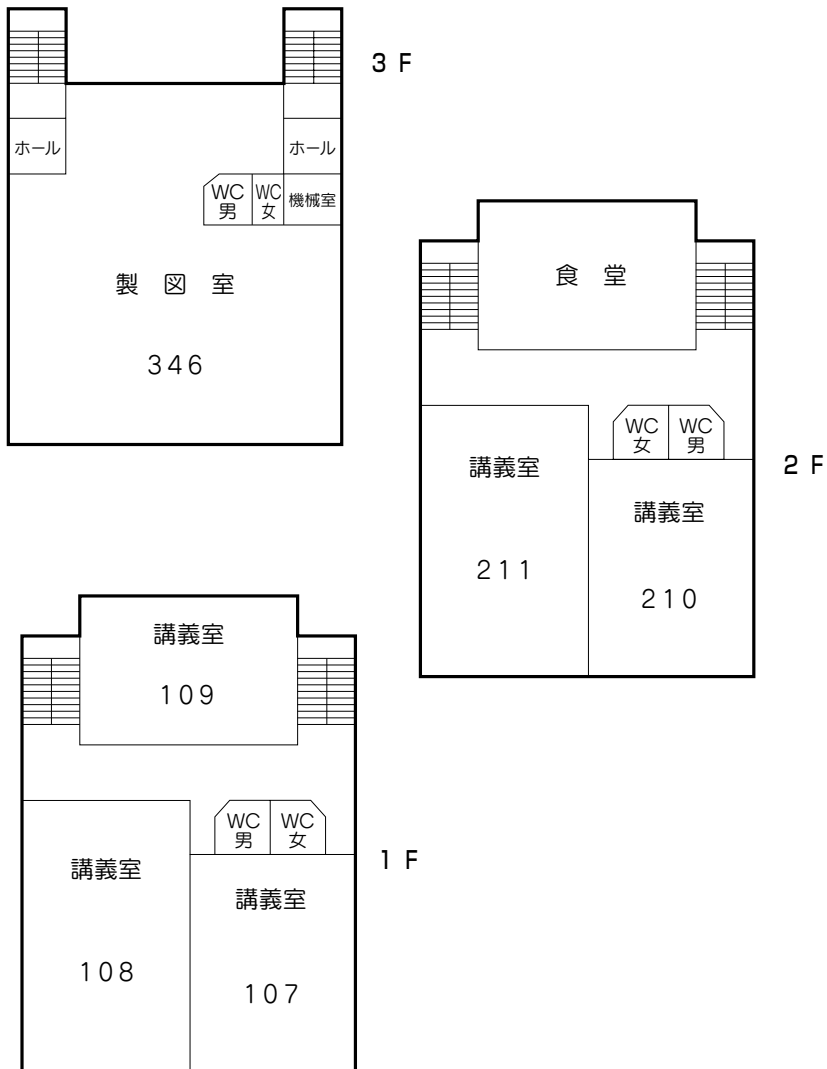
本館 2 F



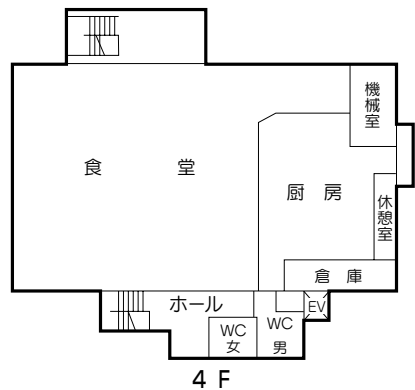
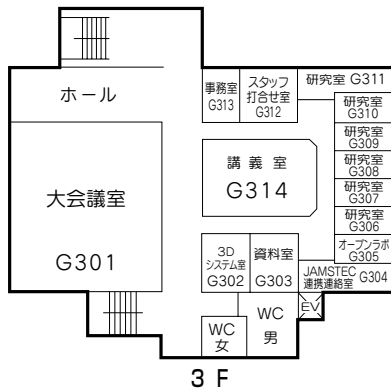
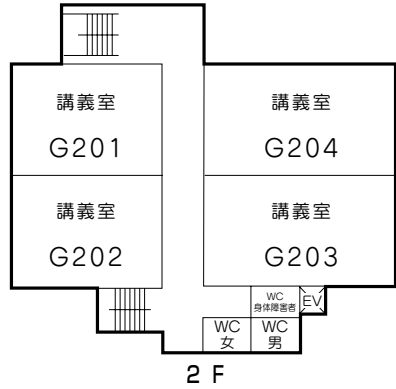
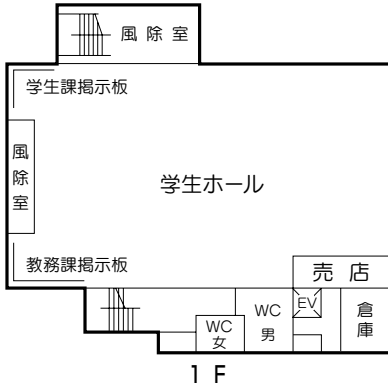
本館 3 F



教養棟旧館



教養棟・地域産業総合研究所



機械情報技術専門棟

WC 男	学生居室	研究室	学生居室	研究室	研究室	研究室	研究室	演大 習学院	資料 室	ロボット工学実験室	製 図 室 M307
	M315	M314	M313	M312	M311	M310	M309	M308	M308(S)	M307(S)	
	教材 準備室	学生居室	実 験室	学生居室	学生居室	講 義 室				ロボット工学実験室	M307
	M301	M302	M303F	M303L	M304	M305				M306	
3 F											

WC 男	応 接室	事務室	講 師 控室	講 師 控室	ITルーム (A)	ITルーム (B)	ITルーム (C)	研 究 室	研 究 室	研 究 室	研 究 室	研 究 室	非 常 勤 講 師 室
	M216	M215	M214	M213		M212		M211	M210	M209	M208	M207	M206
	会 議 室		学 生 居 室		講 義 室			学 生 居 室		講 義 室			
	M201		M202		M203			M204		M205			
2 F													

WC 女	自動車教材室	伝熱工学 実験室	指導員室	実 習	実 験 室	環境 計測室	次世 代 冷 凍 機 開 発 室	実 験 室	エ ン ジ ン	実 験 室 2	熟 工 学	実 験 室 1	熟 工 学	実 超 音 波	測 定 室	精 密 機 械
	M117	M116	M115	M114	M113	M112	M111	M110	M109	M108						
	エ ン ジ ン 実 習 室		実 験 室	学 生 実 験 室	実 験 室	原 子 力 工 学	実 験 室	ヒ ー ザ ー 工 学		実 験 室	実 験 室	講 義 室				
	M101		M102	M103	M104	M105	M106	M107								
1 F																

電気電子システム専門棟

レーザードーム



R.F.

4 F

研究室 E402	
研究室 E401B	情報通信システム研究室 E401A

WC男	プラズマ工学研究室 E319	電力・情報ネットワーク研究室 E318	磁気応用工学研究室Ⅱ E317	工学研究室Ⅰ E316	アクティブ・ラーニング講義室 E315	強誘電体材料・デバイス工学研究室Ⅱ E314	工学研究室Ⅰ E313	研究室 E312	研究室 E311	
	研究室 E301	研究室 E302	研究室 E303	研究室 E304	エネルギー変換工学研究室 E305	映像・情報メディア研究室 E306	電子知能ロボット研究室 E307	電子工学研究室 E308	研究室 E309	研究室 E310

3 F

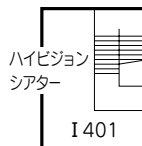
WC男	電気電子工学実験室Ⅰ E216	電気電子工学実験準備室 E215	電気電子工学実験室Ⅱ E214	事務室 E213	応接室 E212	技術職員室 E211	大学院演習室 E210	講義室 E209
	ネットワーク・コンピュータ E201	ナデバイス・衛星情報研究室 E202	E-ラウンジ E203	会議室 E204	エンジンクラブ E205	物理工学研究室 E206	研究室 E207	研究室 E208

2 F

WC女	産学連携研究室 E116	電気電子材料加工室 E115	電子情報システム実験室 E114	直流発電機室 E113	電気エネルギーシステム実験室 E112	E-ナビ・スクエア E111	講義室 E110		
	高電圧工学研究室 E101	クリーンラボ E102	ナテクノロジー研究室 E103	薄膜作製・分析研究室 E104	研究室 E105	リフソント E106	薄膜表面物性評価研究室 E107	研究室 E108	研究室 E109

1 F

システム情報工学専門棟



4 F

ウェブシステム研究室 I 317	研究室 I 316	研究室 I 315	研究室 I 314	研究室 I 313	研究室 I 312	研究室 I 311	研究室 I 310	研究室 I 309	研究室 I 308	研究室 I 307	
WC女	WC男	セキュリティシステム研究室 I 301	システムシミュレーション研究室 I 302	コンピュータシステム研究室 I 303	コンピュータグラフィックス研究室 I 304	電子ビジョン研究室 I 305	ヒューマンインタフェース研究室 I 306				

3 F

メディアラボ I 214	コピー室 I 213	事務室 I 212	会議室 I 211	非常勤講師室 I 210	実習室 I 209	大学院室 I 208	キャリアプランニング室 I 207	LSI開発室 I 206	研究室 I 205
WC女	WC男	準備室 I 201	情報工学基礎実験室 I 202	情報工学応用実験室 I 203		講義室 I 204			

2 F

機械室 I 113	資料室 I 112	開発室 I 111	研究室 I 110	メディアスタジオ I 109	音響情報学研究室 I 108	ネットワーク研究室 I 106	工作室 I 105
WC女	WC男	資料室 I 101	計算機室 I 102	講義室 I 103		サイバーラボラトリー I 104	

1 F

バイオ環境工学専門棟

遺伝子操作 実験室 B 401	
第1	第2
動物室	

4 F

環境工学 実験室 B317	WC男	WC女	学生居室 B316	セミナー室 B315	研究室 B314	研究室 B313	研究室 B312	研究室 B311	環境プロセス 実験室 B310	学生居室 B309	研究室 B308	下 リ 下 室 B307	学生居室 B306
第1講義室 B301			多目的実験・実習室 B302				第2講義室 B303			第1 会議室 (資料室) B304		遺伝子工学 実験室 B305	

3 F

複写室 B220	WC女	事務室 B219	会議室 B218	セミナー室 B217	研究室 B216	研究室 B215	研究室 B214	研究室 B213	研究室 B212	研究室 B211	学生居室 B210	殺菌室 B209	無菌室 B208	植物生態学 実験室 B206
栄養生命科学 実験室 細胞 培養室 B201		機能性材料化学 実験室 B202			機器分析室 B203		食品生体機能 実験室 B204		微生物工学 実験室 B205					

2 F

シミュレー ション ルーム B109	WC男	WC女	顕微鏡室 B108	電気 実験室 B107	環境工学 基礎実験室 B107	就職 情報室 B106	技術職員室 B105	バイオ環境工学 第2基礎実験室 B104			バイオ環境プロセス 実習室 B103		
バイオ環境工学 第1基礎実験室 B101				バイオ環境工学 I T ルーム B102				女子 更衣室					

危険物薬品庫

ボンベ置場

1 F

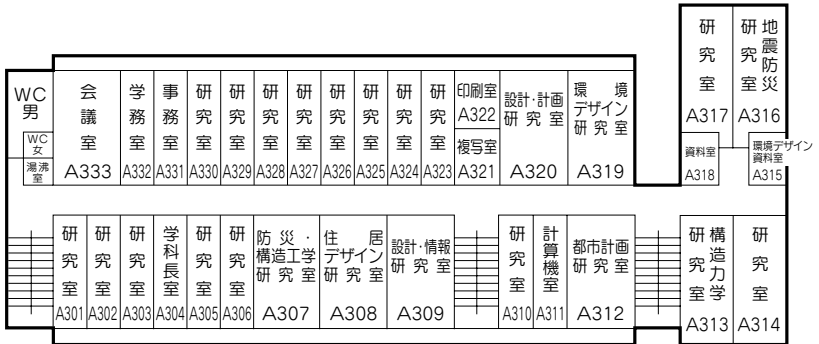
土木建築工学専門棟・土木工学専門棟

ベランダ														ベランダ				
WC男	複写室 C328	準備室 C327	研究室 C326	研究室 C325	研究室 C324	研究室 C323	研究室 C322	研究室 C321	研究室 C320	研究室 C319	研究室 C318	研究室 C317	研究室 C316	研究室 C315	研究室 C314	研究室 C313	研究計画室 C312	大学院生演習室 C311
WC女	資料室 C301	応接室	会議室 C302	研究室 C303	研究室 C304	研究室II C305	水工学 C306	環境工学 C307	講義室 C307	大学院	講義室I C308	講義室II C309	研究室II	研究室I	研究室II	研究室I	第3講義室 C310	
WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男
3 F																		

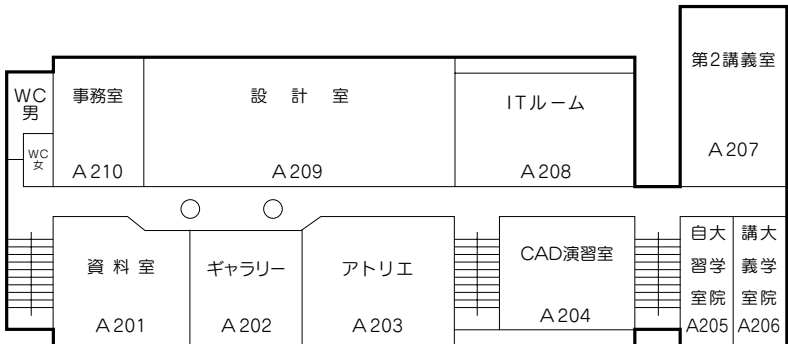
ベランダ														ベランダ				
WC男	研究室I C213	構造工学 C212	ITカフェ 学生自習室	ITルーム C211	地盤工学 C210	水工学 C209	工学実験室III C208	第2講義室 C207										
WC女	環境工学 C201	環境工学 C202	環境工学実験室II C203			研究室I C204	学生自習室 C205	第1講義室 C206										
WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男
2 F																		

WC男	実験準備室 C112	地盤工学実験室II				水工学実験室II				実験準備室 C110	地盤工学 実験室I C109	器材 量 C108
WC女	実験準備室 C101	コンクリート工学 実験室I C102		構造工学実験室 C103		寒冷地 材料 試験室 C104		凍融 試験室 C105		結解 試験室 C106		水工学 実験室I C107
WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男	WC女	WC男
1 F												

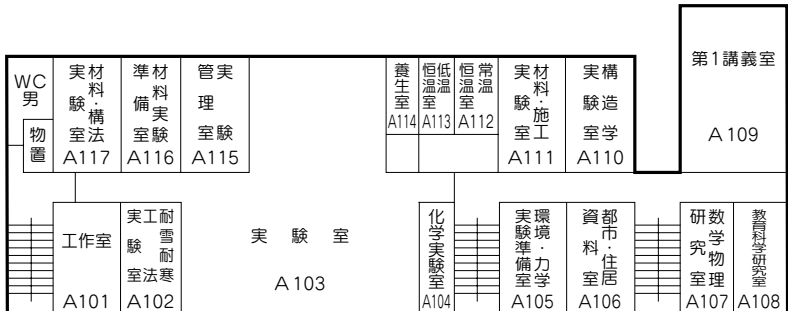
土木建築工学専門棟・建築工学専門棟



3 F

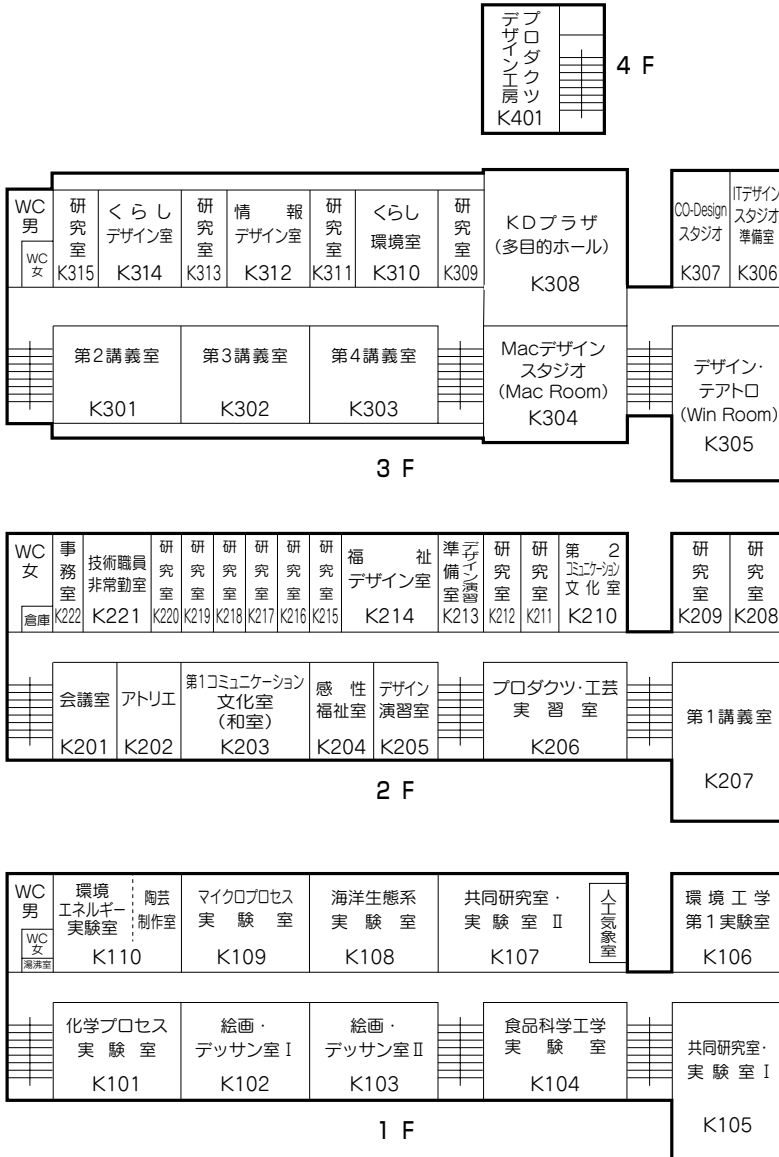


2 F

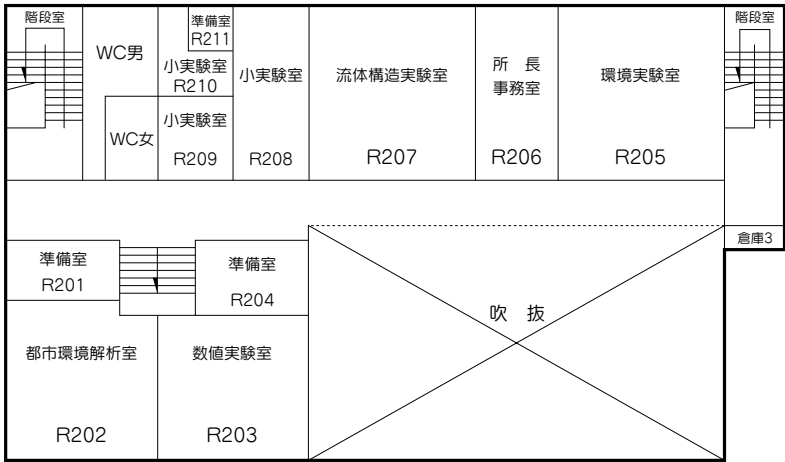


1 F

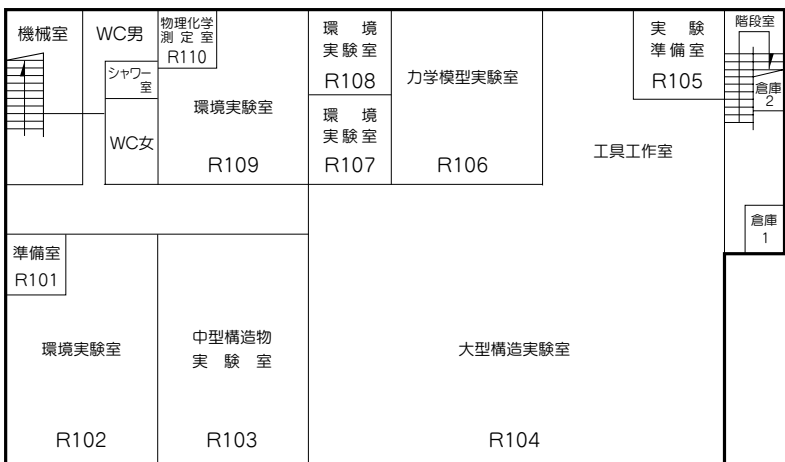
感性デザイン専門棟



地域産業総合研究所・構造工学実験棟

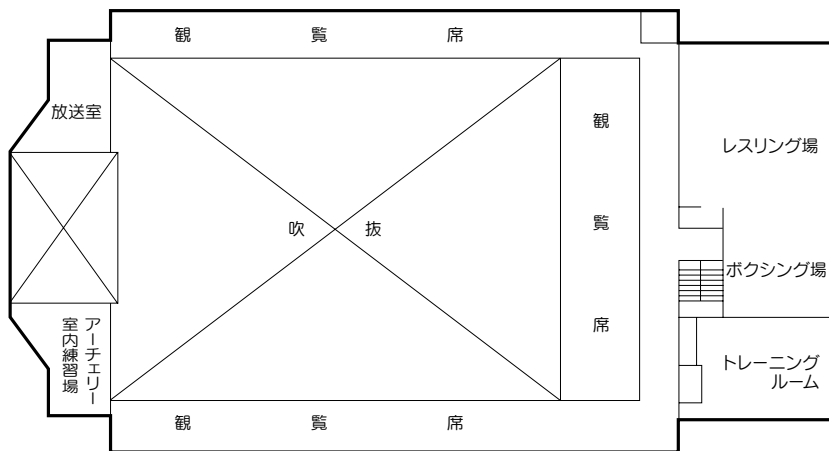


2 F

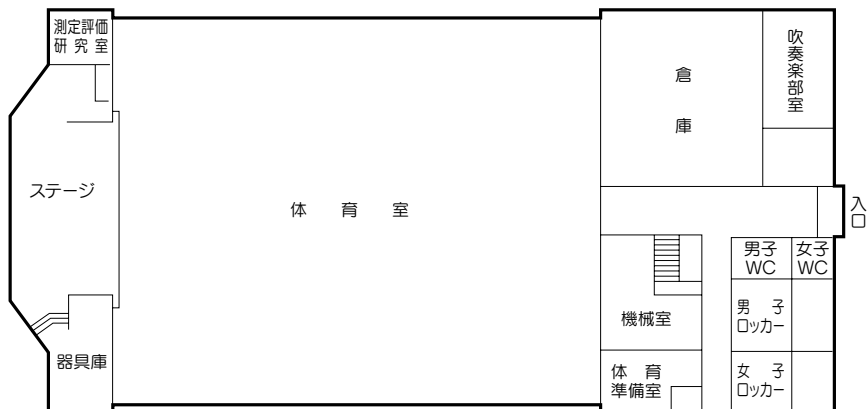


1 F

体 育 館

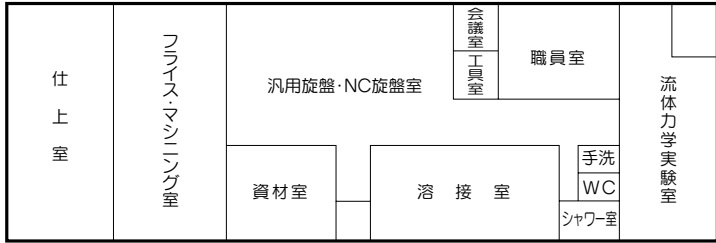


2 F

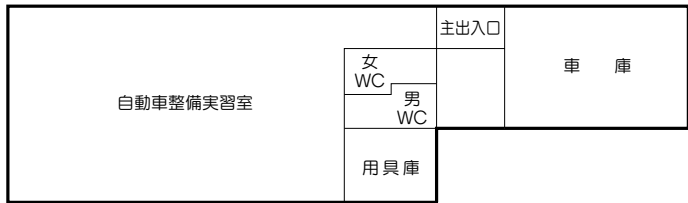


1 F

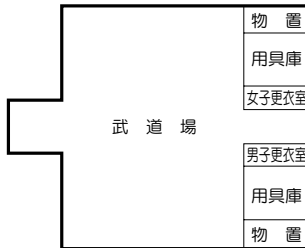
工作技術センター



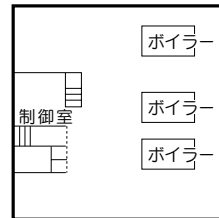
自動車工学センター



尚志館



ボイラー棟

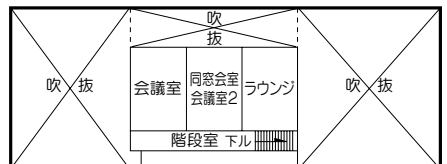


メディアセンター

1 F



2 F



学 友 会 館

学友会館 1号館(1F)

男子WC	男子シャワー室	倉庫		学友会室	体育会室	文化会室
女子シャワー室	女子WC	出入口	学友会倉庫	会議室 A-1	会議室 A-2	

1号館(2F)

主務室 1-1	食品研究会 1-2			レスリング部 1-3	サンボ部 1-4	ボクシング部 1-5	ソフトテニス部 1-6	アイススケート部 1-7	ダーツ愛好会 1-8
1-17	弓道部 1-16	卓球部 1-15	柔道部 1-14	男子硬式庭球部 1-13	女子硬式庭球部 1-12	少林寺拳法部 1-11	サッカー部 1-10	1-9	

学友会館 2号館(1F)

男子WC	出入口	会議室 B-1	会議室 B-2	学友会倉庫 2-1	ゲーム研究部 2-3	ビリヤード部 2-3	学友会パネル置場 2-4
女子WC	倉庫	プラモデル研究会 2-9	電劇部 2-8	電劇部 2-7	アーツテック研究部 2-6	アーツテック研究部 2-5	

2号館(2F)

将棋部② 2-10	軟式野球部 2-11	サイクリング同好会 2-12	映像研究部 2-13	映像研究部 2-14	美術研究部 2-15	男子バスケットボール部 2-16	合唱部 2-17
将棋部① 2-24		情報科学研究部 2-23	文芸愛好会 2-22	サイエンス愛好会 2-21	バレーボール部 2-20	ストリートダンス愛好会 2-19	English研究会 2-18

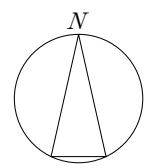
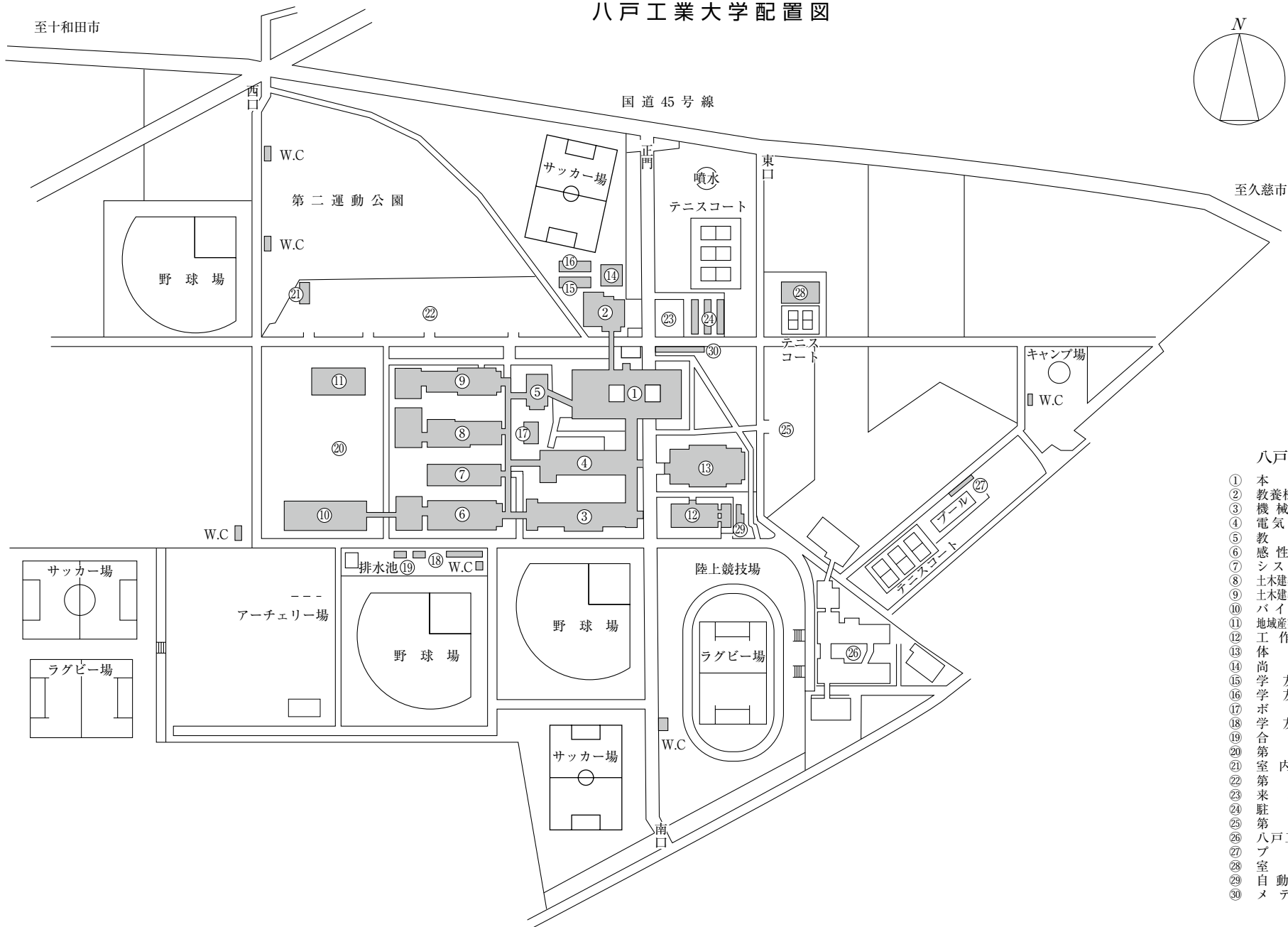
学友会館 3号館(グランド側)

美術研究部 3-16	動力研究部 3-15	山岳部 3-14	文化会倉庫 3-13	陸上競技部 3-12	物置 3-11	物置 3-10	音楽研究部	物置
動力研究部 3-1	硬式野球部 3-2	アーチェリー部 3-3	学友会倉庫 3-4	自動車部 3-5	ソフトボール部 3-6	ラグビー部 3-7	3-8	3-9

(バイオ環境工学専門棟側)

3 校地・校舎配置図

八戸工業大学配置図



八戸工業大学配置図

- ① 本館
- ② 教養棟・地域産業総合研究所
- ③ 機械情報技術専門棟
- ④ 電気電子システム専門棟
- ⑤ 教養棟 旧館
- ⑥ 感性デザイン専門棟
- ⑦ システム情報工学専門棟
- ⑧ 土木建築工学専門棟・土木工学専門棟
- ⑨ 土木建築工学専門棟・建築工学専門棟
- ⑩ バイオ環境工学専門棟
- ⑪ 地域産業総合研究所・構造工学実験棟
- ⑫ 工作技術センター
- ⑬ 体育教育センター
- ⑭ 尚志館
- ⑮ 学生会館 1号館
- ⑯ 学生会館 2号館
- ⑰ 学生会館 3号館
- ⑱ 学生会館 宿舎
- ⑲ 学生会館 宿舎
- ⑳ 第三駐車場
- ㉑ 室内ゴルフ練習場
- ㉒ 第二駐車場
- ㉓ 客用駐車場
- ㉔ 第一駐車場
- ㉕ 八戸工業大学第二高等学校校舎
- ㉖ プール管理室
- ㉗ 室内練習室
- ㉘ 自動車工学センター
- ㉙ メディアセンター

八戸工業大学要覧 平成29年度（非売品）

平成29年 5月31日 編集

平成29年 6月22日 印刷

平成29年 6月30日 発行

編集兼
発行者

八戸工業大学事務部学事課

〒031-8501 八戸市大字妙字大開88番地1号

TEL 0178(25) 8111 (ダイヤルイン)

<http://www.hi-tech.ac.jp/>

印刷所

株式会社 オダプリント

〒039-2245 八戸市北インター工業団地三丁目2-100